

# 丸子地域自治センター改修事業 南棟設備改修 電気設備工事

電気設備図

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
E - 00	電気設備 図面リスト	-	E - 33	1階 換気扇設備平面図	1/100	A - 01	建築改修特記仕様書 1	-			
E - 01	電気設備 特記仕様書	-	E - 34	2階 換気扇設備平面図	1/100	A - 02	建築改修特記仕様書 2	-			
E - 02	電気設備 凡例 1	-	E - 35	3階 換気扇設備平面図	1/100	A - 03	建築改修特記仕様書 3	-			
E - 03	電気設備 凡例 2	-				A - 04	建築改修特記仕様書 4	-			
E - 04	配置図	1/300				A - 05	建築改修特記仕様書 5	-			
E - 05	受変電設備単線結線図	-				A - 06	案内図・配置図(改修前)	1/500			
E - 06	非常用自家発電設備 仕様書・他	-				A - 07	配置図(改修後)	1/500			
E - 07	950L油庫仕様	-				A - 08	仕上表(1)	-			
E - 08	自家発電設備出力計算書	-				A - 09	仕上表(2)	-			
E - 09	自家発電設備出力計算書	-				A - 10	1階天井伏図(改修後)	1/100			
E - 10	1階 幹線設備平面図	1/100				A - 11	2階天井伏図(改修後)	1/100			
E - 11	2階 幹線設備平面図	1/100				A - 12	3階天井伏図(改修後)	1/100			
E - 12	3階 幹線設備平面図	1/100				A - 13	4階天井伏図(改修後)	1/100			
E - 13	4階 幹線設備平面図	1/100				A - 14	PH1階平面図・屋根伏図	1/100			
E - 14	PH階 幹線設備平面図	1/100				A - 15	外構詳細図(1)	1/50			
E - 15	1階 動力設備平面図	1/100				A - 16	外構詳細図(2)	1/50			
E - 16	2階 動力設備平面図	1/100				A - 17	外構詳細図(3)	1/20			
E - 17	3階 動力設備平面図	1/100									
E - 18	PH階 動力設備平面図	1/100									
E - 19	分電盤結線図	-									
E - 20	照明器具姿図 改修前	-									
E - 21	照明器具姿図 改修後	-									
E - 22	電灯・非常灯・誘導灯設備 2階平面図 (改修前)	1/100									
E - 23	電灯設備 2階平面図 (改修後)	1/100									
E - 24	非常灯・誘導灯設備 2階平面図 (改修後)	1/100									
E - 25	電灯・非常灯・誘導灯設備 3階平面図 (改修前)	1/100									
E - 26	電灯設備 3階平面図 (改修後)	1/100									
E - 27	非常灯・誘導灯設備 3階平面図 (改修後)	1/100									
E - 28	電灯・非常灯・誘導灯設備 4階平面図 (改修前)	1/100									
E - 29	電灯設備 4階平面図 (改修後)	1/100									
E - 30	非常灯・誘導灯設備 4階平面図 (改修後)	1/100									
E - 31	電灯設備 PH階平面図 (改修前)	1/100									
E - 32	電灯設備 PH階平面図 (改修後)	1/100									

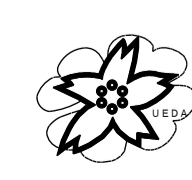




Table with 4 columns: 記号 (Symbol), 名称 (Name), 適用 (Application), 備考 (Remarks). Contains detailed specifications for various types of cables and wires, such as EMT cables (EM-CE 2, EM-CE 3.5, EM-CE 5, EM-CE 8, EM-CE 14, EM-CE 22, EM-CE 38, EM-CE 60, EM-CE 100) and EMT pipes (EM-EFF 1.6, EM-EFF 2.0).

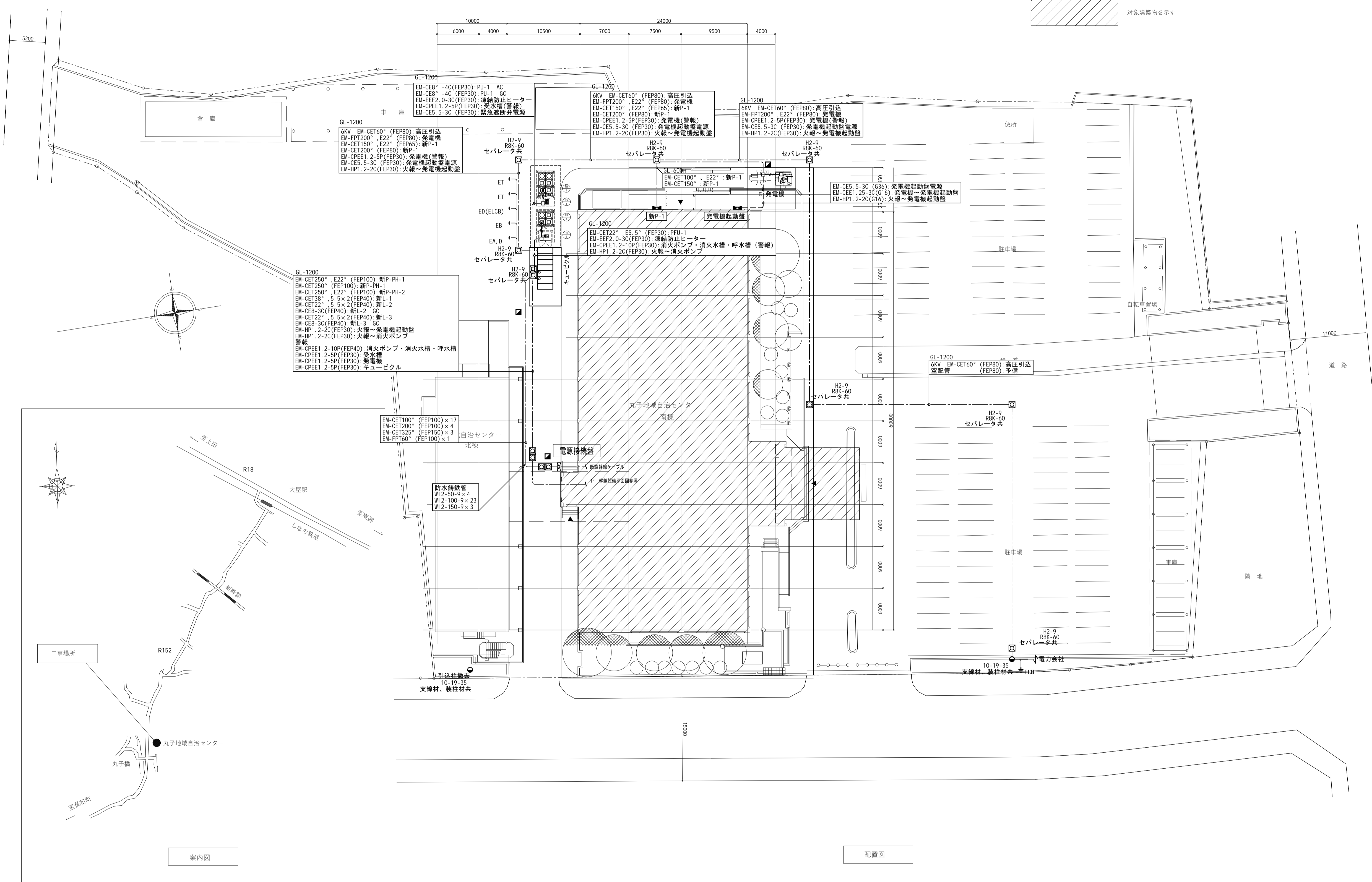
Table with 4 columns: 記号 (Symbol), 名称 (Name), 適用 (Application), 備考 (Remarks). Contains detailed specifications for various types of cables and wires, such as EM-IE cables (EM-IE 1.6, EM-IE 2.0, EM-IE 3.0, EM-IE 4.0, EM-IE 6.0, EM-IE 8.0) and EM-IEE cables (EM-IEE 2, EM-IEE 3, EM-IEE 4, EM-IEE 5, EM-IEE 6, EM-IEE 8).

Table with 4 columns: 記号 (Symbol), 名称 (Name), 適用 (Application), 備考 (Remarks). Contains detailed specifications for various types of cables and pipes, such as BTIEE cables (EM-BTIEE 0.4), EMT pipes (EM-UTP, EM-HP, EM-SP), and FCPEE pipes (EM-FCPEE 1.2). Includes a section for common fittings (共通).



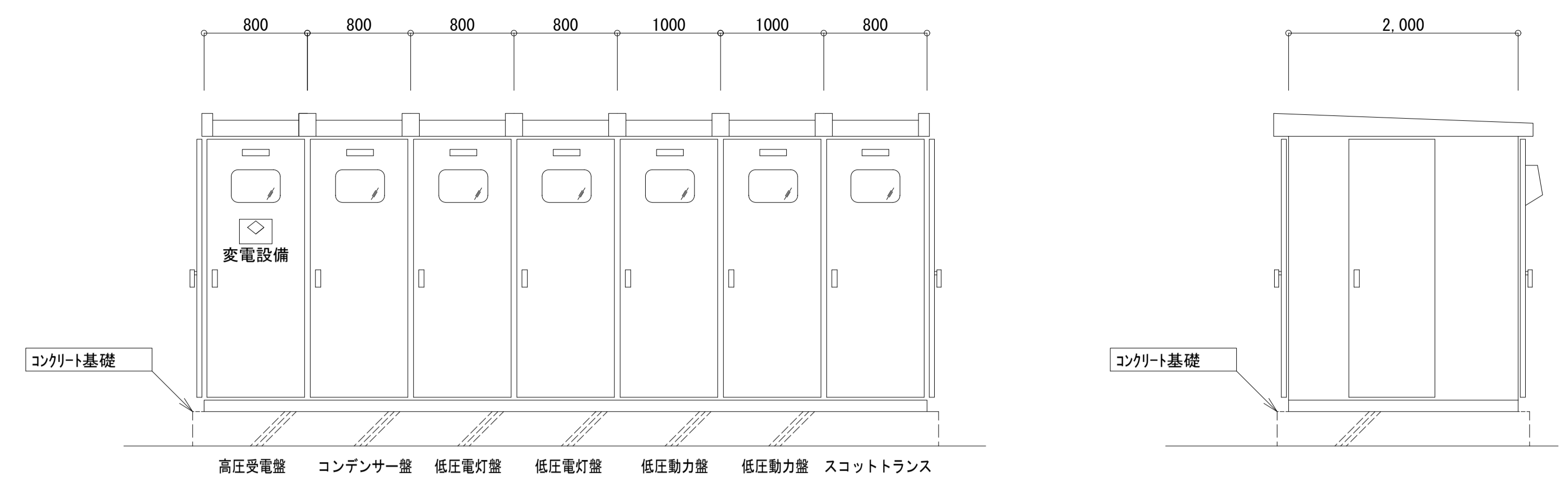
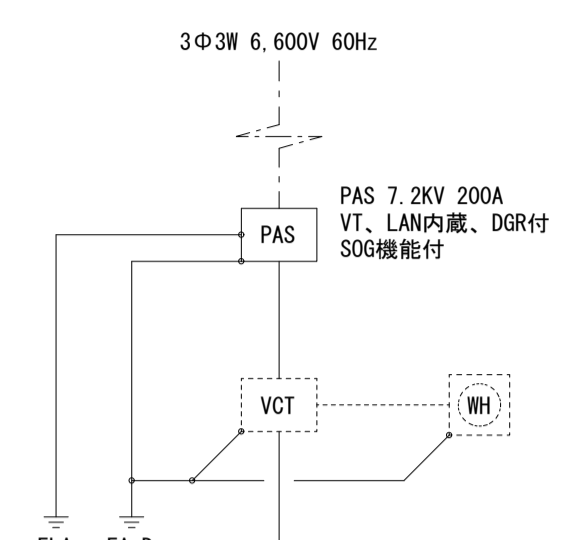
上田市都市建設部 建築課

Project and design information including: 訂正 (Revisions), 設計者氏名 (Designer), 1級建築士登録 (Registered Architect No. 307544), 海雲 浩 (Umino Hiro), AEA株式会社 E-1 工設計 (AEA Co., Ltd. E-1 Engineering Design), 工事名 (Project Name: 丸子地域自治センター改修事業), 設計者氏名 (Designer: 村田 根機), 設計完了日 (Design Completion Date: 23.07), 図面番 (Drawing No.: NS/NS), 階層 (Floor: 23006), and 設備番号 (Equipment No.: E-03).



案内図

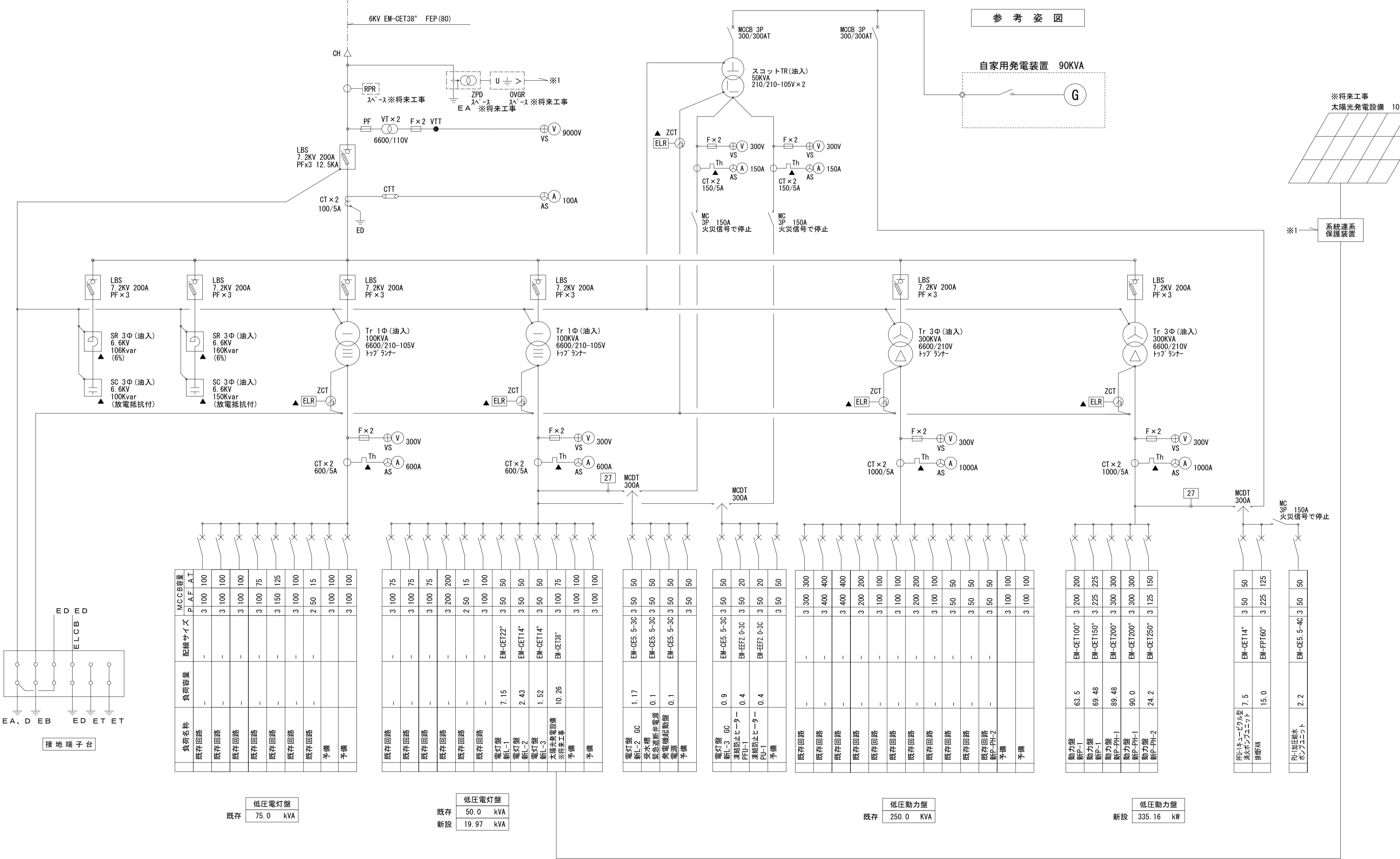
配置図



正面図

側面図

参考姿図



負荷名称	MCCB容量	P	A	F	A	I
既存回路	3	100	100	100	100	100
既存回路	3	100	100	100	100	100
既存回路	3	100	100	100	100	100
既存回路	3	100	75	100	100	100
既存回路	3	150	125	100	100	100
既存回路	2	50	15	100	100	100
既存回路	3	100	100	100	100	100
予備	3	100	100	100	100	100

低圧電灯盤  
既存 75.0 kVA

低圧電灯盤  
既存 50.0 kVA  
新設 19.97 kVA

低圧動力盤  
既存 250.0 kVA

低圧動力盤  
新設 335.16 kW

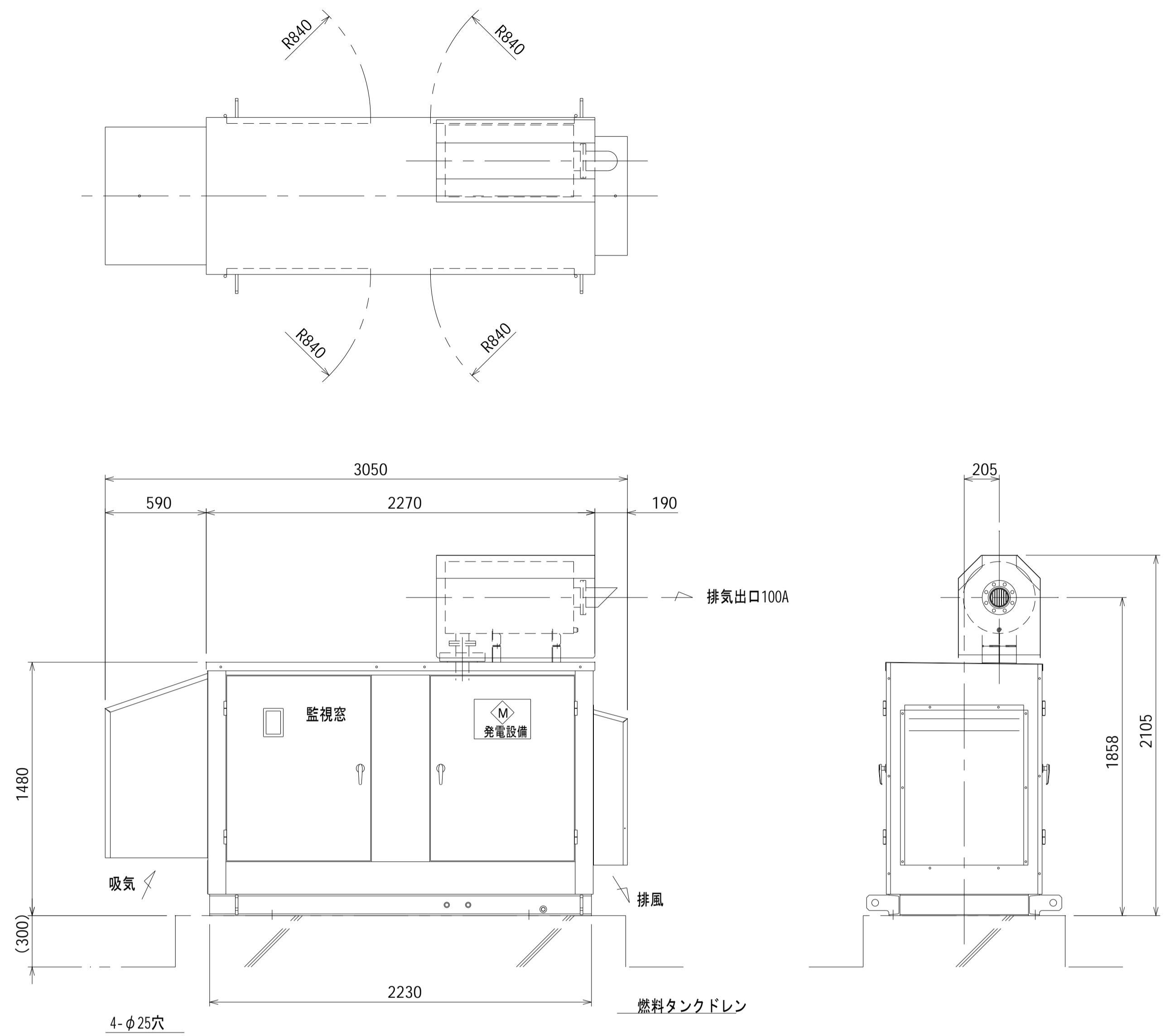
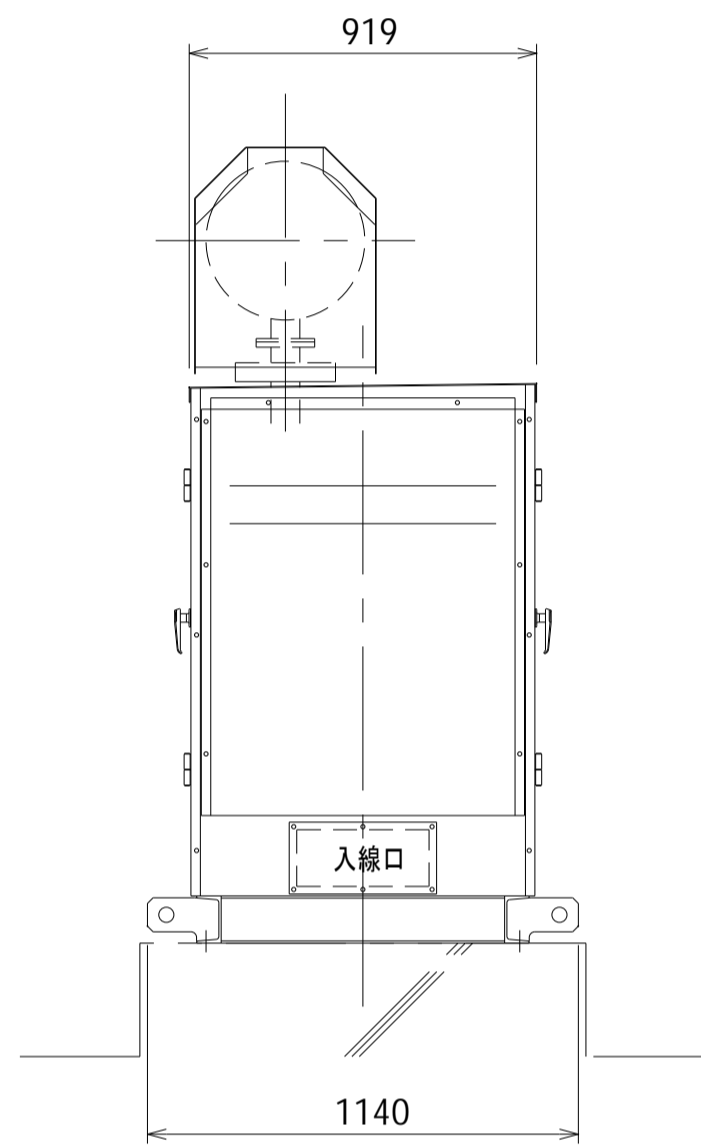
- 注記
- 盤仕様は下記による。  
 (1) 鋼板塗装指定色仕上とする。  
 (2) 上部には温度スイッチ付換気ファンを取り付ける。  
 (3) 前面及び後面には内部照明 (LED) を取付け、点滅は各扉に連動とする。  
 (4) ベースチャンネルは溶融亜鉛メッキ、取付ボルトはステンレス製とする。
  - 外形寸法は概略を示したものであるから、製作承認を得後製作のこと。
  - キュービクル及び変圧器、コンデンサなどの機器は、地震時においても移動や転倒の無いように設置する。
  - 変圧器二次側に銅帯を使用する場合は、可とう継手を使用する。
  - 変圧器二次側の開閉器は十分な遮断容量を有するものとする。
  - 盤面機器は表面より保守点検が便利なように、自動制御番号及び回路番号を表示すること。
  - 換気扇はサーモスタットによる自動運転 (温度調節可能) と手動運転が行えること。
  - 点検用コンセントを設けること。
  - キュービクル内に接地端子台を設け、将来接続が容易な構造とすること。
  - 変圧器は「サーモスタット」/「ダイヤル温度計」および「防振動」取付とする。
  - LBS「ブース」断および「バス」温度上昇は、配電盤面に警報表示を行うこと。
  - 予備品、付属品として下記のものを納入すること。  
 (1) DS棒 (1.5m) : 1本  
 (2) 電力ヒューズ : 100%  
 (3) ランプ類 : 20% (LED灯はこの限りではない)  
 (4) 制御用ヒューズ : 20%  
 (5) 高低圧用検電器 : 1本  
 (6) 消火器 (収納ボックス共) : 1本 (消防法に準拠のこと)  
 (7) 工具類 : 1式
  - 警報表示、出力は下記による。  
 ・表示 ● : 警報表示  
 ・計測表示 (電流、デマド) は過去最大値記録保持とする  
 ・出力 警報は一括出力とする。
  - 印の警報は警報盤に表示を行う。
  - 日本電気協会 (推奨品) / 認定品とする。

発電装置仕様		
準拠規格	日本工業規格 (JIS)	
	電気規格調査会標準規格 (JEC)	
	日本電機工業会標準規格 (JEM)	
	消防法 (一社) 日本内燃力発電設備協会「自家発電設備に関する認定技術基準」	
設置場所	屋 外	周囲温度 :-5~40°C
定格運転時間	長時間	使用条件 湿度: 相対湿度85%以下
騒音仕様	低騒音形	
運転方式	シーケンス制御による全自動運転 (自動起動・自動停止)	
	盤面スイッチによる手動運転・手動停止	
	自動保守運転モード (7日又は14日毎に3分間の無負荷運転)	
始動時間	停電より負荷投入まで 40秒以内	

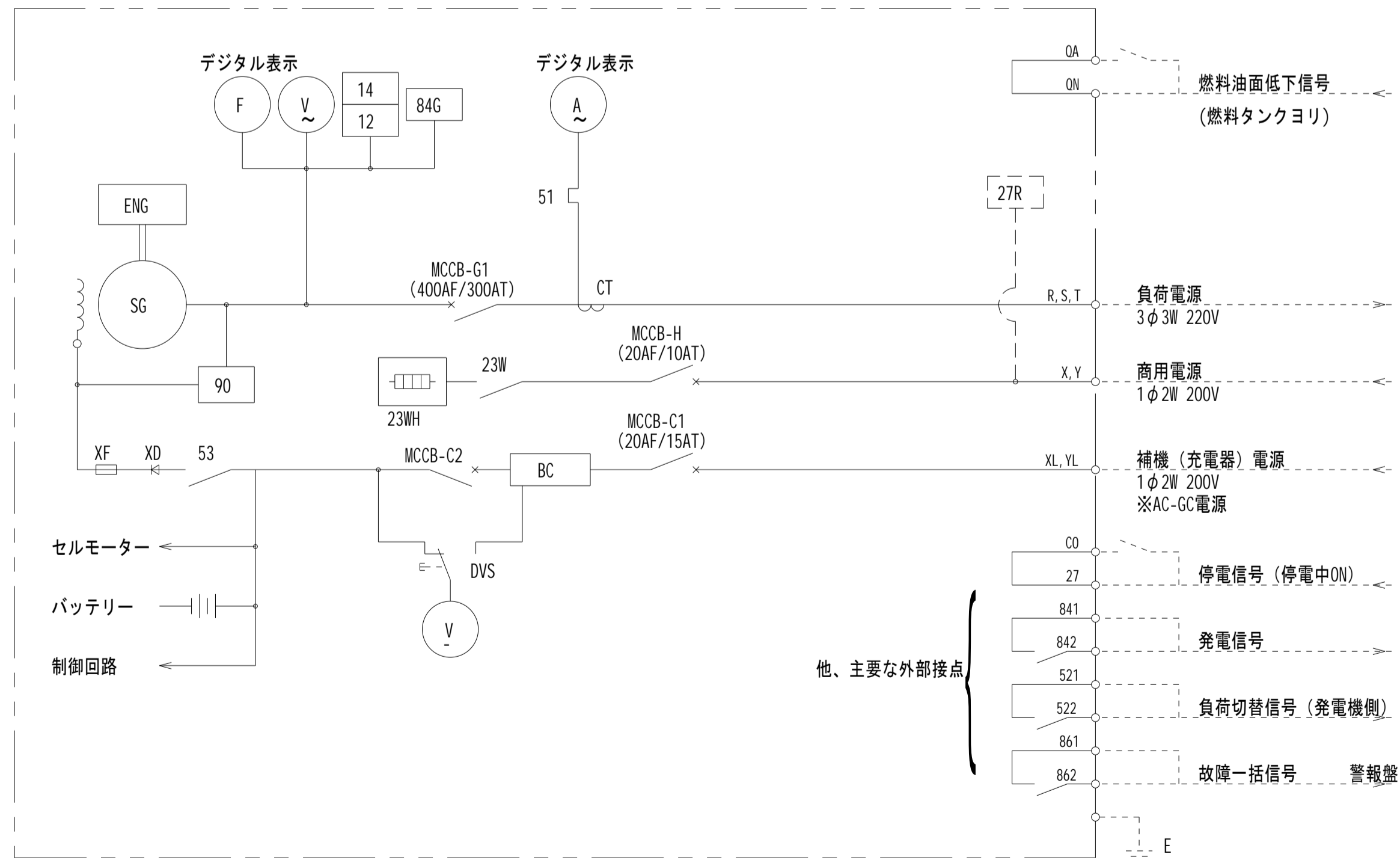
外装塗装色	マンセル 5Y7/1 (近似色) 半ツヤ
ベース塗装色	マンセル N1
騒音グレード	機側1mにて 85dB (A) ※4方向での平均値
機器重量	15337 N (約 1565kg)
	基礎に掛る最大荷重 25577 N (約 2610 kg)
その他	耐震ストッパー、防振ゴム付

保護装置一覧					
項目	警報表示灯	警 報	機関自動停止	主回路遮断	外部信号
緊急停止	○	○	○	○	故障一括 ○
始動渋滞	○	○	○	-	
過回転	○	○	○	○	
過電流	○	○	×	○	
潤滑油圧低下	○	○	○	○	
冷却水温度上昇	○	○	○	○	
燃料油油面低下	○	○	-	-	

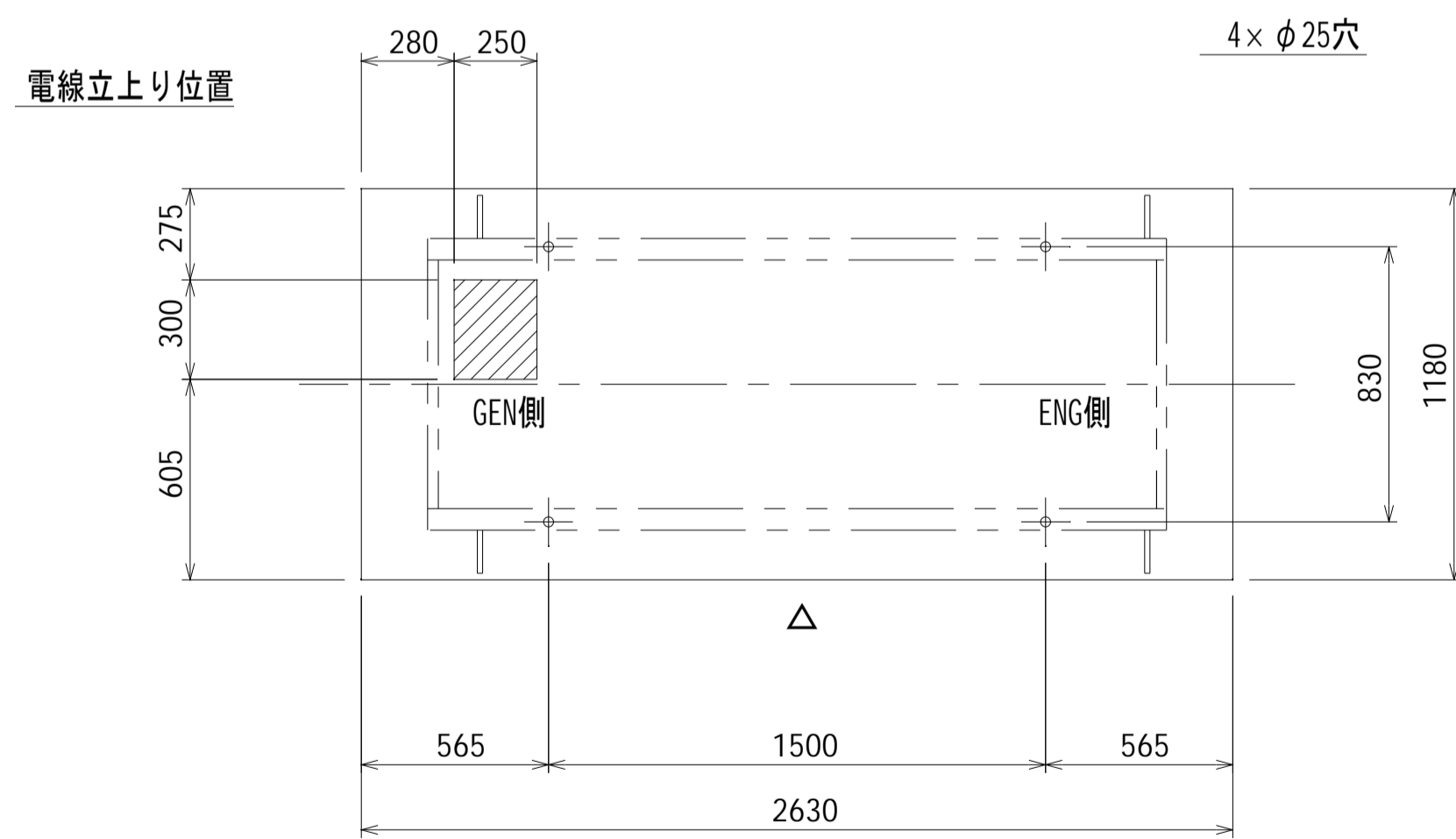
発電機仕様		エンジン仕様	
型 式	横軸回転界磁同期発電機	型 式	立形水冷4サイクルディーゼル機関
発電機出力	90.0 kVA	エンジン形式	6B105T-GL
電 圧	220 V	定格出力	107 kW
定格電流	237 A	回転速度	1800 min <sup>-1</sup>
周 波 数	60 Hz	燃焼方式	直接噴射式
回転速度	1800 min <sup>-1</sup>	燃 料	軽 油
相数・線数	3φ3W	燃料タンク	搭 載 60 L
極 数	4 P	燃料消費量	約 23.1 L/hr
力 率	80% (遅れ)	運転時間	約 hr
定 格 連 続		冷却方式	ラジエター冷却式
耐熱クラス	電機子:F種 界磁:H種	冷却水量	10L-12L (Rad-Eng)
励磁方式	ブラシレス励磁	潤滑方式	ポンプによる強制循環式
		潤滑油量	18L-8L (全量-有効)
制御装置仕様		始動方式	セルモーターによる電気始動
型 式	閉鎖形 (発電装置搭載)	始動用バッテリー	陰極吸収式シール形鉛蓄電池 (REH)
構 成	自動始動装置、保護装置、励磁装置バッテリー容量 DC 24 V - 24 Ah		
	主回路遮断器、計測装置、表示灯 充電方式 半導体自動充電式		
	自動充電器 ラジエター風量 140 m <sup>3</sup> /min 必要給気量 148.3 m <sup>3</sup> /min		



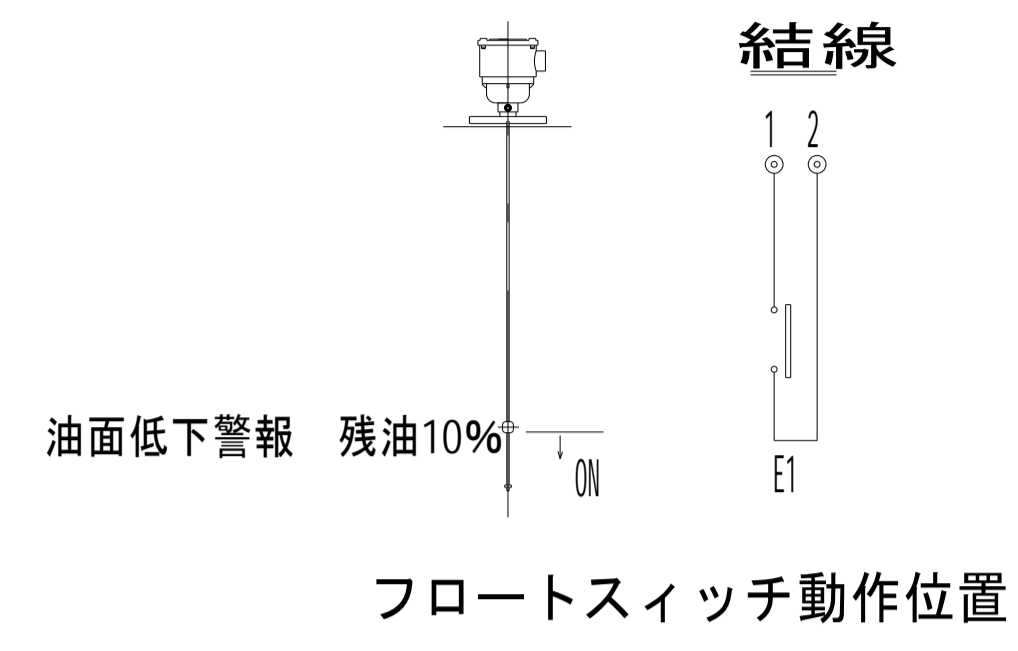
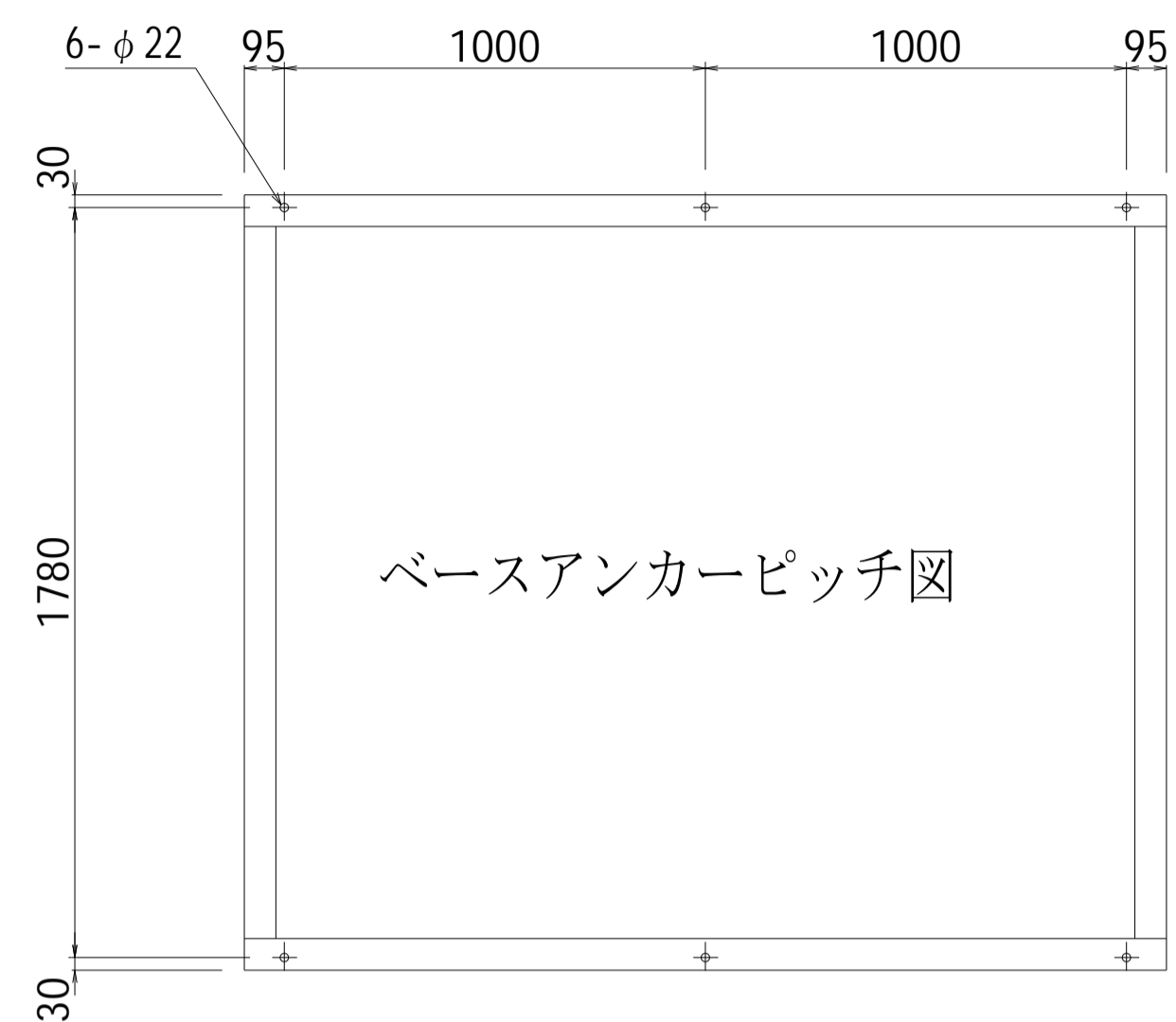
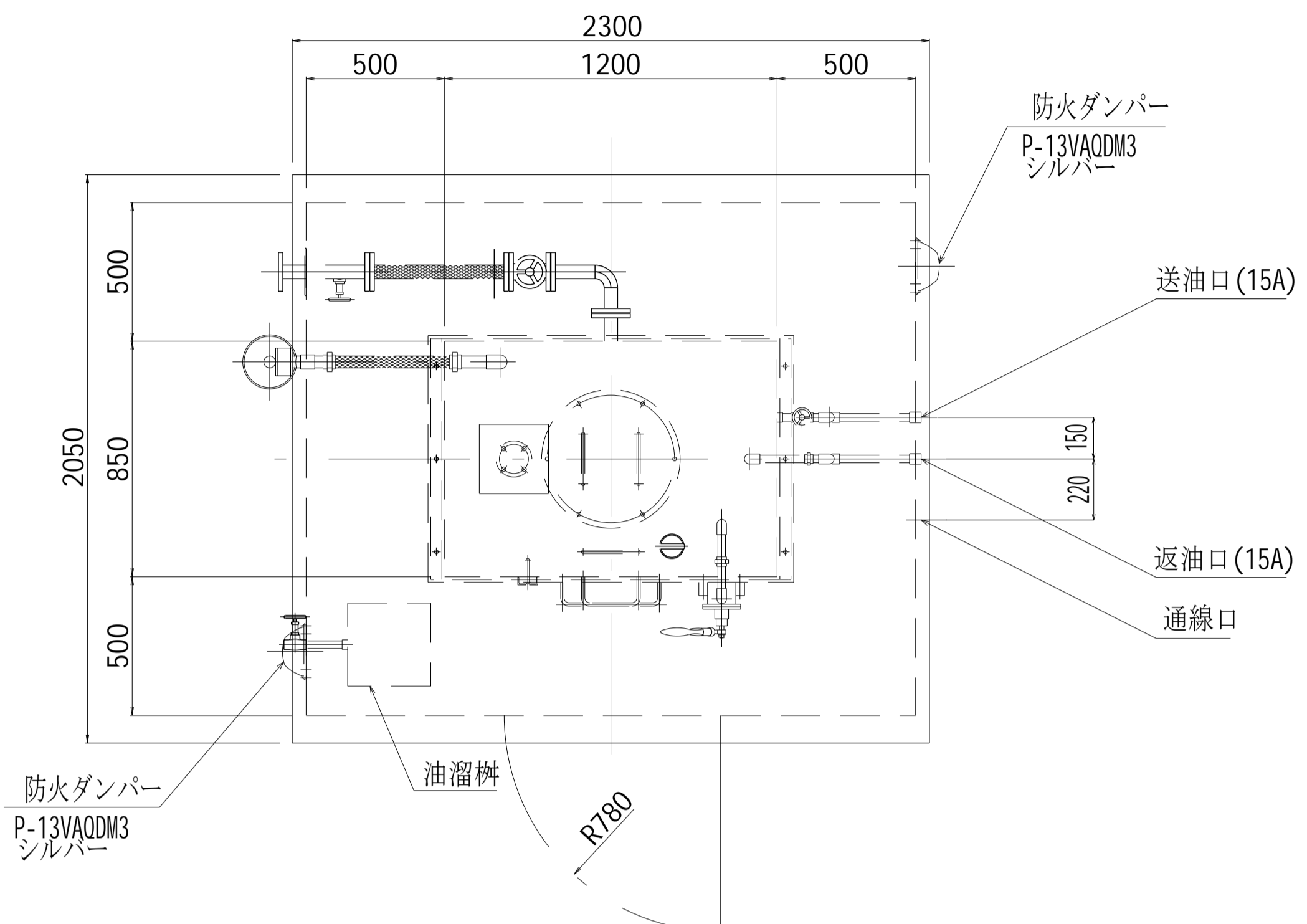
発電装置外形図 S=1:20



単線結線図

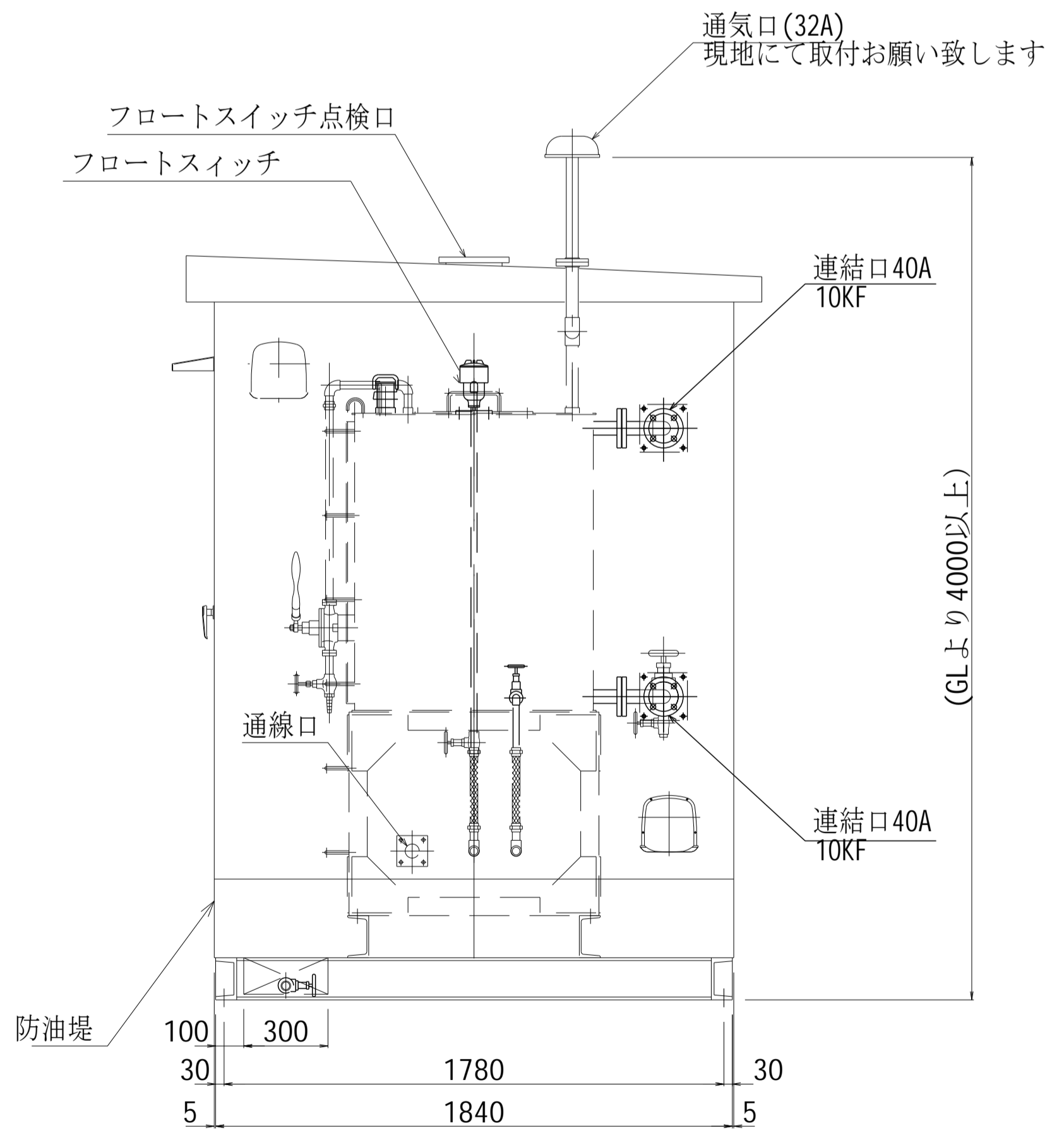
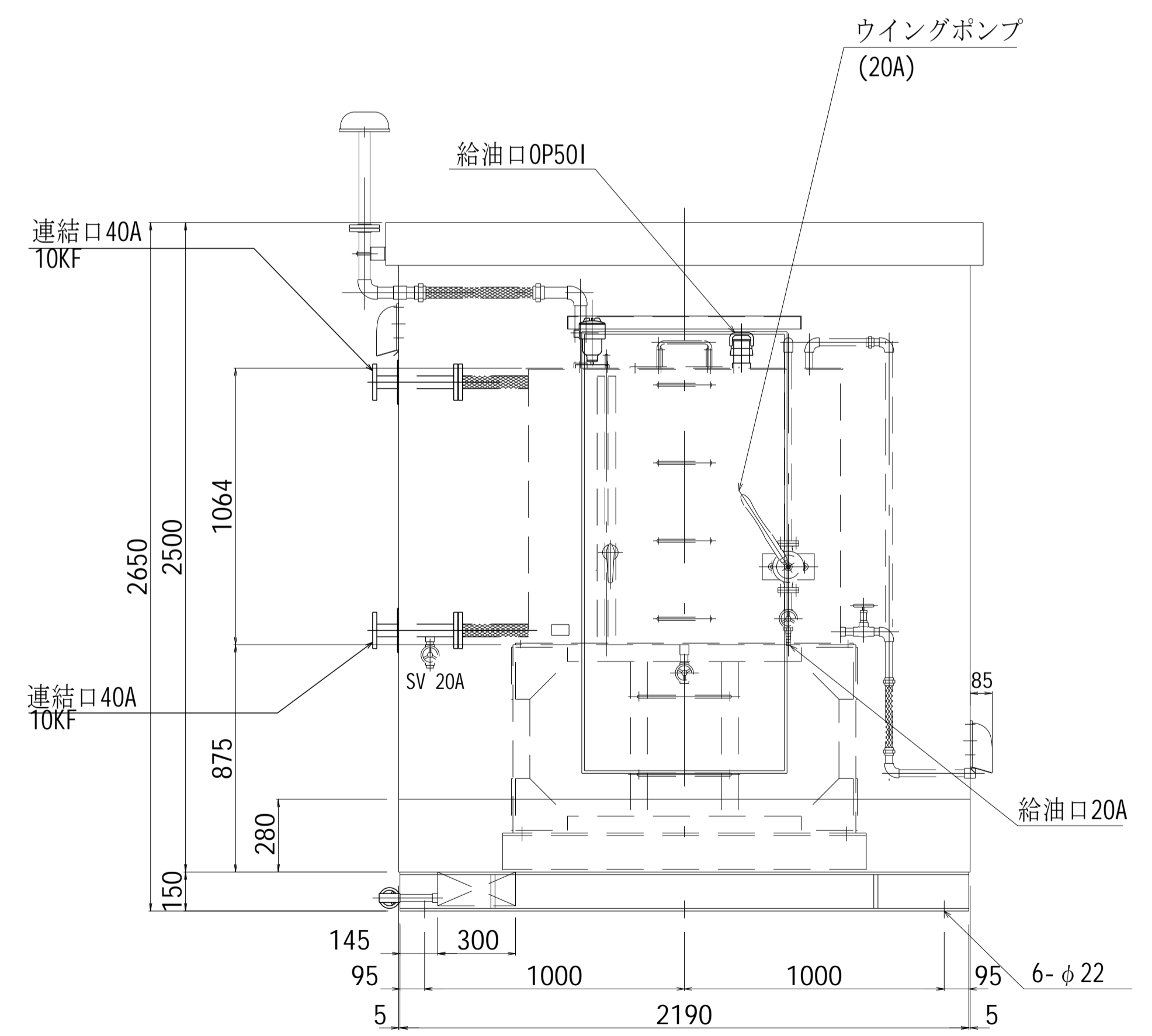


基礎及び電線立上り位置図 S=1:20



**容量計算**  
 総容量:  $(1200-9) \times (850-9) \times (1064-10.5) \times 10^{-4}$   
 $= 1191 \times 841 \times 1053.5 \times 10^{-4} = 1055.21\text{L}$   
 空間容量:  $1055.21 - 950 = 105.21\text{L}$   
 空間容量比:  $105.21 \div 1055.21 \times 100(\%) = 9.9\%$

**防油堤計算書**  
 容量:  $(2200-6.4) \times (1850-6.4) \times (280-3.2) \times 10^{-4}$   
 $= 2193.6 \times 1843.6 \times 276.8 \times 10^{-4} = 1119.5\text{L}$



**ボンネット使用鋼板**  
 屋根: SS400 t2.3  
 外板: SS400 t2.3  
 防油堤: SS400 t3.2  
 ベース: SS400 [150×75]

**燃料タンク使用鋼板**  
 天板: SS400 t4.5  
 側板: SS400 t4.5  
 底板: SS400 t6.0  
 架台: SS400 L65×65×t6

**塗装色** 5Y7/1 半ツヤ  
**乾燥質量: 約1800Kg**

**付属品**  
 ・少量危険物看板  
 ・消火器  
 ・消火器BOX  
 ※軽油950Lを本工事で見込む



自家発電設備出力計算書

丸子地域自治センター（保安時）

Table with 2 main sections: '特性等' (Characteristics) and '自家発電設備' (Self-generation equipment). It lists parameters like generator type (KG3, KG4), output (90.0 kVA), voltage (220 V), and efficiency (0.895).

\*\* : 1.000未満の場合は、消防設備用出力算定には使用できません。

様式-2 <最大最終> 件名：丸子地域自治センター（保安時）

自家発電設備出力計算シート（負荷表）. A detailed table listing loads (給水P, 給水P, 電灯) with columns for power (kW), voltage (mi), and selection criteria (R-S, S-T, T-R).

<A> := ks/Z'm x mi <B> := {ks/Z'm-d/(eta b x cos theta b)} x mi <C> := {ks/Z'm x cos theta s - (epsilon - a) x d/eta b} x mi <D> := (ks/Z'm x cos theta s-d/eta b) x mi

様式-3 <最大最終> 件名：丸子地域自治センター（保安時）

自家発電設備出力計算シート（発電機）. Calculations for generator output (RG1-4) using formulas for efficiency, voltage drop, and power factor. Includes a summary row for total generator output G' = 81.01 (kVA).

備考：GはG'の値の95%以上の値とする。

様式-4 <最大最終> 件名：丸子地域自治センター（保安時）

自家発電設備出力計算シート（原動機、整合）. Calculations for engine output (RE1-3) and integration (MR', E'). Includes a summary row for total engine output E = 107.0 (kW).

自家発電設備の出力. Summary row showing total generator output G = 90.0 (kVA), power factor = 0.800, and engine output E = 107.0 (kW) / 145.5 (PS).

備考：EはE'又はE\*の値以上の値とする。

自家発電設備出力計算書

丸子地域自治センター（火災時）

Table with 2 main columns: Characteristics (特性等) and Self-generation equipment (自家発電設備). Includes load characteristics, generator specifications, and company information.

\*\* : 1.000未満の場合は、消防設備用出力算定には使用できません。

様式-2 <最大最終> 件名：丸子地域自治センター（火災時）

自家発電設備出力計算シート（負荷表）. Table with columns for load name, type, and various electrical parameters like kW, kVA, and selection criteria.

<A> : =ks/Z'm x mi <B> : ={ks/Z'm-d/(eta b x cos theta b)} x mi <C> : ={ks/Z'm x cos theta s - (epsilon - a) x d/eta b} x mi <D> : =(ks/Z'm x cos theta s - d/eta b) x mi (ただしエレベーター負荷のときは、各式にUv/nを掛けた値とする。) グループ欄が"単"の場合は、単機での始動を示す。

様式-3 <最大最終> 件名：丸子地域自治センター（火災時）

自家発電設備出力計算シート（発電機）. Table showing calculations for generator output coefficients (RG1-RG4) and total generator output (G').

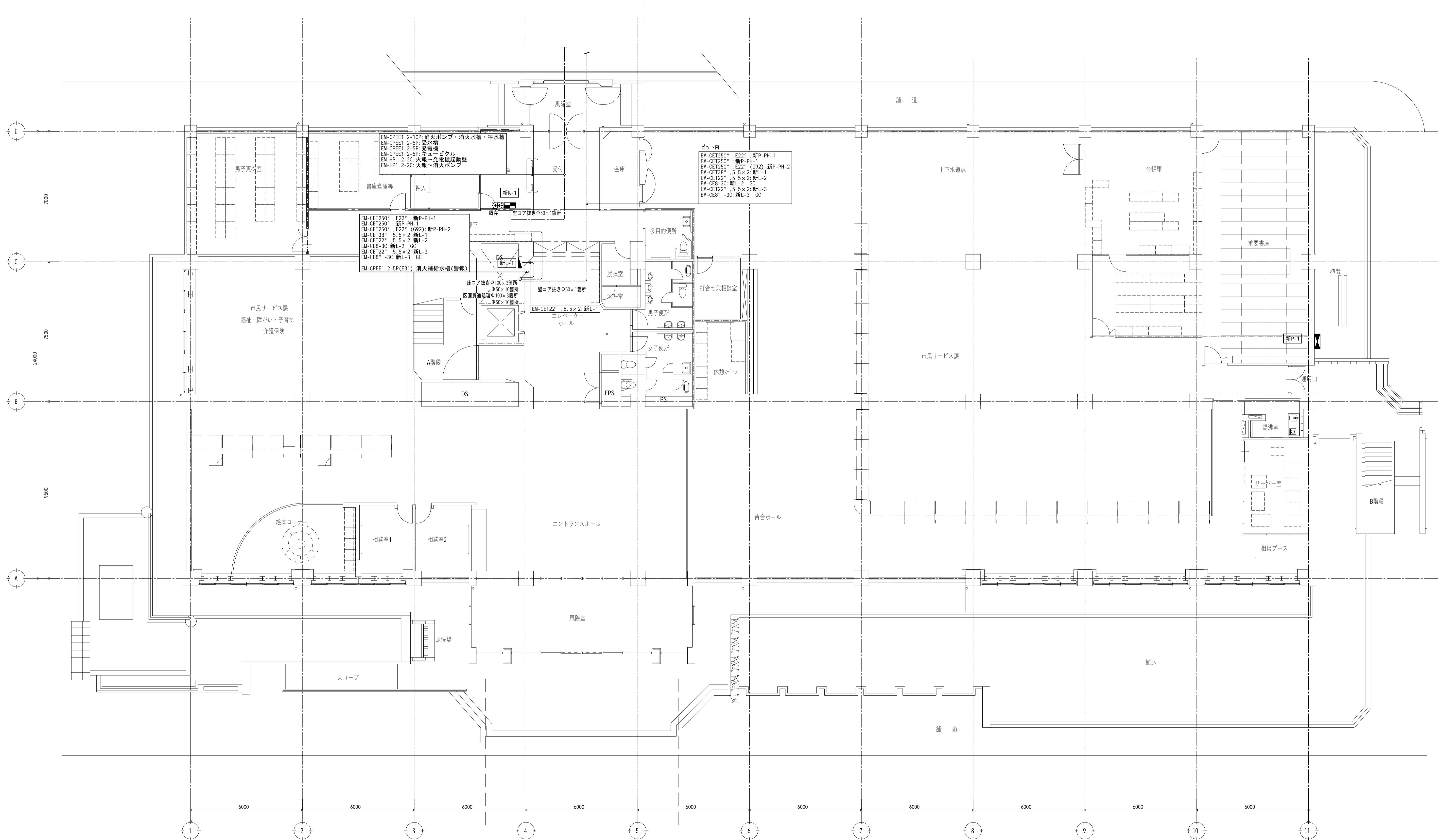
備考：GはG'の値の95%以上の値とする。

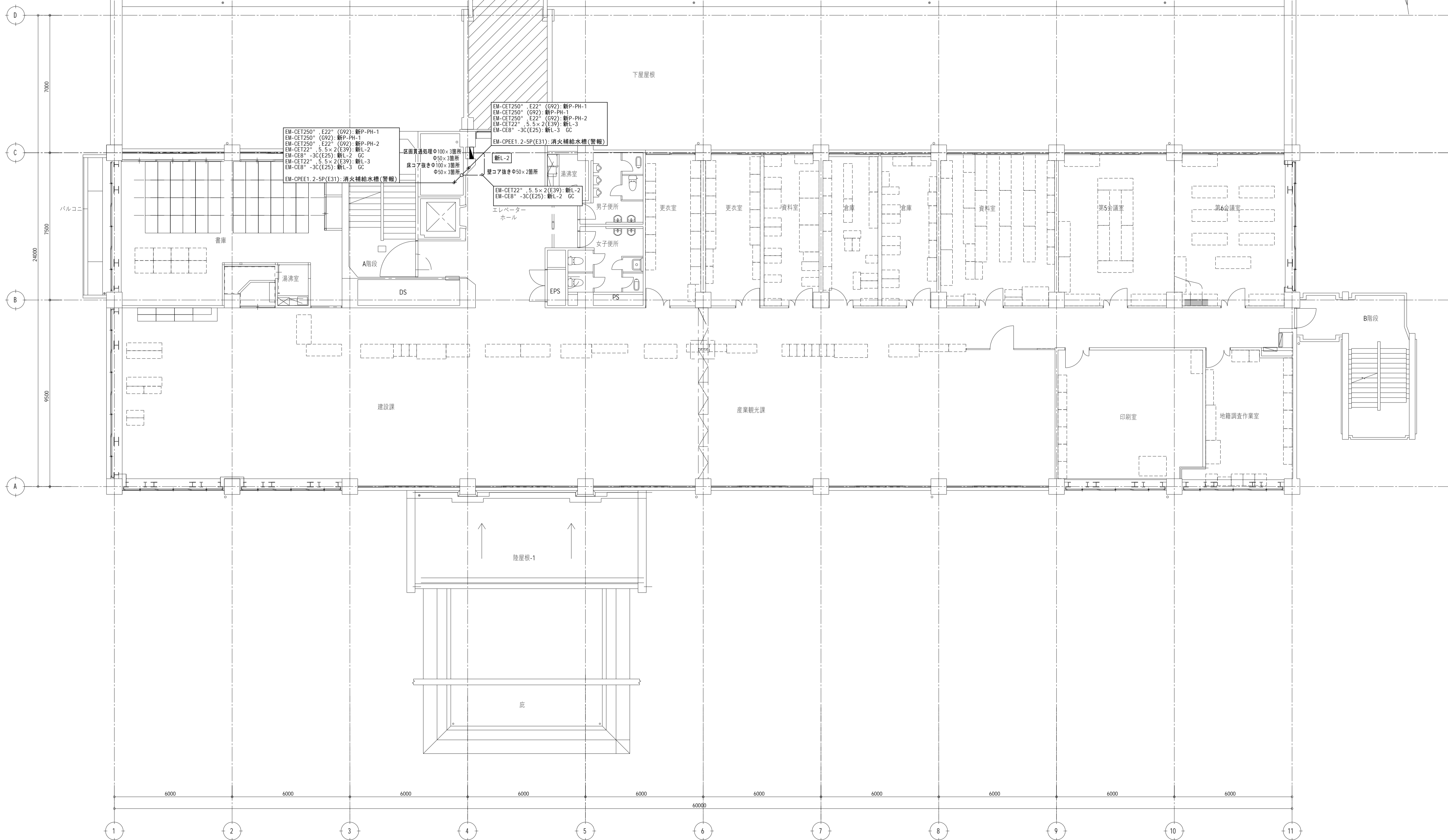
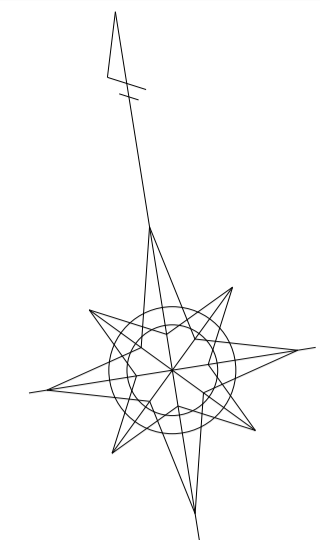
様式-4 <最大最終> 件名：丸子地域自治センター（火災時）

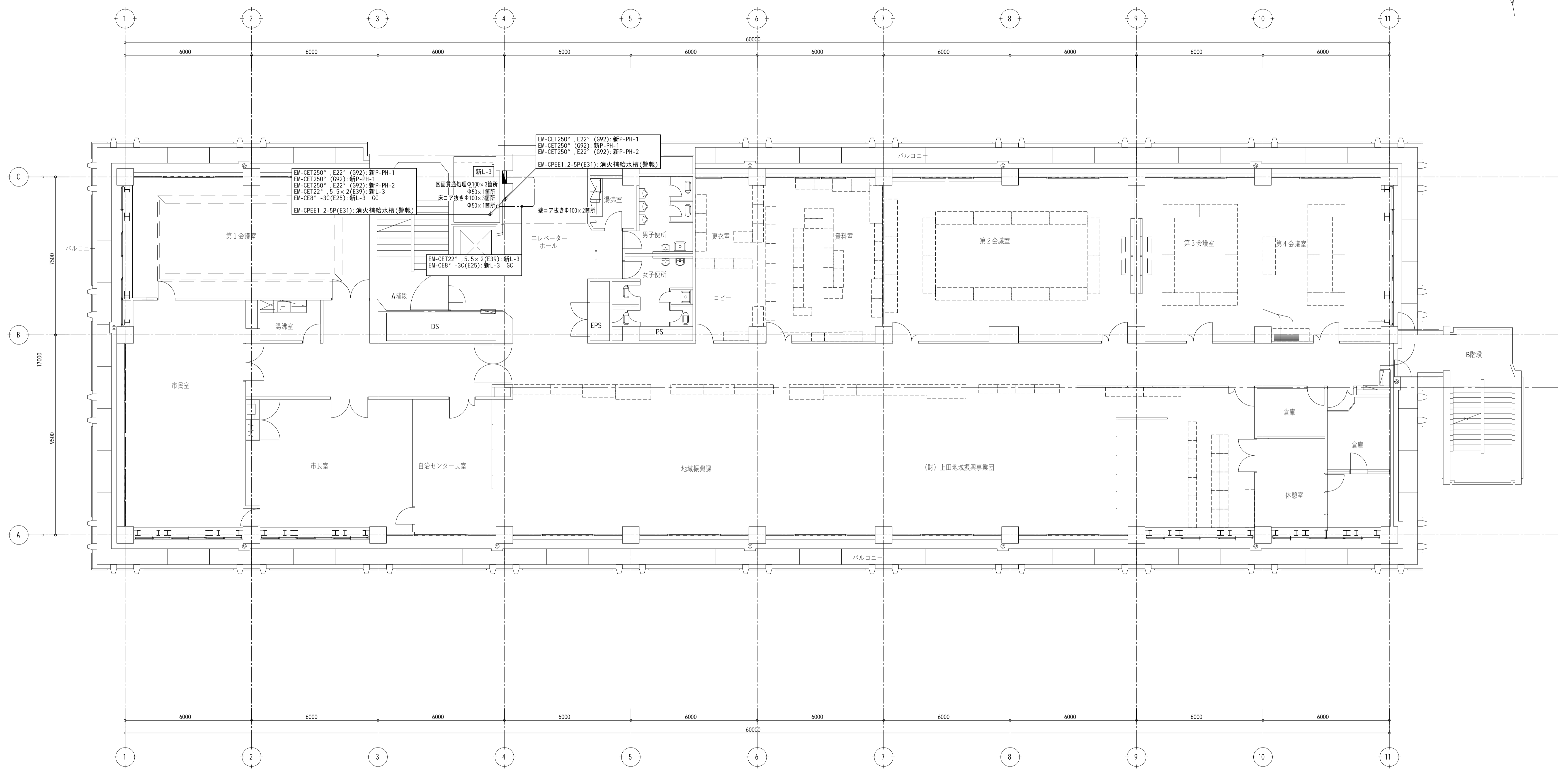
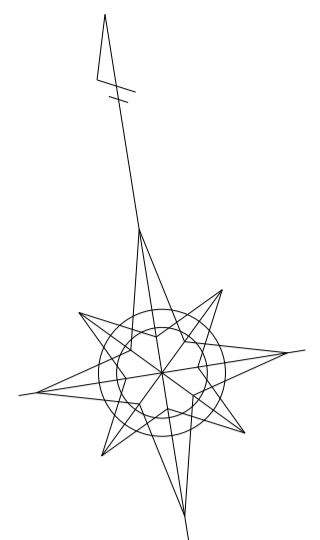
自家発電設備出力計算シート（原動機、整合）. Table showing calculations for engine output coefficients (RE1-RE3), engine output (E'), and integration (MR', MR).

自家発電設備の出力. Summary table showing total generator output (G), engine output (E), and generator specifications.

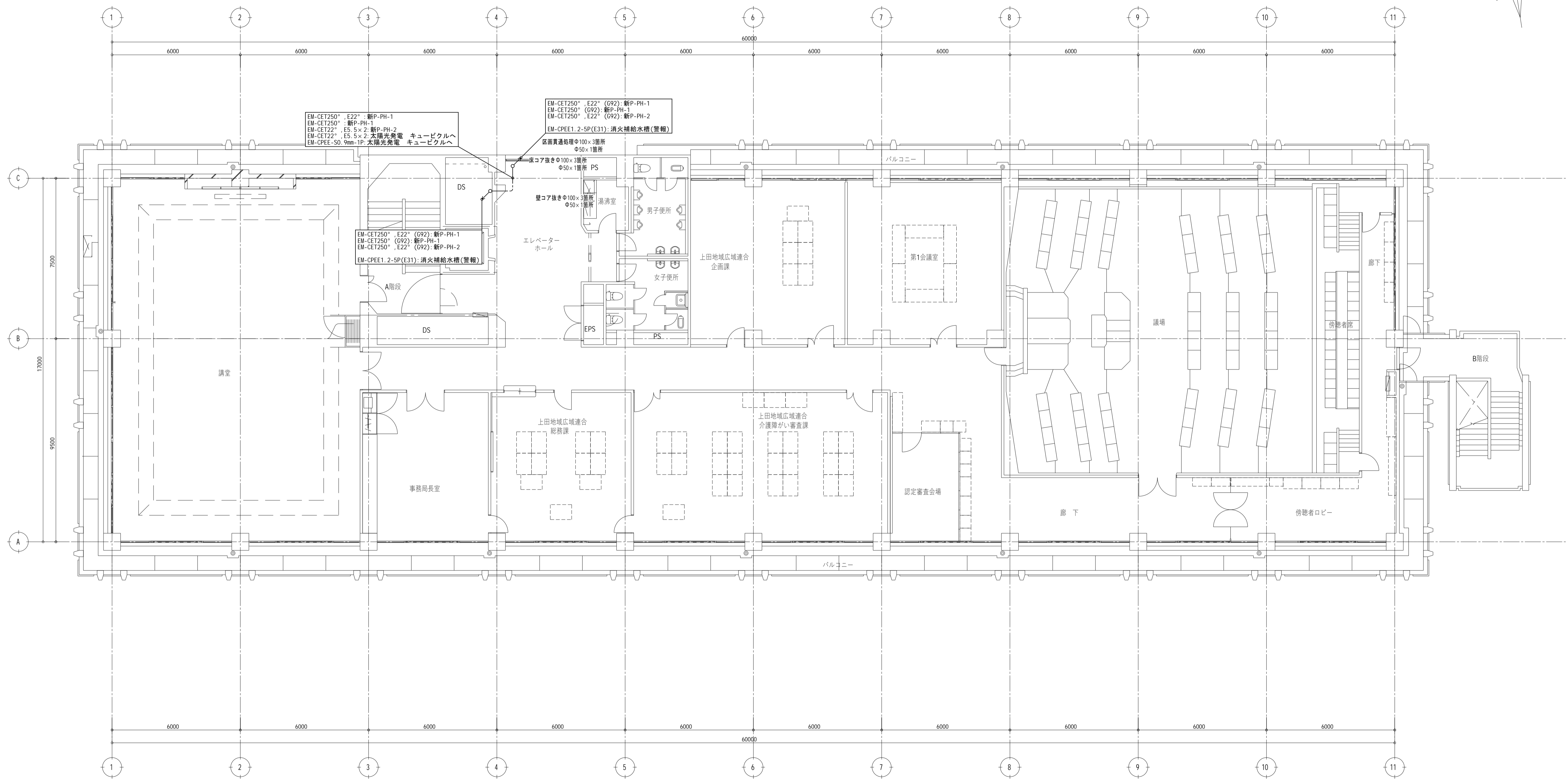
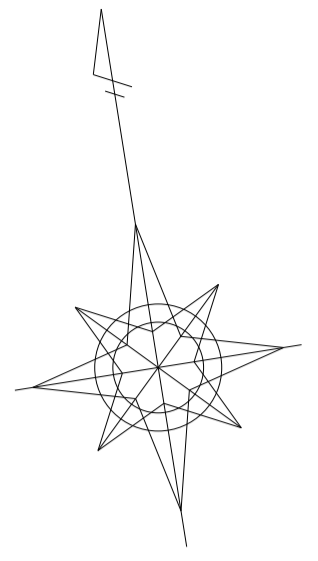
備考：EはE'又はE\*の値以上の値とする。

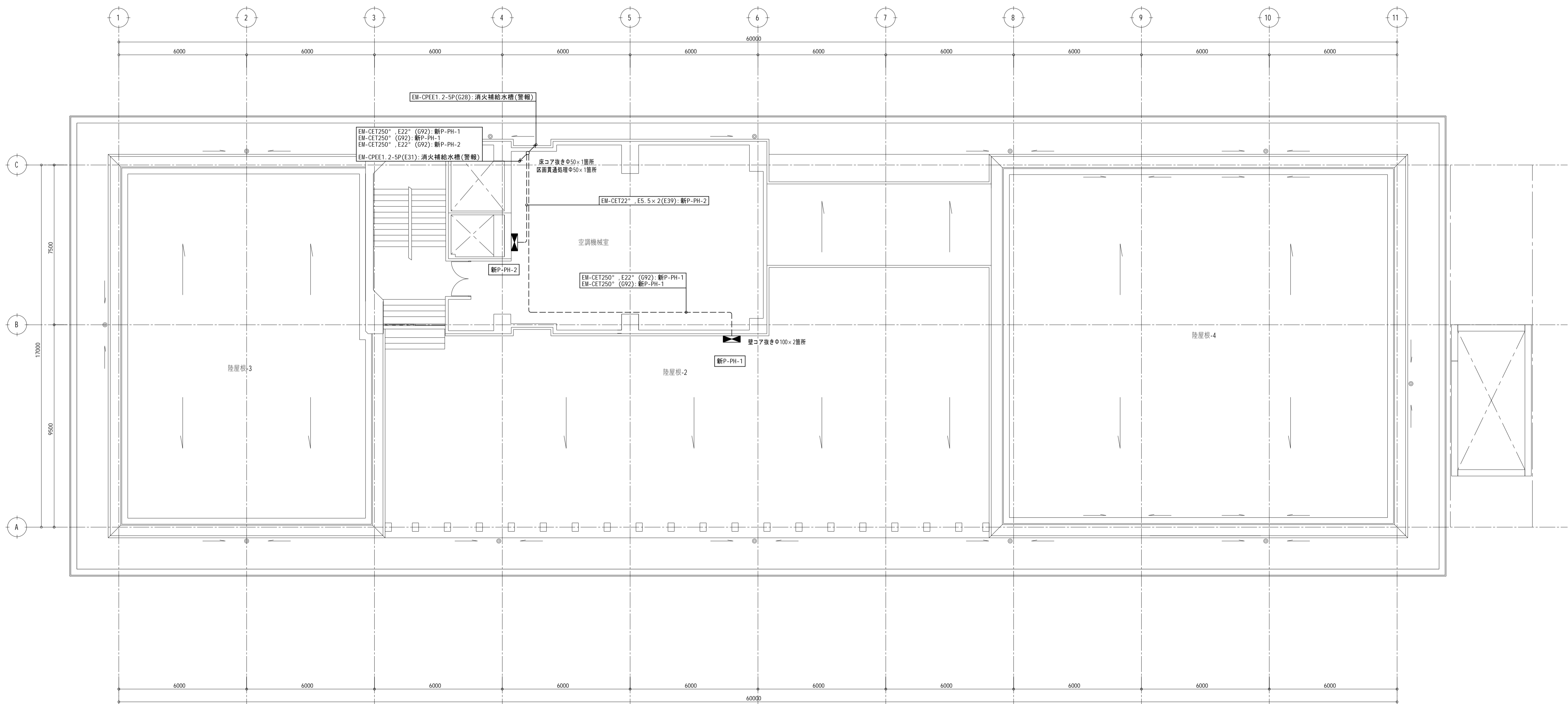
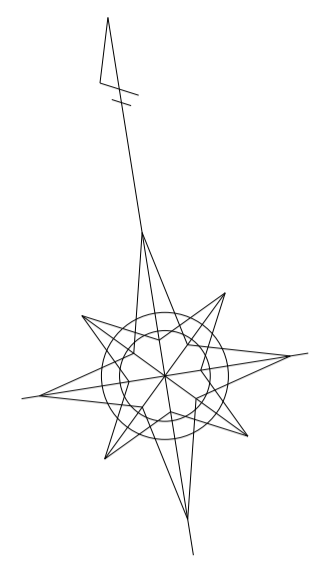
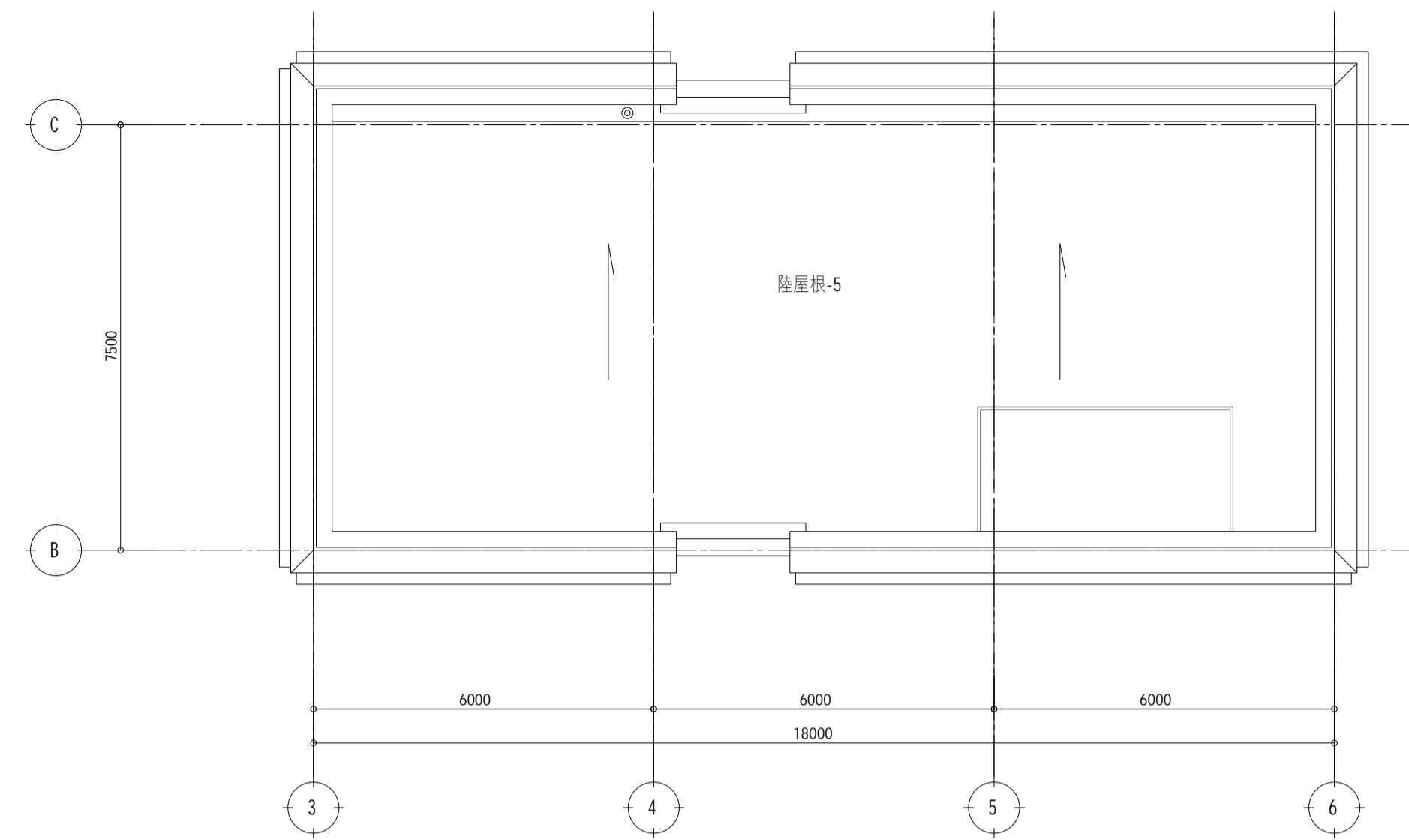
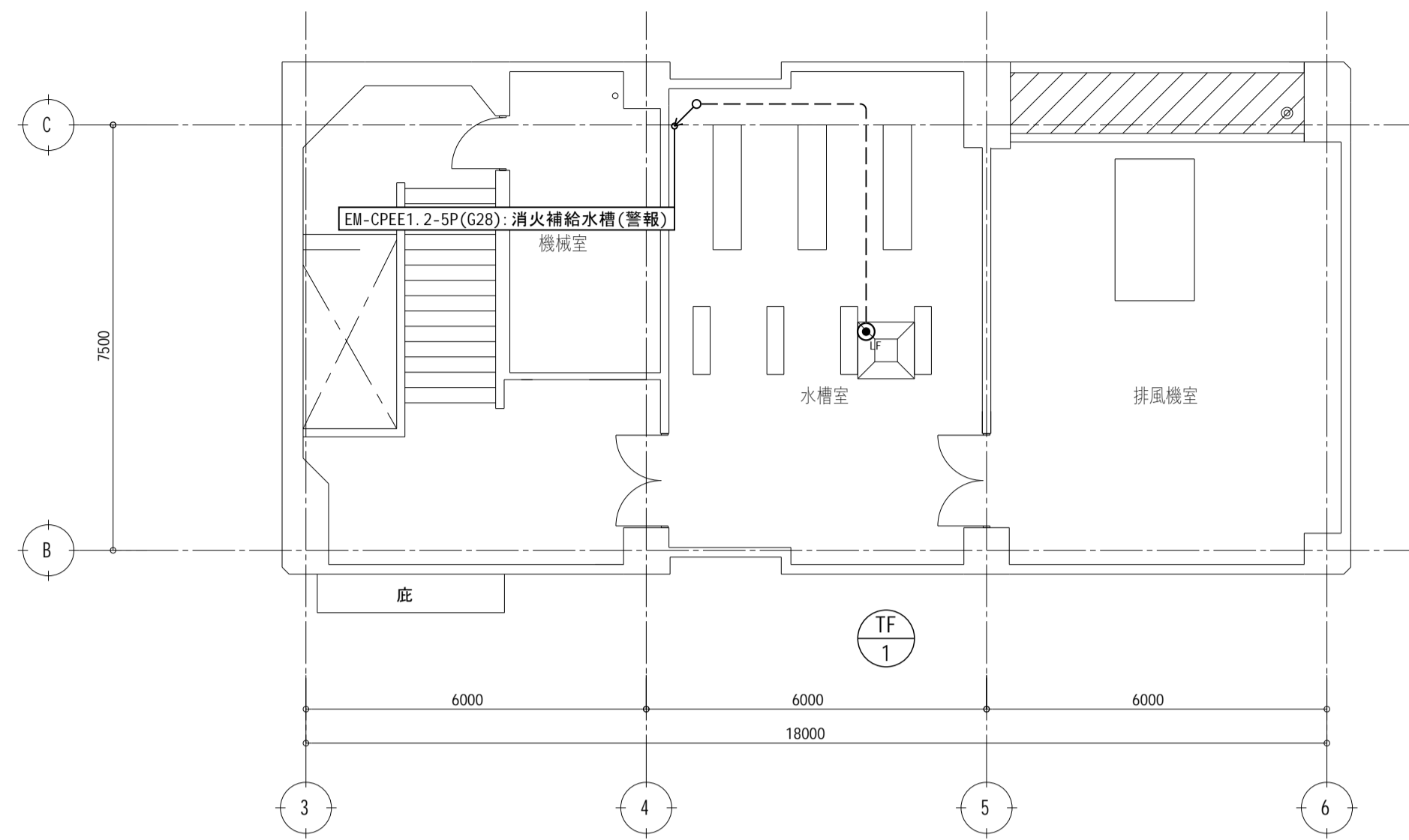






訂正 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.	設計者 氏名	1級建築士登録 第307544号 海 廣 啓	<b>株式会社 エーエーエー設計</b> <small>1級建築士事務所登録 (長野) 18第27112号          管理建築士 1級建築士登録 第208750号 関口 浪男          〒181-0012 長野市穂原2360番地4 TEL 026(2)9618300</small>	工事名 丸子地域自治センター改修事業 南棟設備改修 電気設備工事	図面名 <b>3階 幹線設備平面図</b>	縮尺 1/100 1/200	JOB No. 23006	図案番号 E- 12
	設計者 氏名	村田 根機		設計完了日 23.07.				
	設計者 氏名	村田 根機		23.07.				

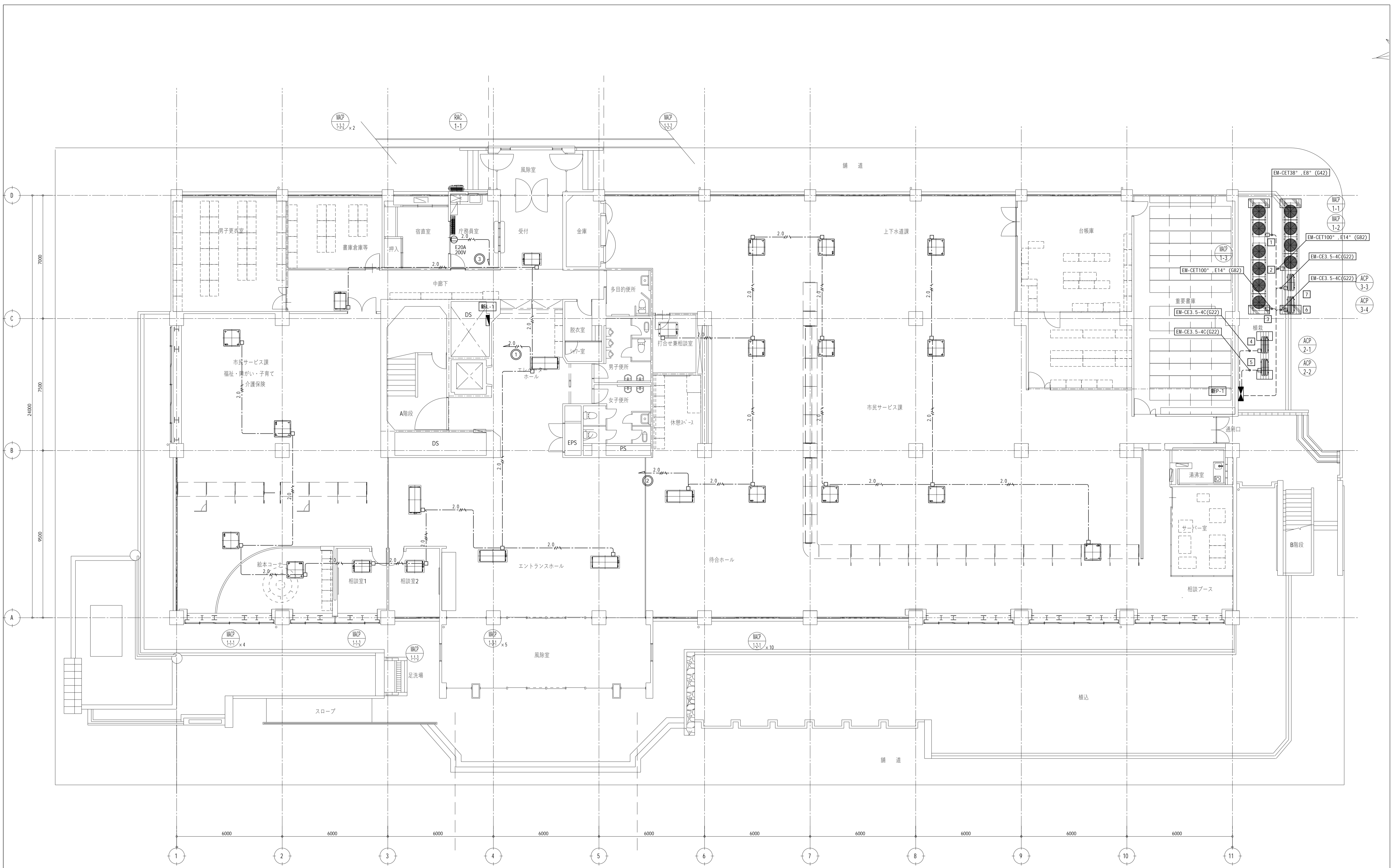




訂正	1.	設計者	1級建築士登録 第307544号 海部 勇
	2.	氏名	
	3.	設計者	
	4.	氏名	
	5.	設計者	
	6.	氏名	
	7.	設計者	

<b>ACA株式会社 エーシーエー設計</b>			
1級建築士事務所登録 (長野) 1第7112号			
管理建築士 1級建築士登録 第208750号 関口 浩男			
〒381-0012 長野市穂原2160番地4 TEL 026(2)9618300			
承認	設計体制及び検査	設計完了日	
検査員	設計者	担当者	担当者
村田	櫻橋		23.07.

工事名	丸子地域自治センター改修事業 南棟設備改修 電気設備工事		
図面名	PH階 幹線設備平面図		
縮尺	1/100	JOB No.	23006
	1/200	図面番号	E- 14

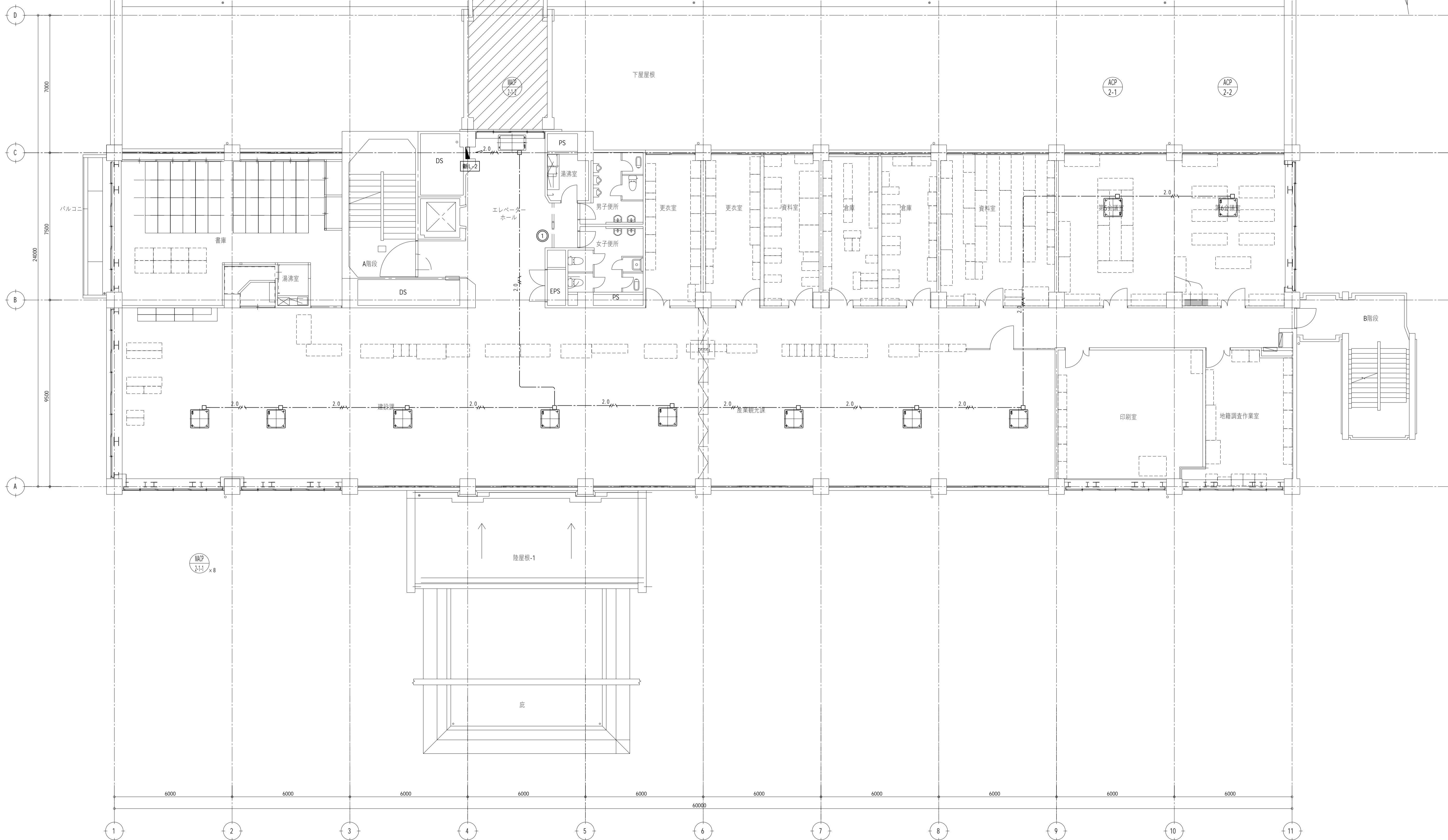
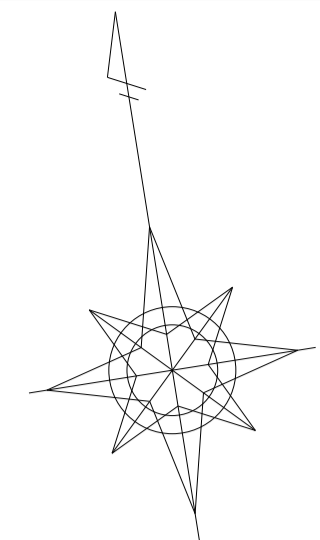


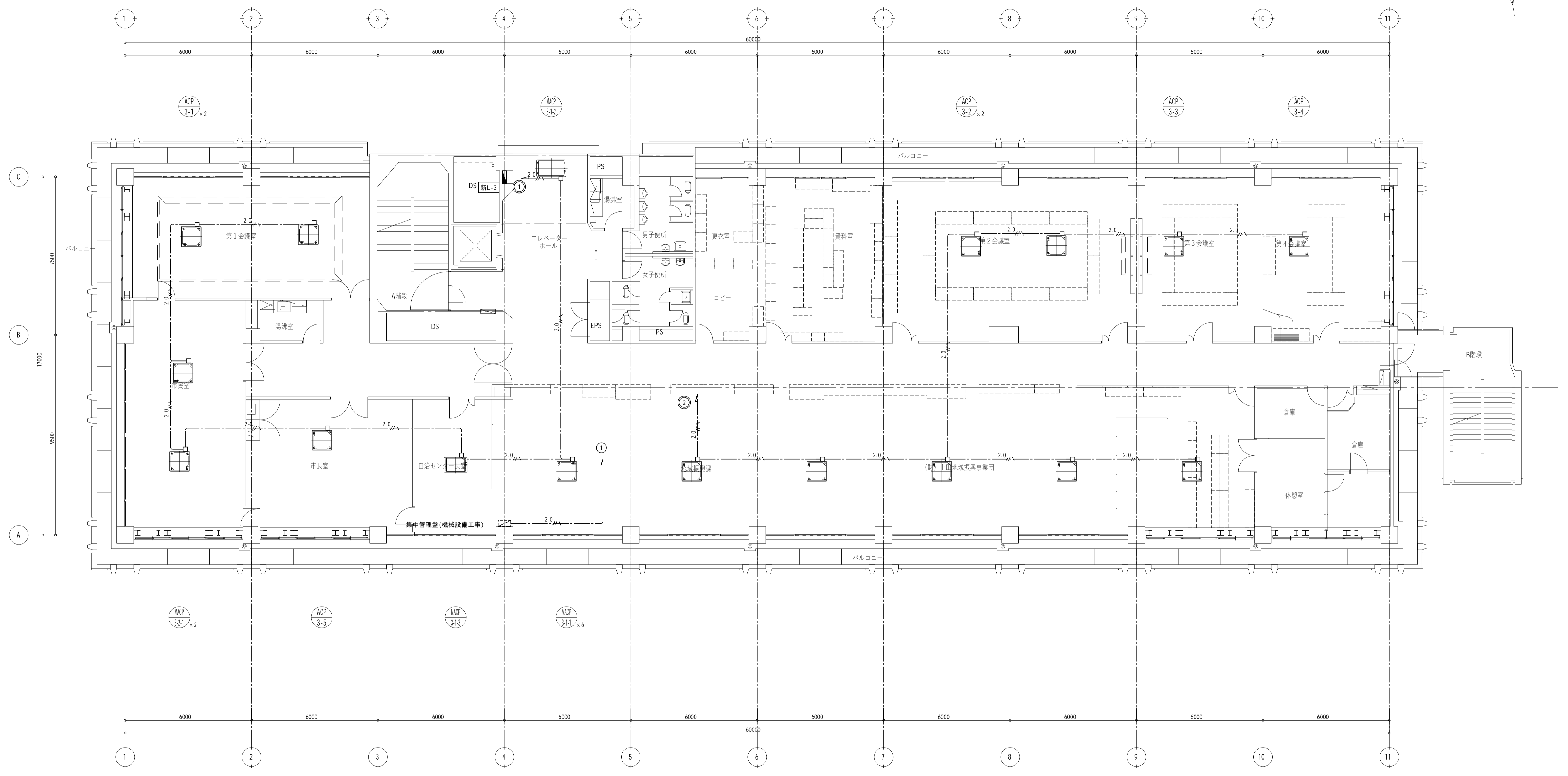
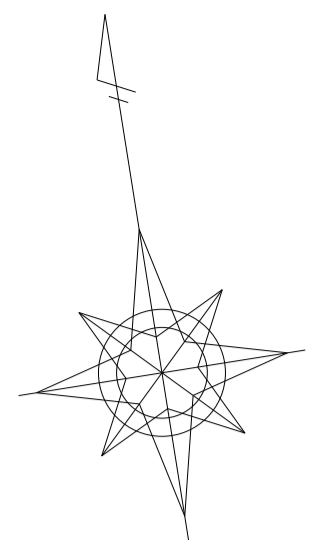
訂正	1	設計者	1級建築士登録 第307544号	海峯 啓
	2	氏名		
	3	設計者		
	4	氏名		
	5	設計者		
	6	氏名		
	7	設計者		

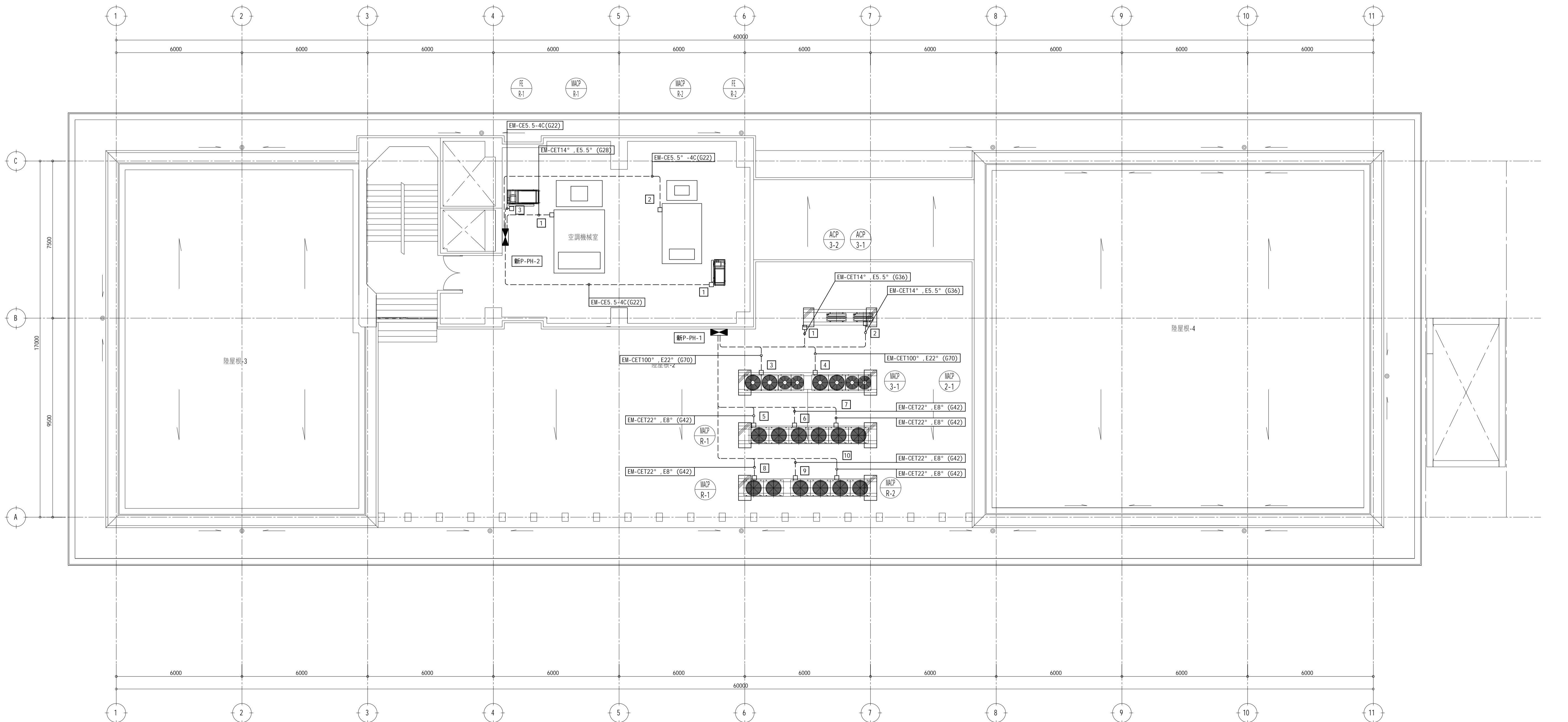
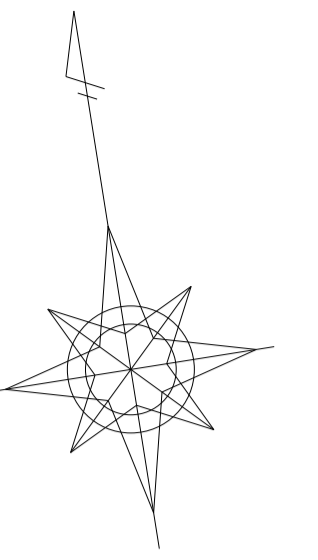
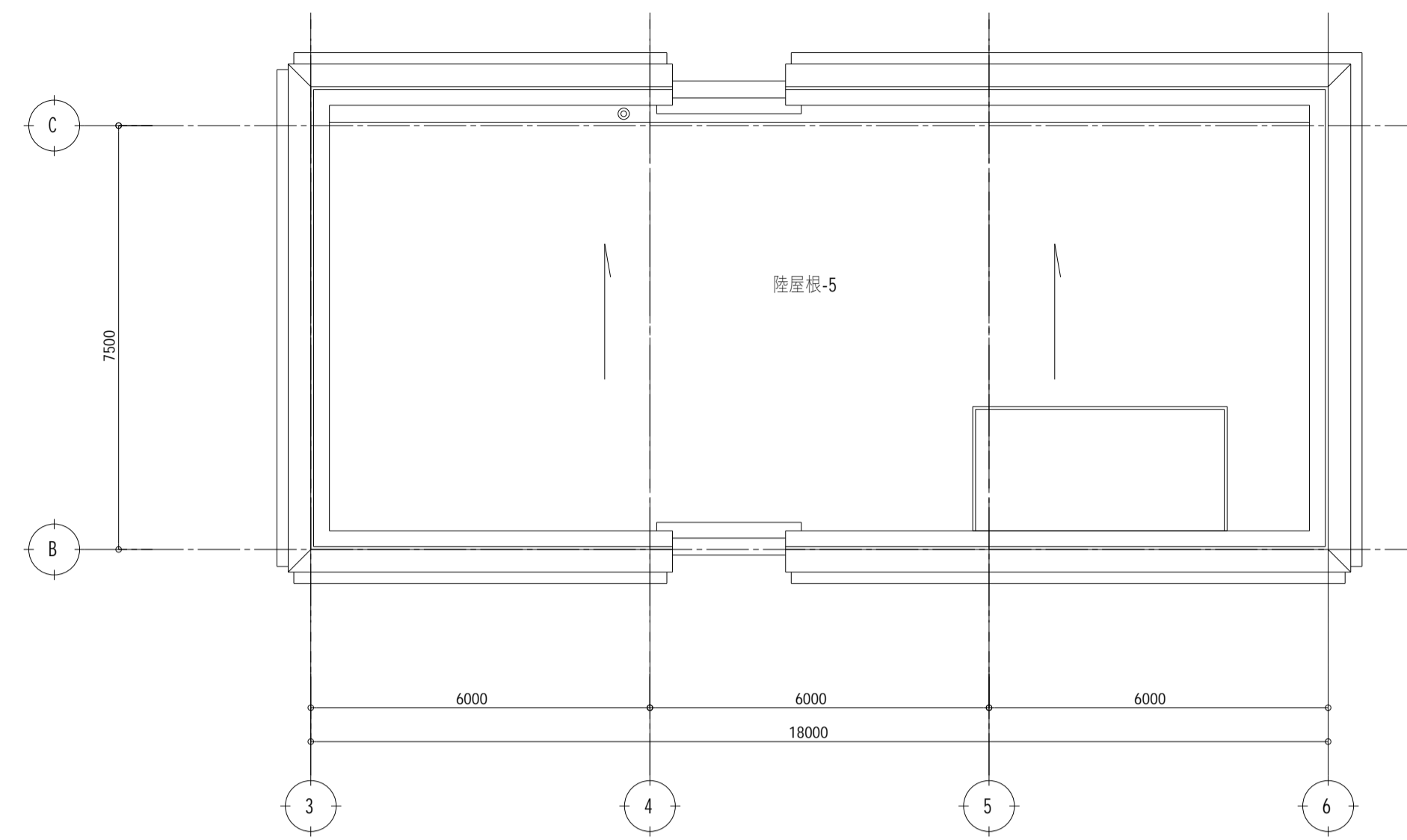
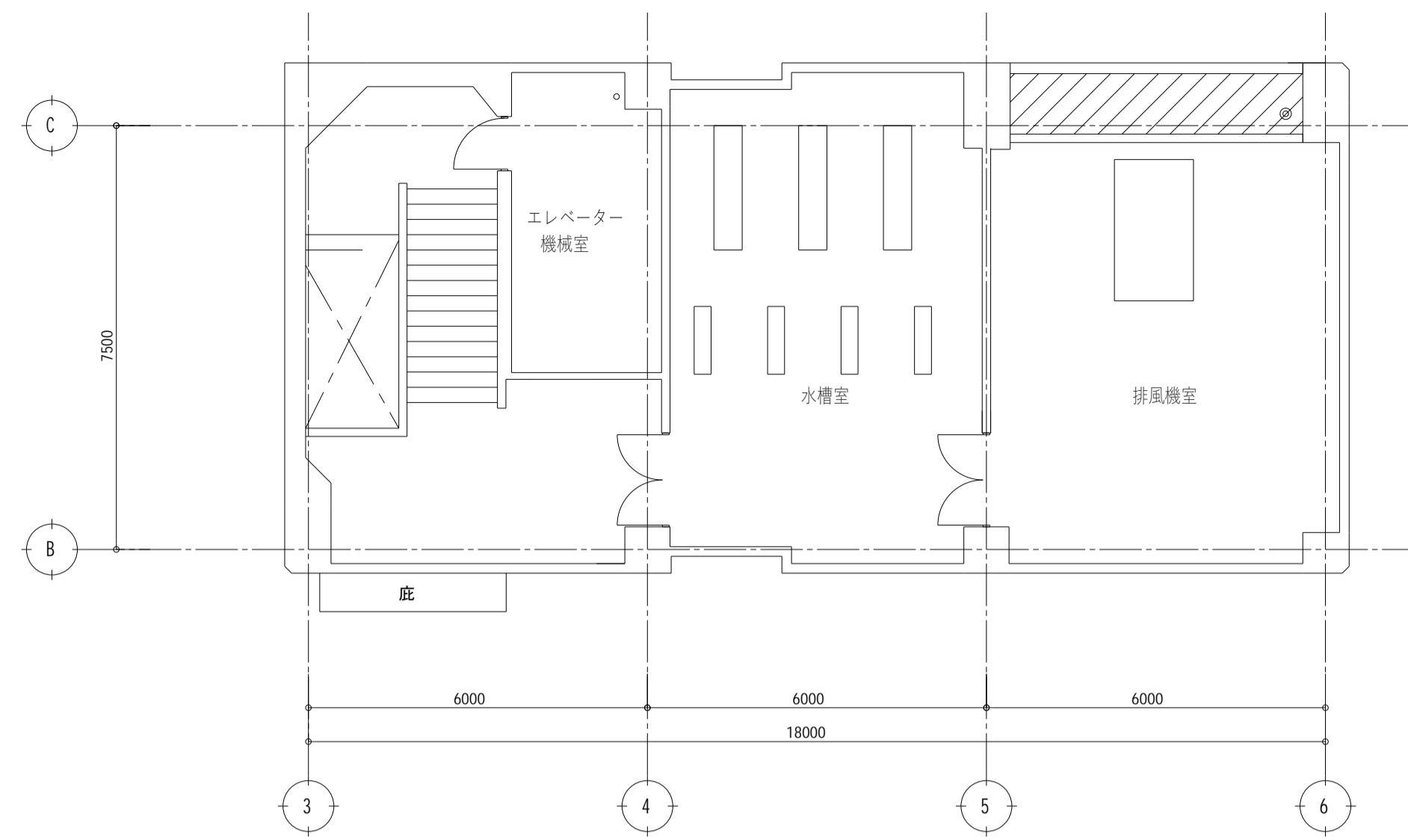
**ACA株式会社 エーシーエー設計**  
 1級建築士事務所登録 (長野) 13第71312号  
 管理棟 1級建築士登録 第208750号 関口 浩男  
 〒381-0012 長野市穂原2160番地4 TEL 026(296)8300  
 承認 設計体制及び検査 設計完了日

工事名	丸子地域自治センター改修事業 南棟設備改修 電気設備工事		
図名	1階 動力設備平面図		
縮尺	1/100	JOB No.	23006
	1/200		E- 15





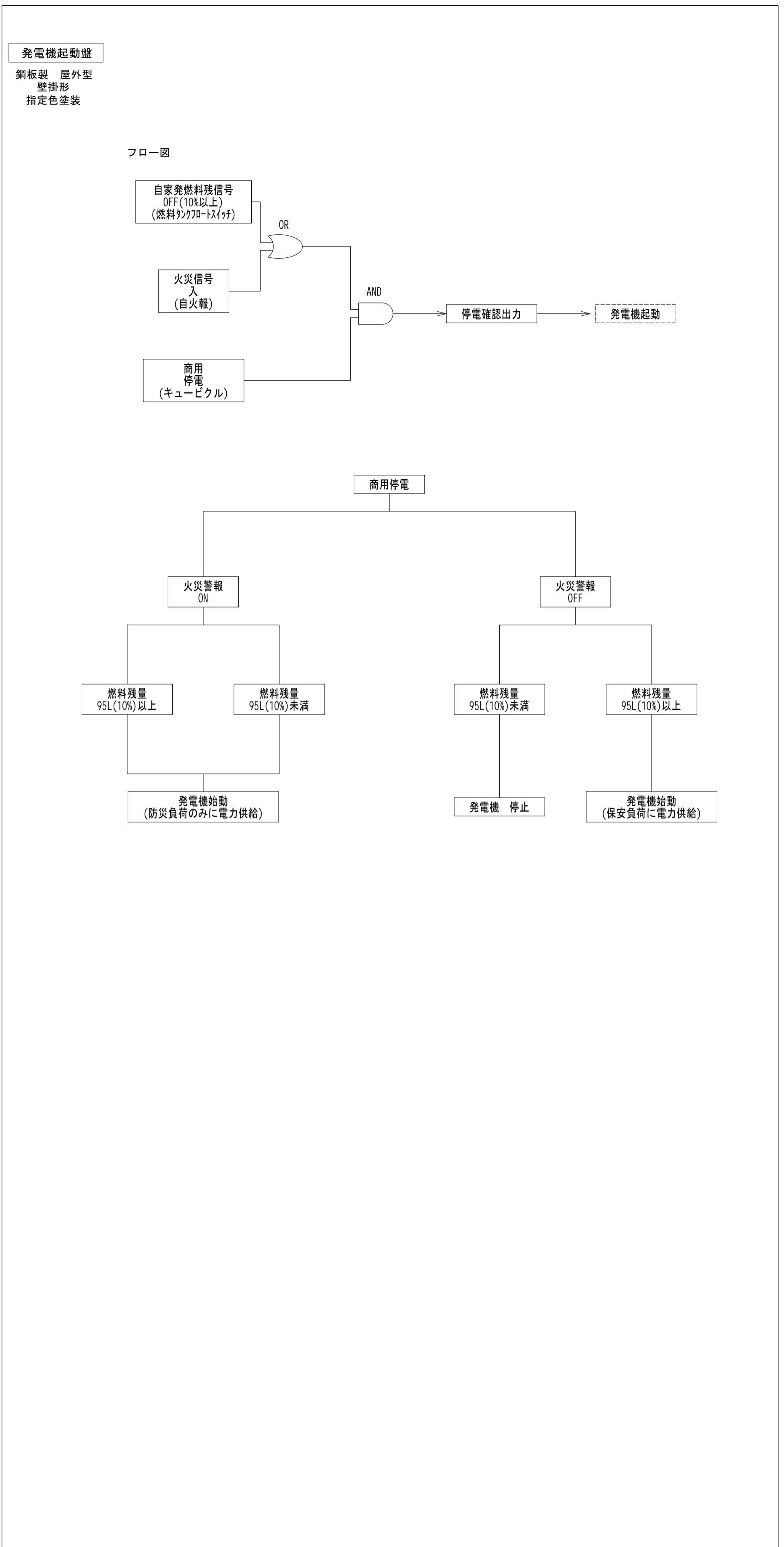


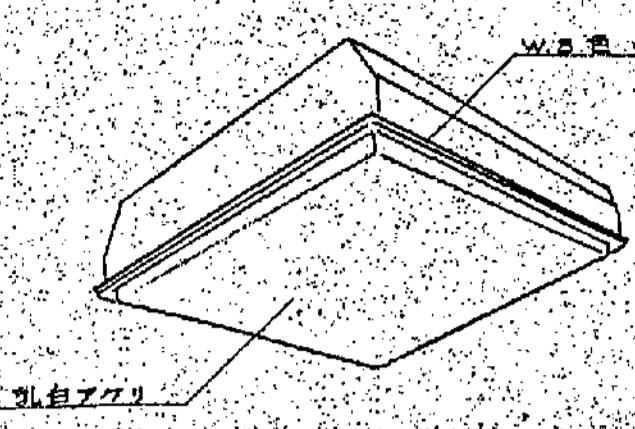
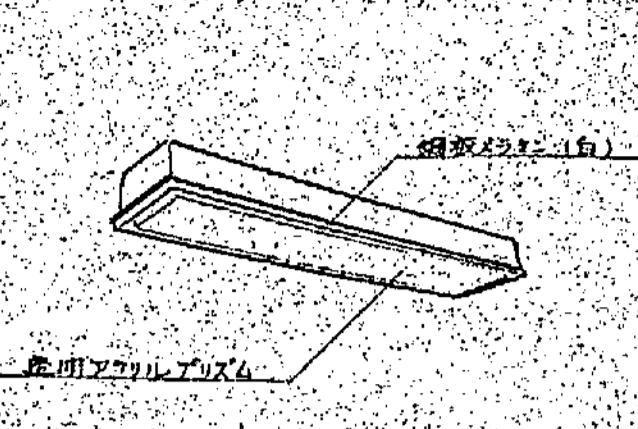
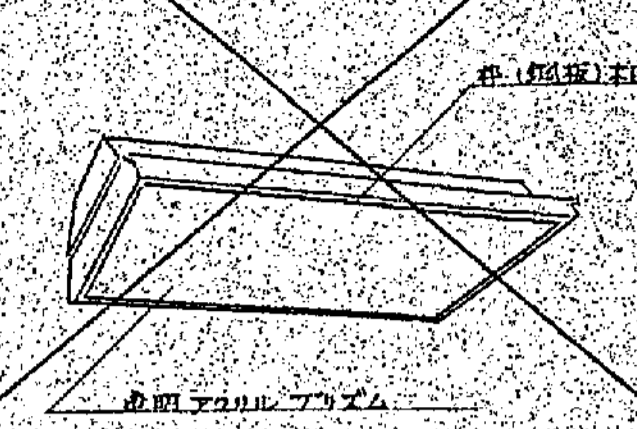
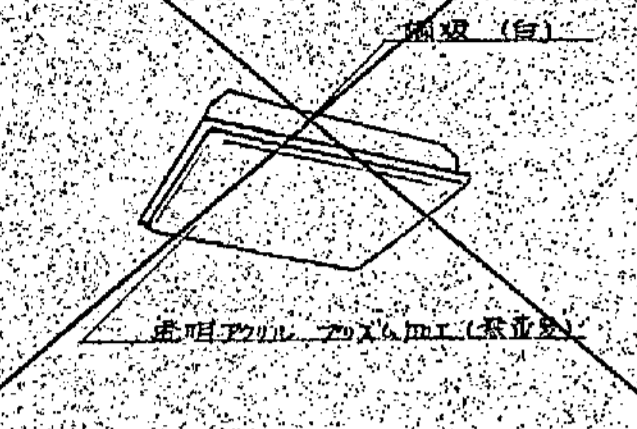
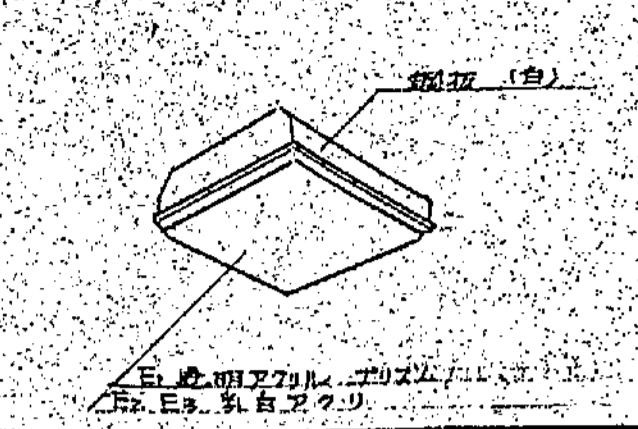
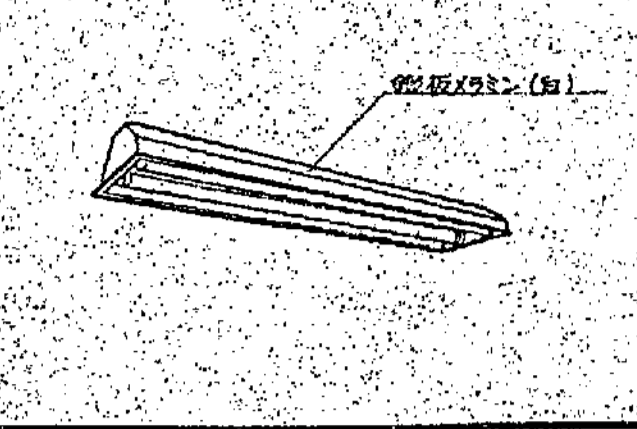
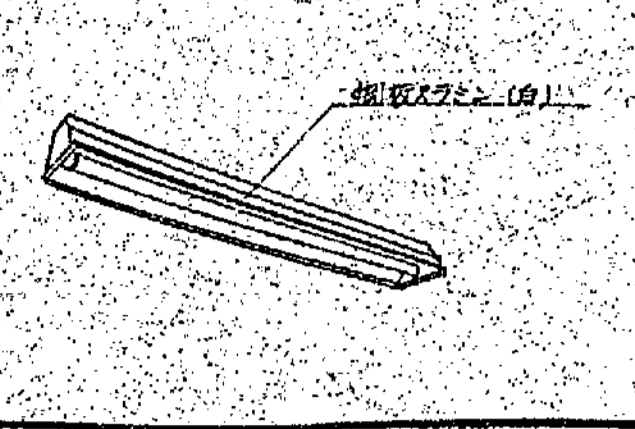
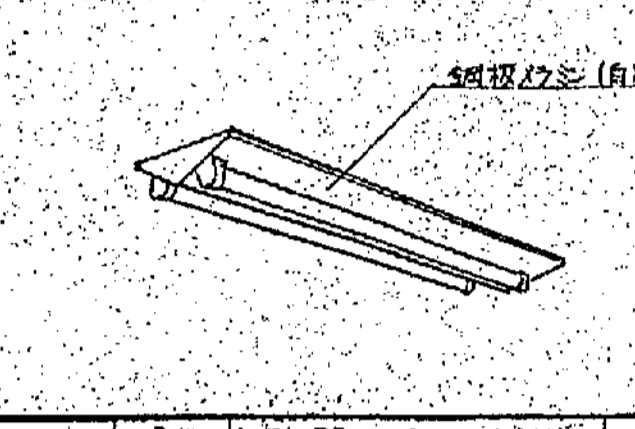
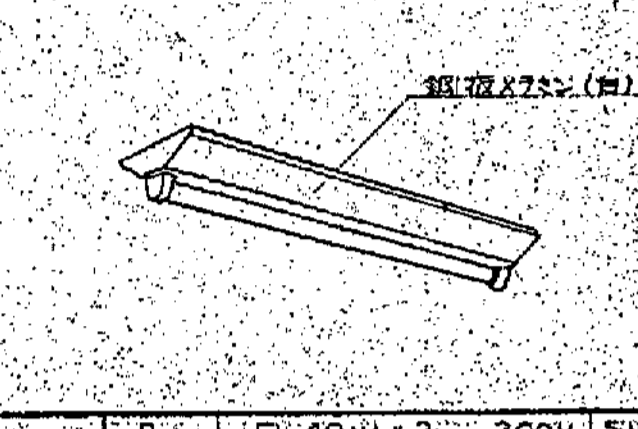
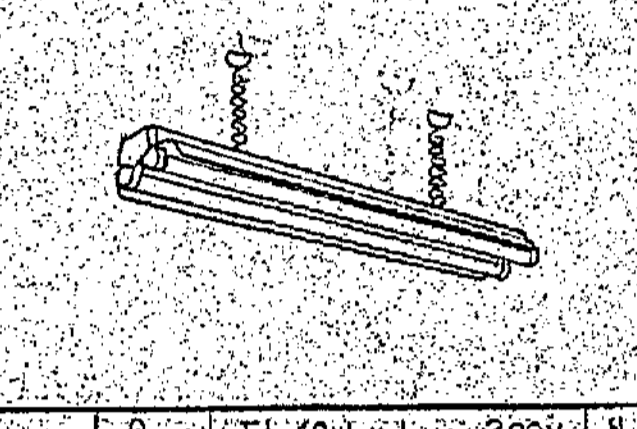
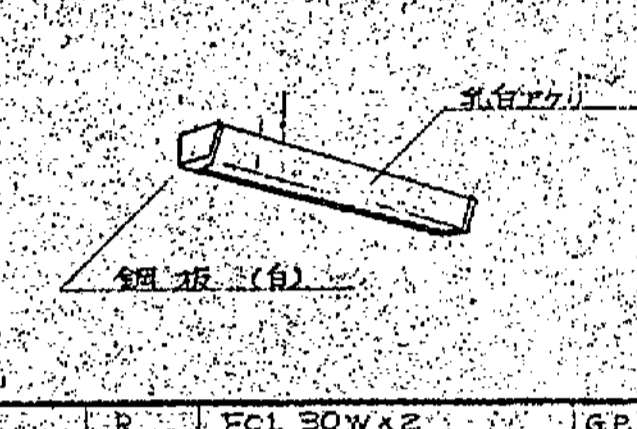
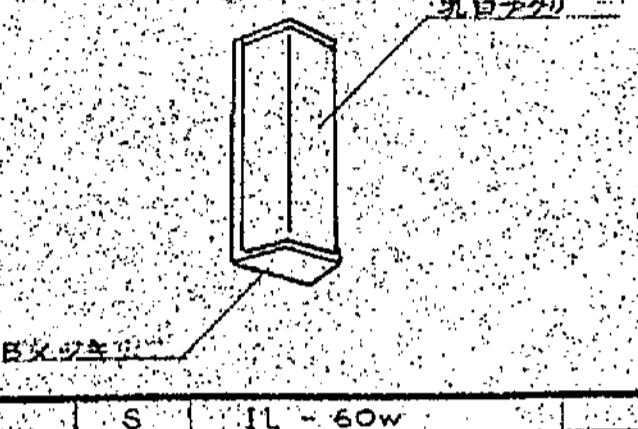
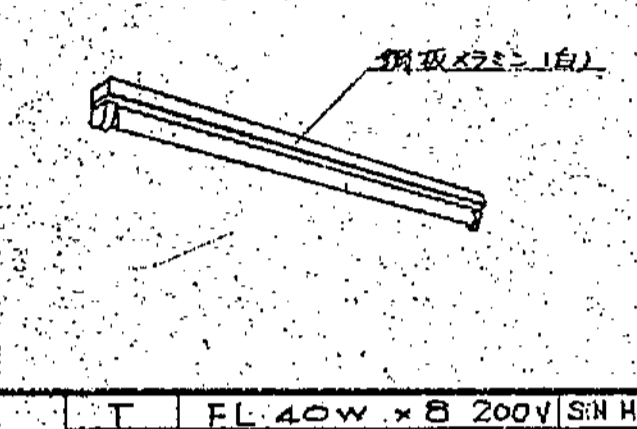
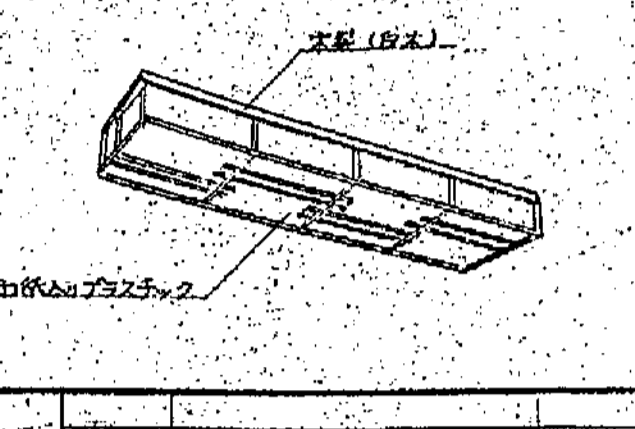
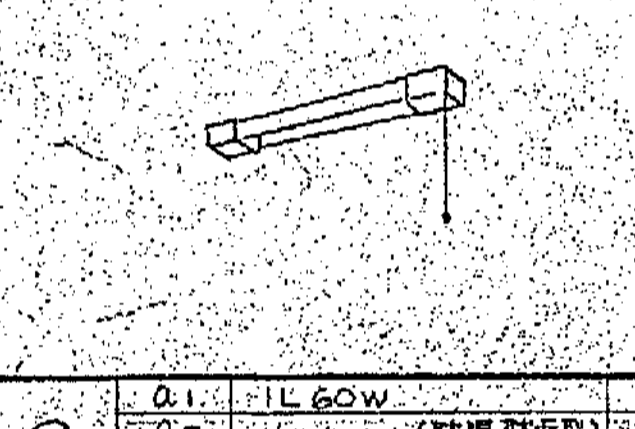
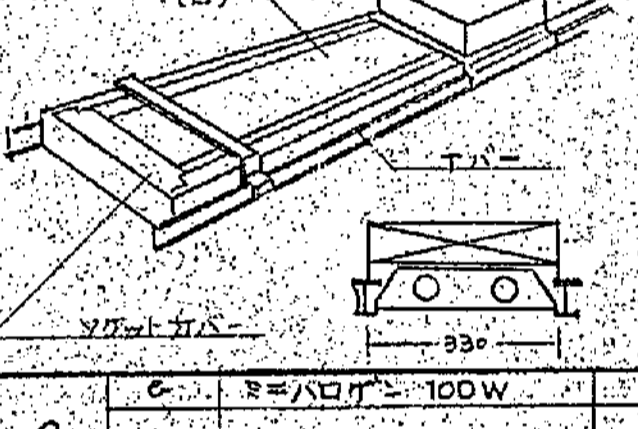
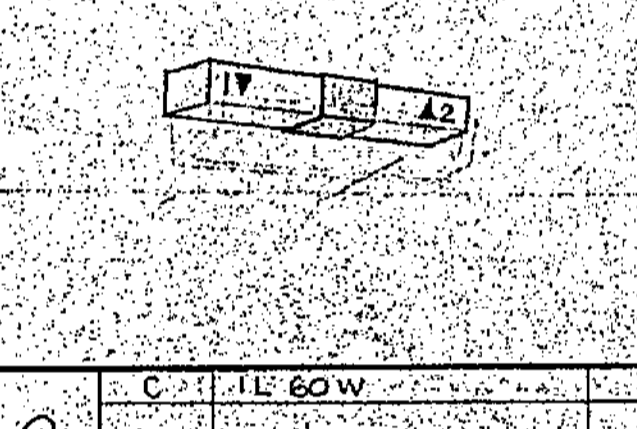
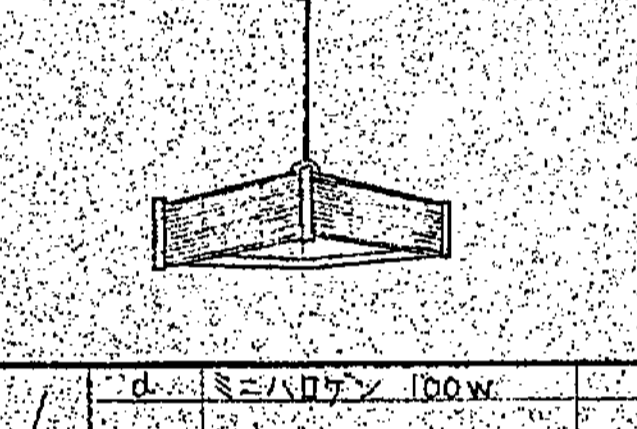
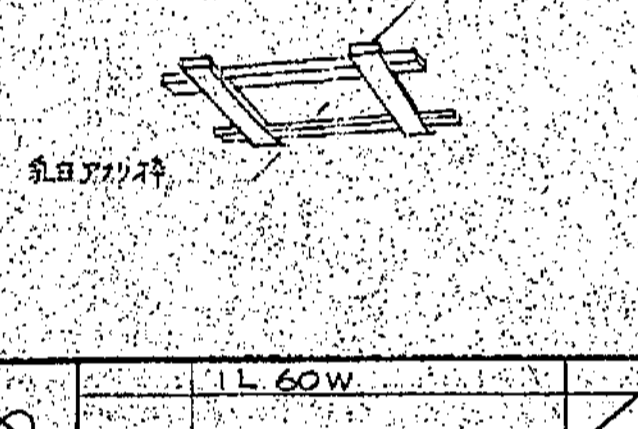
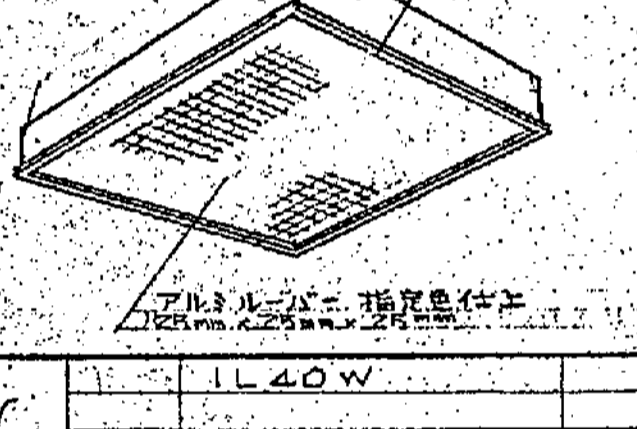
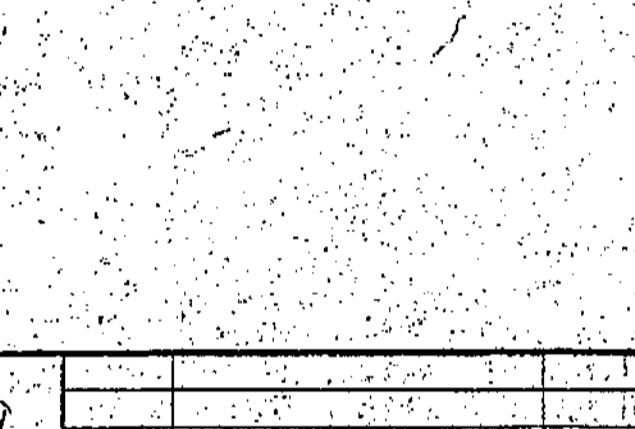
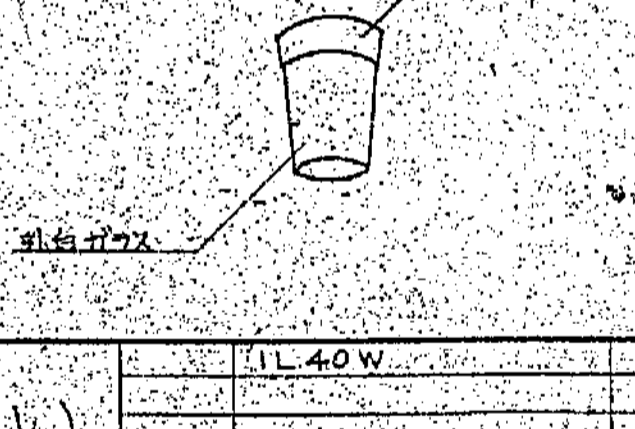
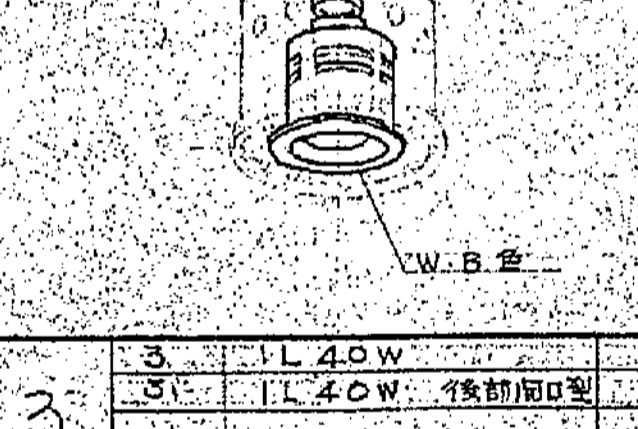
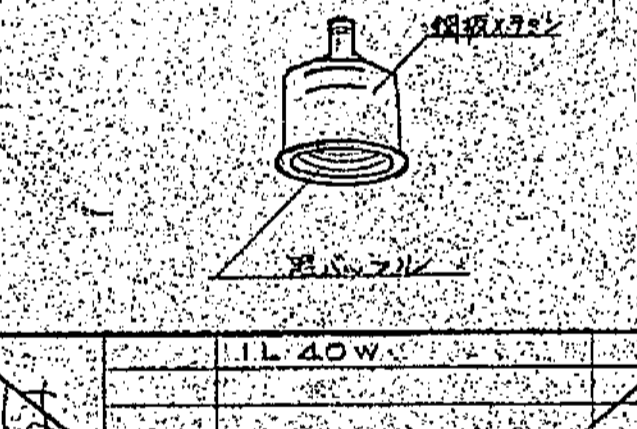
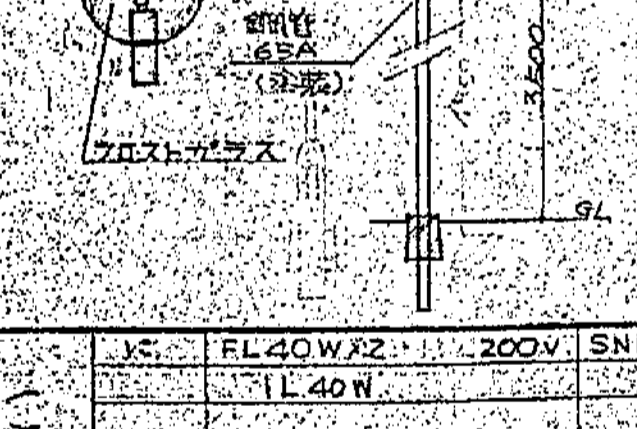
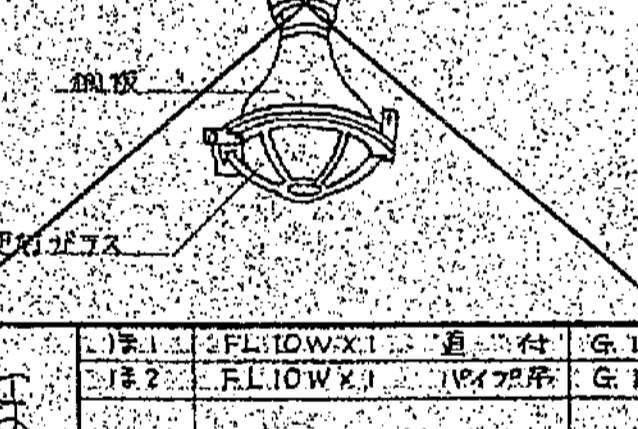
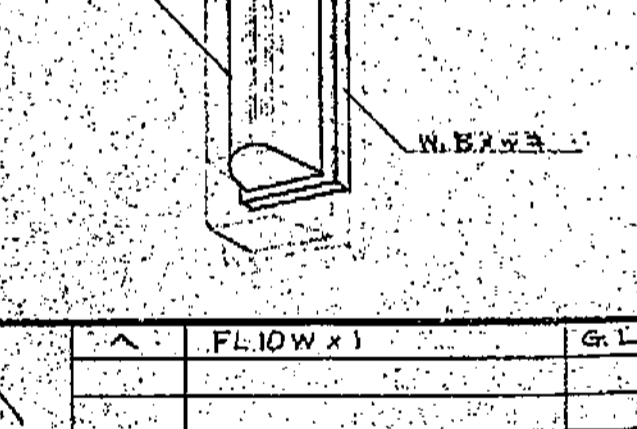
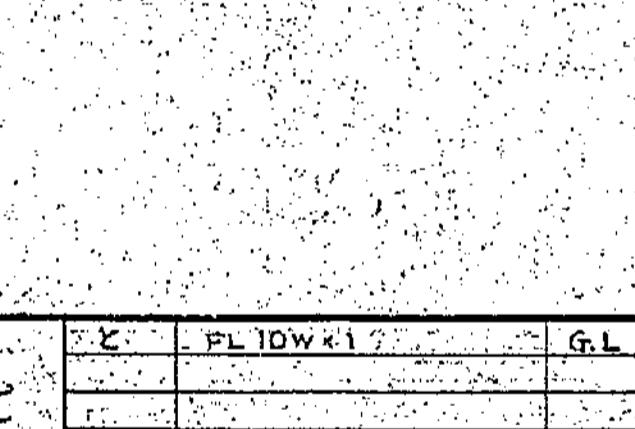
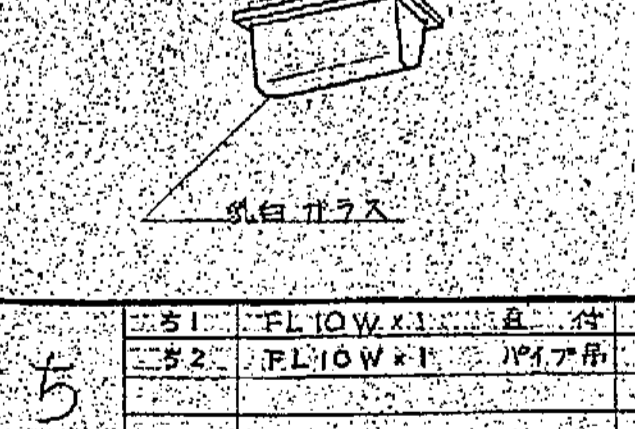
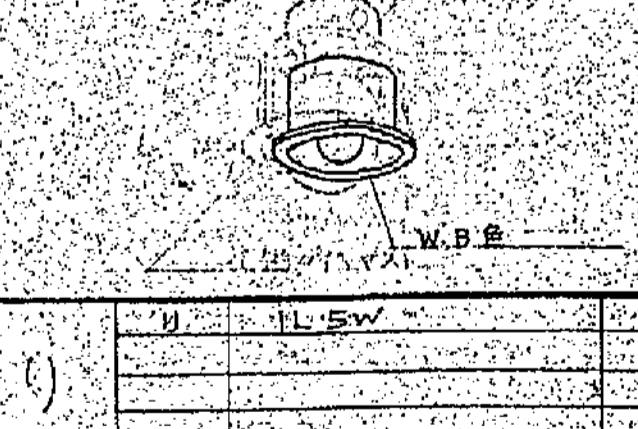
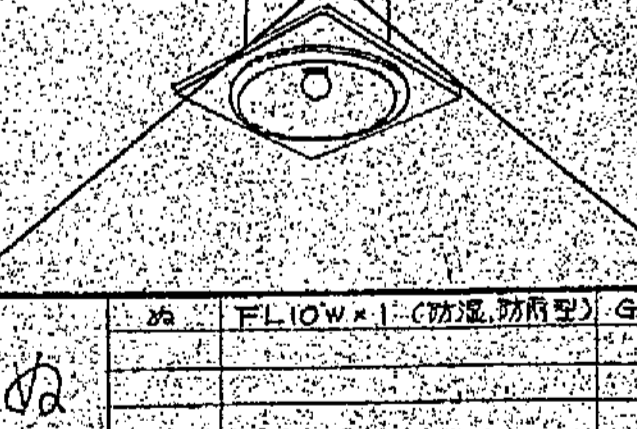
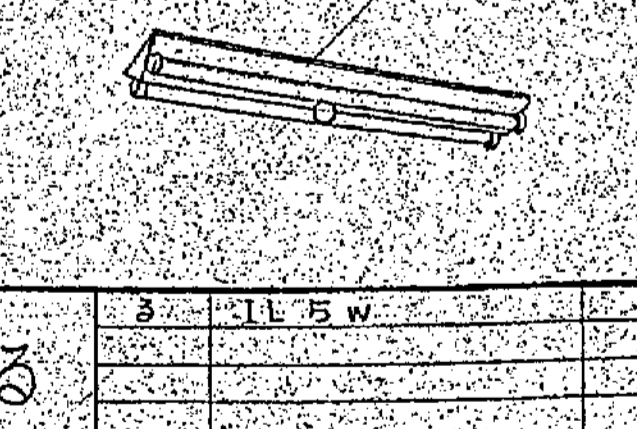
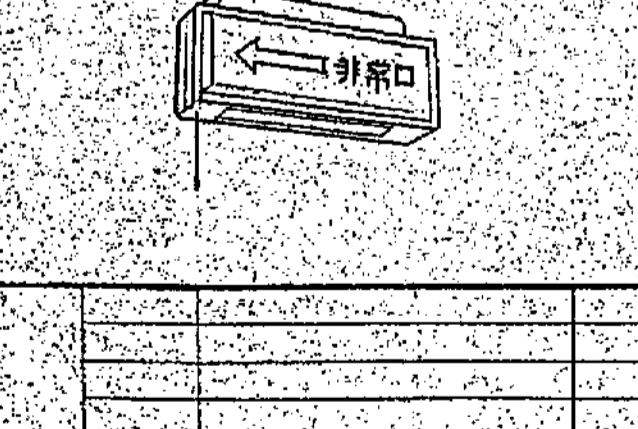


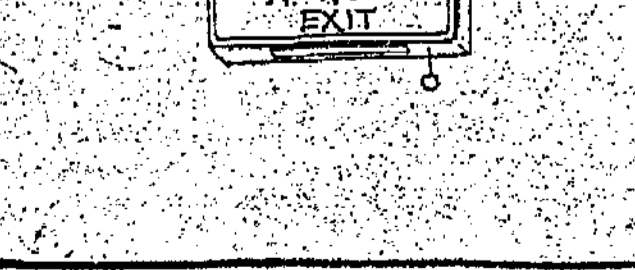

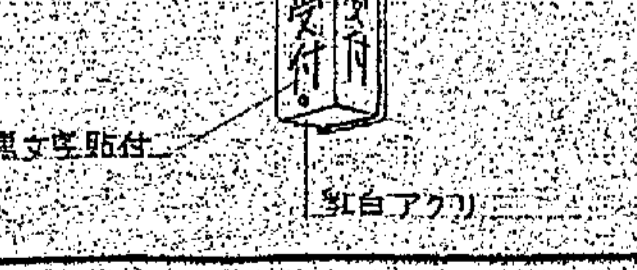
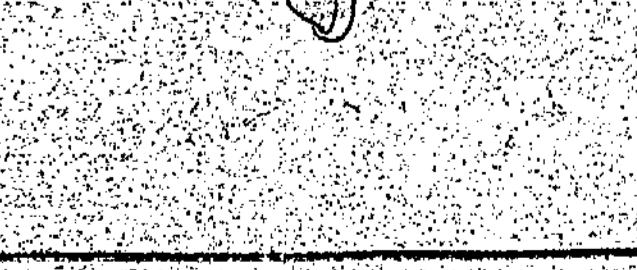


訂正	設計者	1級建築士登録 第307544号	海 藤 啓	<b>ACA株式会社 エー・シー・エー設計</b> 1級建築士事務所登録 (長野) 第27312号 管理棟築士 1級建築士登録 第208750号 関口 浩 彦 〒381-0012 長野市権原2360番地4 TEL 026(2)9618300	工事名	丸子地域自治センター改修事業 南棟設備改修 電気設備工事		
1.	氏名				図面名	PH階 動力設備平面図		
2.	設計者			承認	検査員	設計者	担当者	設計完了日
3.	氏名				村田	櫻橋		23.07.
4.	氏名			縮尺	1/100	JOB No.	23006	図面番号
5.	氏名				1/200			E- 18
6.	氏名							
7.	氏名							

盤名称 盤形式 幹線番号	電気方式 主開閉器 合計容量	回路 番号	電圧 (V)	分岐開閉器			負荷名称	容量 (VA)	リコ ンレ	備考
				MCCB ELCB	P	AF/AT				
新L-1 鋼板製 壁掛形 指定色塗装	AC1φ3W 100・200V MCCB 3P 50/50AT 幹線負荷合計 7150 KVA	①	200	ELCB	2	50/20	屋内機	330		
			200	ELCB	2	50/20	屋内機	360		
			200	ELCB	2	50/20	ルームエアコン RAC-1	3900		
		②	100	ELCB	2	50/20	換気扇	1440		
			100	ELCB	2	50/20	換気扇	1120		
新L-2 鋼板製 壁掛形 指定色塗装	AC1φ3W 100・200V MCCB 3P 50/50AT 幹線負荷合計 2430 KVA GC1φ3W 100・200V MCCB 3P 50/20AT 幹線負荷合計 1172 KVA	①	200	ELCB	2	50/20	屋内機	990		
			100	ELCB	2	50/20	換気扇	720		
			100	ELCB	2	50/20	換気扇	720		
		②	100	MCCB	2	50/20	照明	672		
			100	ELCB	2	50/20	コンセント	500		
新L-3 鋼板製 壁掛形 指定色塗装	AC1φ3W 100・200V MCCB 3P 50/50AT 幹線負荷合計 1620 KVA GC1φ3W 100・200V MCCB 3P 50/20AT 幹線負荷合計 904 KVA	①	200	ELCB	2	50/20	屋内機	640		
			200	ELCB	2	50/20	屋内機	720		
			100	ELCB	2	50/20	換気扇	560		
		②	100	ELCB	2	50/20	換気扇	960		
			100	ELCB	2	50/20	集中管理盤	100		
			100	MCCB	2	50/20	照明	504		
③	100	ELCB	2	50/20	コンセント	400				

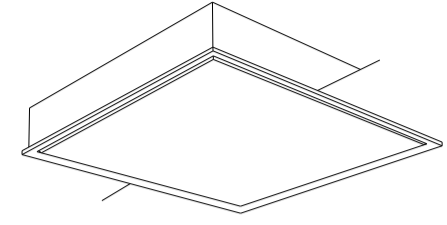
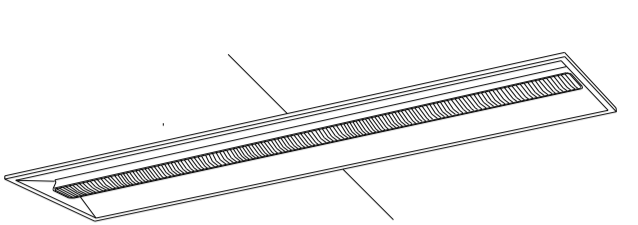
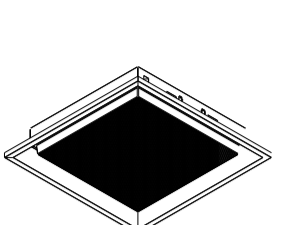
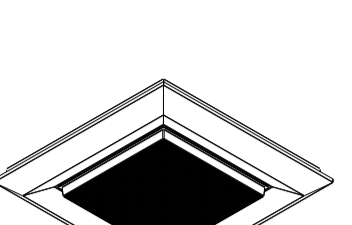
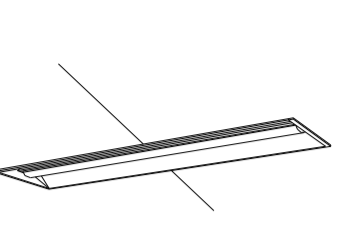
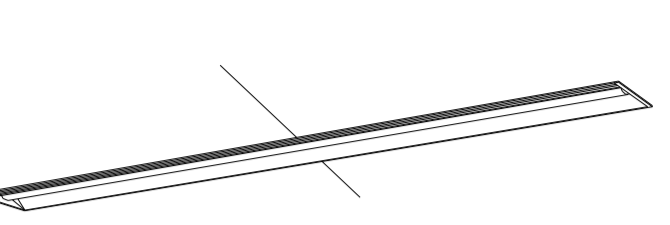
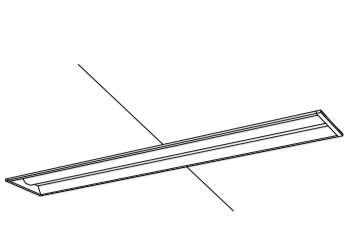
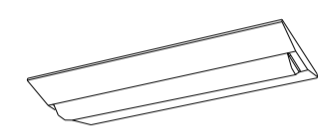

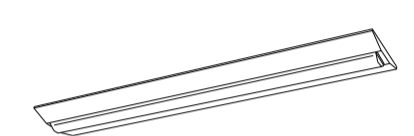
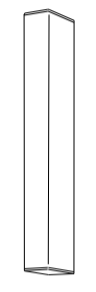
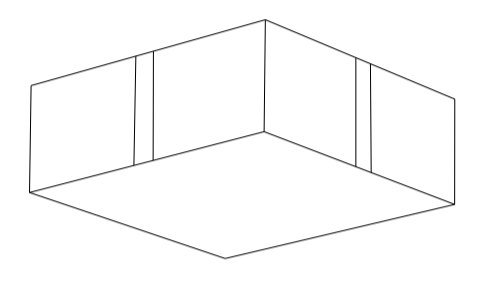
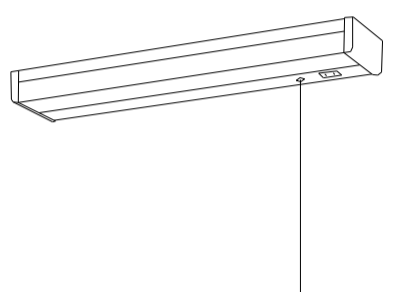
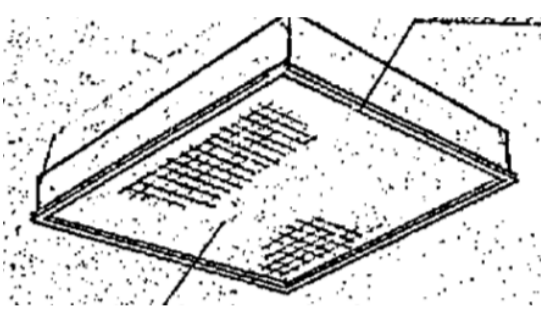
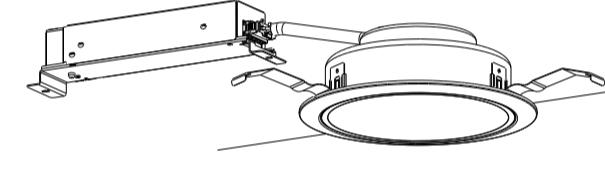
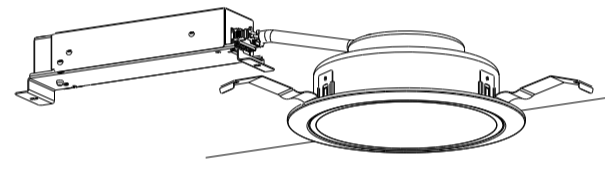
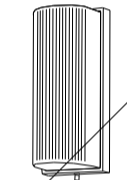
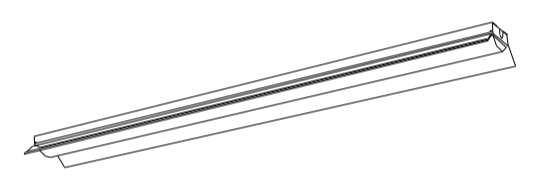
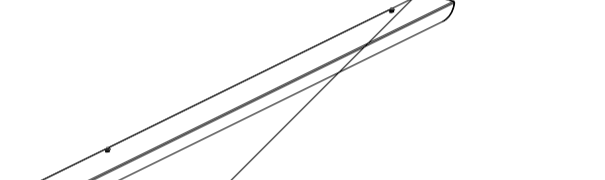
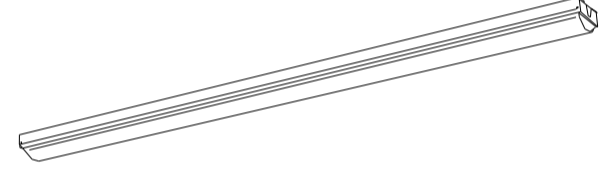
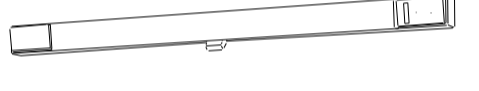
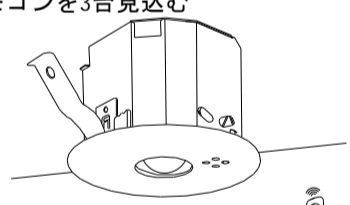
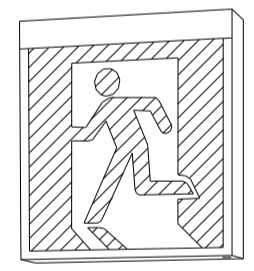
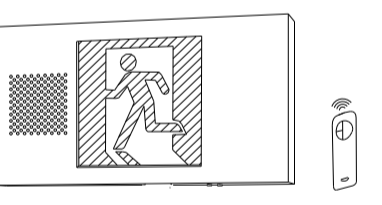
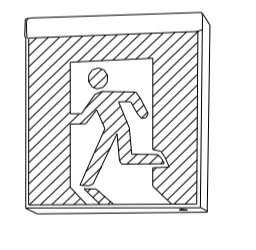
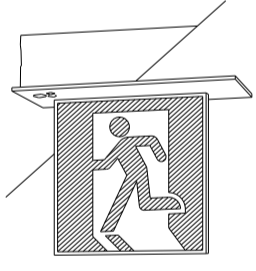
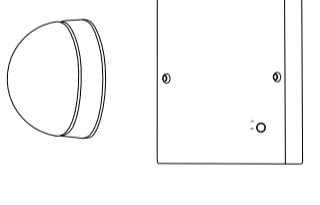
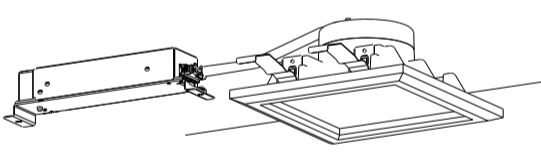
盤名称 盤形式 幹線番号	電気方式 主開閉器 合計容量	回路 番号	電圧 (V)	分岐開閉器			負荷名称	容量 (VA)	リコ ンレ	備考
				MCCB ELCB	P	AF/AT				
新P-1 鋼板製 屋外型 壁掛形 指定色塗装	AC3φ3W 200V MCCB 3P 200/200AT 幹線負荷合計 63.5 KVA	①	200	ELCB	3	200/175	MACP-1-1	22200		
			200	ELCB	3	225/225	MACP-1-2	41300		
		②	200	ELCB	3	225/225	MACP-1-3	44400		
			200	ELCB	3	100/75	ACP-2-1	6060		
			200	ELCB	3	100/75	ACP-2-2	6340		
			200	ELCB	3	100/75	ACP-3-3	6340		
			200	ELCB	3	100/75	ACP-3-4	6340		
新P-PH-1 鋼板製 屋外型 壁掛形 指定色塗装	AC3φ3W 200V MCCB 3P 300/300AT 幹線負荷合計 89.48 KVA	①	200	ELCB	3	100/75	ACP-3-2	6340		
		②	200	ELCB	3	100/75	ACP-3-1	6340		
		③	200	ELCB	3	225/225	MACP-3-1	41300		
		④	200	ELCB	3	225/225	MACP-2-1	35500		
新P-PH-2 鋼板製 屋外型 壁掛形 指定色塗装	AC3φ3W 200V MCCB 3P 225/150AT 幹線負荷合計 24.20 KVA	⑤	200	ELCB	3	100/75	MACP-R-1	15000		
		⑥	200	ELCB	3	100/75	MACP-R-1	15000		
		⑦	200	ELCB	3	100/75	MACP-R-1	15000		
		⑧	200	ELCB	3	100/75	MACP-R-1	15000		
		⑨	200	ELCB	3	100/75	MACP-R-2	15000		
		⑩	200	ELCB	3	100/75	MACP-R-2	15000		
電源接続盤 鋼板製 屋外型 自立型 指定色塗装	AC3φ3W 200V MCCB 3P 225/125AT					排煙ファン	15kW		人△始動器 ↑火災信号	
警報盤 新K-1 壁掛型 指定色塗装						消火ポンプ起動				
						キュービクル	一括			
						呼水槽減水				
						消火補給水槽減水				
						受水槽満水				
						受水槽減水				
						発電機故障	一括			
						発電機起動				
						予備				
						予備				

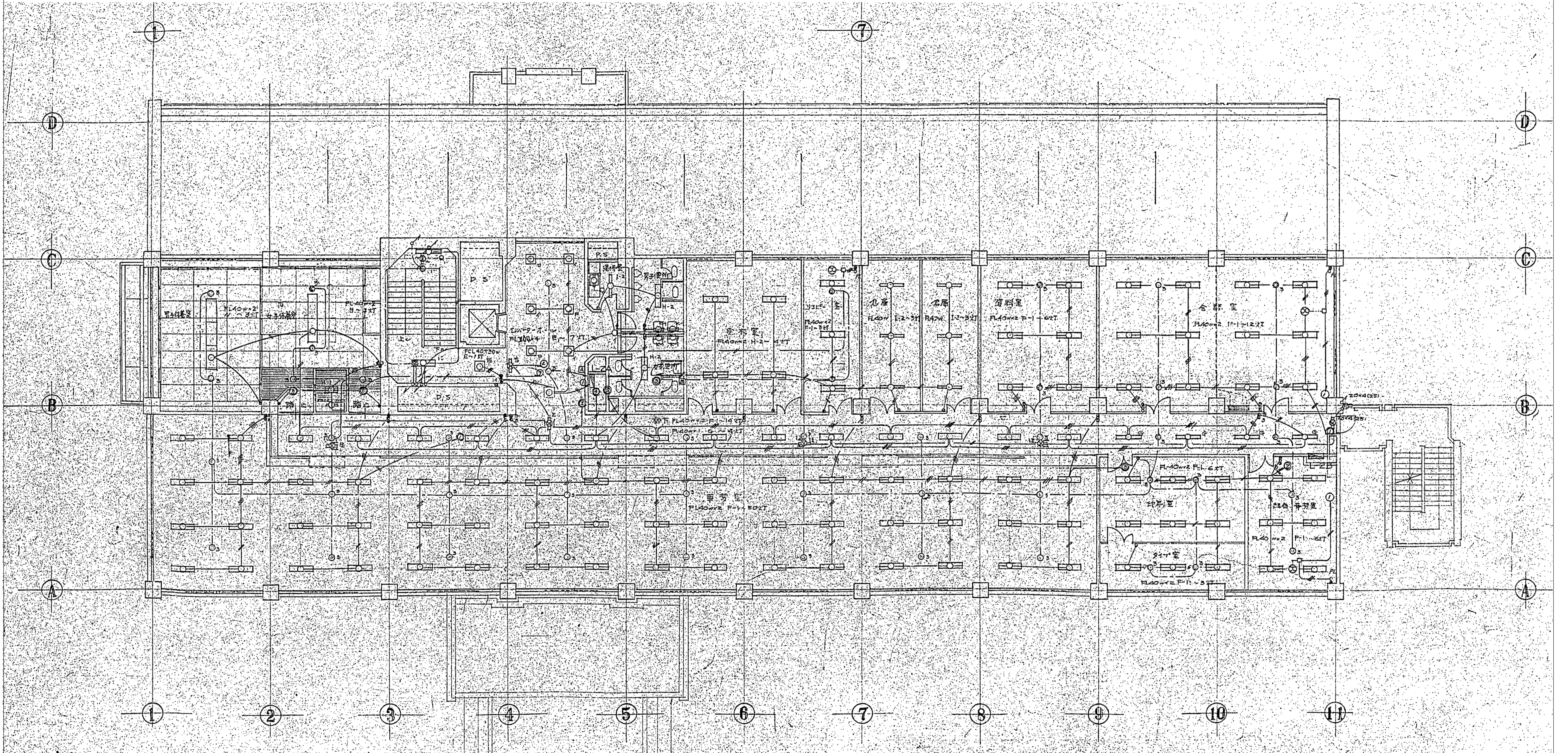


A	B	C	D	E	F	G
						
H	I	J	K	L	M	N
						
O	P	Q	R	S	T	U
						
a	b	c	d	e	f	g
						
v1	3	1	1	1	1	1
						
5	9	9	3			
						

訂正	1	設計者	1級建築士登録 307544号 海峯 孝
	2	氏名	
	3	設計者	1級建築士登録 (長野) 1897112号 1級建築士事務所登録 208750号 関口洋秀
	4	氏名	
	5	設計者	1級建築士登録 307544号 海峯 孝
	6	氏名	
	7	設計者	1級建築士登録 (長野) 1897112号 1級建築士事務所登録 208750号 関口洋秀
	8	氏名	
	9	設計者	1級建築士登録 (長野) 1897112号 1級建築士事務所登録 208750号 関口洋秀
	10	氏名	

<p><b>ACA株式会社 エー・エー・エー 設計</b></p> <p>1級建築士事務所登録 (長野) 1897112号          1級建築士事務所登録 208750号 関口洋秀          〒381-0012 長野市南原2160番地4 TEL 026(2)9618300</p>			<p>工事名 丸子地域自治センター改修事業 南棟設備改修 電気設備工事</p> <p>図番 照明器具姿図 改修前</p>
<p>設計者 村田 櫻</p> <p>担当者 櫻 23.07.</p>	<p>設計者 櫻</p> <p>担当者 櫻</p>	<p>設計完了日</p>	
<p>Ns</p> <p>Ns</p>	<p>23006</p>	<p>E- 20</p>	

A	LED埋込スクエアベースライト	169W 13220 lm	B	LED埋込ベースライト	43.1W 5930 lm	E1	LED埋込スクエアベースライト	31.9W 3900 lm	E2	LED埋込スクエアベースライト	31.9W 3900 lm	E3	LED直付スクエアベースライト	31.9W 3900 lm	F1	LED埋込ベースライト	25W 3880 lm	F2	LED埋込ベースライト	62.5W 9690 lm	G	LED埋込ベースライト	13.1W 1940 lm
 <p>□1200タイプ 調光可能タイプ(約25~100%) 電圧:100~242V 光源寿命:40000時間(光束維持率85%) Ra:83 本体:亜鉛鋼板(ホワイト) 枠:鋼板(ホワイト) パネル:アクリル(乳白) 昼白色(5000K)</p> <p>パナソニック NNF45850 LT9 同等品</p>		 <p>マルチコンフォートタイプ、一般タイプ、6800lmタイプ 消費電力4.31W、定格出力型、電圧100~242V 本体:亜鉛鋼板 反射板:鋼板(高反射白色粉体塗装) ライトバー(カバー):ポリカーボネート(乳白) 光源寿命40000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵 W300 リニューアル対応型 パナソニック XLX460VKT LE9同等品</p>		 <p>スクエア光源タイプ、グレアセーブ光源ユニット、4500lmタイプ 消費電力3.19W、電圧100~242V 調光タイプ(約10~100%) 本体:鋼板(高反射白色粉体塗装)、枠:鋼板(高反射白色粉体塗装) 点灯ユニット(カバー):ポリカーボネート(乳白) 光源寿命40000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra83 □350 パナソニック XLX140RKN LA9同等品</p>		 <p>スクエア光源タイプ、グレアセーブ光源ユニット、4500lmタイプ 消費電力3.19W、電圧100~242V 調光タイプ(約10~100%) 本体:鋼板(高反射白色粉体塗装)、枠:鋼板(高反射白色粉体塗装) 点灯ユニット(カバー):ポリカーボネート(乳白) 光源寿命40000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra83 パナソニック XLX140RKN LA9同等品</p>		 <p>一般タイプ、4000lmタイプ 消費電力2.5W、定格出力型、電圧100~242V 本体:亜鉛鋼板 反射板:鋼板(高反射白色粉体塗装) ライトバー(カバー):ポリカーボネート(乳白) 光源寿命40000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵 W300 リニューアル対応型 パナソニック XLX449VEN LE9同等品</p>		 <p>一般タイプ、10000lmタイプ 消費電力2.5W、定格出力型、電圧200~242V 本体:鋼板(高反射白色粉体塗装) ライトバー(カバー):ポリカーボネート(乳白) 光源寿命40000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵 W300 パナソニック XLX800VENC LE2同等品</p>		 <p>リニューアル専用、一般タイプ、2000lmタイプ 消費電力1.31W、定格出力型、電圧100~242V 本体:亜鉛鋼板 反射板:鋼板(高反射白色粉体塗装) ライトバー(カバー):ポリカーボネート(乳白) 光源寿命40000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵 W190 パナソニック XLX419REN LE9同等品</p>											
H1	LED直付ベースライト	11.6W 1600 lm	H2	LED直付ベースライト	25 W 4000 lm	I2	LED直付ベースライト	13.1W 2000 lm	L	LEDウォールライト 20形	N	LEDシーリングライト	O	LEDキッチンライト	T	蛍光灯→LED照明器具 直管LED40形3800LM系 昼光色+LED用ソケット ※既存の機器に収容							
 <p>一般タイプ、1600lmタイプ 消費電力11.6W、定格出力型、電圧100~242V 本体:鋼板(白色粉体塗装) ライトバー(カバー):ポリカーボネート(乳白) 光源寿命40000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵</p> <p>パナソニック XLX210DENC LE9同等品</p>		 <p>一般タイプ、4000lmタイプ 消費電力2.5W、定格出力型、電圧100~242V 本体:鋼板(白色粉体塗装) ライトバー(カバー):ポリカーボネート(乳白) 光源寿命40000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵</p> <p>パナソニック XLX449DEN LE9同等品</p>		 <p>一般タイプ、2000lmタイプ 消費電力1.31W、定格出力型、電圧100~242V 本体:鋼板(白色粉体塗装) ライトバー(カバー):ポリカーボネート(乳白) 光源寿命40000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵</p> <p>パナソニック XLX419DEN LE9同等品</p>		 <p>LED内蔵、電源ユニット内蔵 防湿型・防雨型 5000K、Ra83、光源寿命40000時間 (光束維持率85%) 器具光束1480lm、消費電力1.9W、 電圧100~242V 本体:ステンレス、カバー:ポリカーボネート(乳白) 天井直付型・壁面型、保護等級:IP23</p> <p>パナソニック NNFW21810CLE9</p>		 <p>電球色(2700K)、高演色Ra90 器具光束2651lm、消費電力3.28W、電圧100V 引掛方式、Uライト方式 カバー:和紙調不織布張り</p> <p>パナソニック LGB57461F同等品</p>		 <p>昼白色(5000K)、Ra83 器具光束980lm、消費電力12W、電圧100V 拡散タイプ、コンセント付 カバー:プラスチック、Uライト方式 プルスイッチ付、両面化粧タイプ</p> <p>パナソニック LGB52097LE1同等品</p>													
b	LEDダウンライト	c	LEDダウンライト	f	LEDポーチライト	J	iDシリーズ直付型40形 反射型	K	LED高演色ミラーライト W620	M	iDシリーズ直付型40形 iスタイル	O	一体型階段灯 スリムタイプ40形										
 <p>LED内蔵&lt;ワゴン&gt;(ひと粒)タイプ、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 5000K、Ra85、広角タイプ 光源光束15度、光源寿命40000時間(光束維持率85%) 器具光束:1010lm、消費電力:7W、電圧:100~242V 反射板(上部):プラスチック(ホワイト) 反射板(下部):鋼板(銀色鏡面仕上) 枠:鋼板(ホワイトつや消し仕上)、埋込穴φ150</p> <p>パナソニック XND1068SNLE9同等品</p>		 <p>LED内蔵&lt;ワゴン&gt;(ひと粒)タイプ、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 5000K、Ra85、広角タイプ 光源光束15度、光源寿命40000時間(光束維持率85%) 器具光束:595lm、消費電力:4.2W、電圧:100~242V 反射板(上部):プラスチック(ホワイト) 反射板(下部):鋼板(銀色鏡面仕上) 枠:鋼板(ホワイトつや消し仕上)、埋込穴φ150</p> <p>パナソニック XND0668SNLE9同等品</p>		 <p>電球色(2700K)、Ra80 器具光束250lm、消費電力4.3W、電圧100V 壁面・天井面専用取付 ツマミ方式、防雨型 (オプション)、カバー:アクリル(乳白)</p> <p>パナソニック LGW85032BU同等品</p>		 <p>一般タイプ、4000lmタイプ 消費電力2.5W、定格出力型、電圧100~242V 本体:鋼板(白色粉体塗装) ライトバー(カバー):ポリカーボネート(乳白) 光源寿命40000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵</p> <p>パナソニック 直付XLX440KENULE9</p>		 <p>標準タイプ、5000K、高演色Ra93、高演色タイプ クラス2 器具光束1350lm、消費電力11.7W、電圧100V カバー:プラスチック(乳白) サイドカバー:プラスチック(ホワイトつや消し) 壁面(横向け)取付専用 幅620・高さ7・出し110</p> <p>パナソニック NNN13510LE1</p>		 <p>一般タイプ、2000lmタイプ 消費電力1.31W、定格出力型、電圧100~242V 本体:鋼板(白色粉体塗装) ライトバー(カバー):ポリカーボネート(乳白) 光源寿命40000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵</p> <p>パナソニック 直付XLX410NENPLE9</p>		 <p>ひとセンサ段調光30分、H32形器具2灯相当 非常時本体組込LED点灯、非常灯評定番号:LAL-E-015 本体:鋼板(白色塗装)、レンズ:ガラス 常用光ユニット(カバー):ポリカーボネート(乳白) 電圧:100~242V対応、蓄電池:ニッケル水素電池 常用光ユニット:光源寿命40000時間(光束維持率85%) 自己点検機能付、リモコン:FSK90910K(別売)</p> <p>パナソニック NNCF41155LE9</p>											
ろ	LED非常灯電源内蔵型	ち	LED避難口誘導灯片面型	と	LED誘導音付点滅型避難口誘導灯片面型	へ	LED避難口誘導灯片面型	ほ	LED避難口誘導灯片面型	り	消防隊出入口灯	S	和風角型ダウンライト 60形										
<p>※リニューアルプレートφ200共 ※点検用リモコンを3台見込む</p>  <p>φ100低天井用(〜3m)、30分間タイプ LED内蔵、非常時・非常灯用LED点灯/常時消灯 非常灯評定番号:LAL-E-004 レンズ:ガラス、カバー:鋼板(クールホワイトつや消し仕上) 電圧:100~242V、蓄電池:ニッケル水素電池 点検スイッチ付、自己点検スイッチ付 充電モジュール付、リモコン:FSK90910K(別売)</p> <p>パナソニック NNF91605C同等品</p>		 <p>LED誘導灯コンパクトスクエア B級・B4形 片面型 壁・天井直付型 壁・天井直付型・吊下型、電池内蔵型 一般型(20分間) ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付 型式認定番号:1AL111-3624</p> <p>パナソニック FA40316CLE1+FK20300同等品</p>		 <p>LED誘導灯コンパクトスクエア B級・B4形 片面型 壁・天井直付型 一般型(20分間) ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付 型式認定番号:1AL221-3553</p> <p>パナソニック FA40347CLE1+FK20000x2同等品</p>		 <p>LED誘導灯コンパクトスクエア C級・C4形 片面型 壁・天井直付型 一般型(20分間) ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付 型式認定番号:1AS111-3618</p> <p>パナソニック FA10312CLE1+FK10300同等品</p>		 <p>LED誘導灯コンパクトスクエア B級・B4形 片面型 壁・天井直付型 一般型(20分間) ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付 型式認定番号:1AL221-3649</p> <p>パナソニック FA40362CLE1+FK20370同等品</p>		 <p>電池内蔵型(ニッケル水素蓄電池) 電源部分種タイプ・非常用LED併用型 光源寿命60000時間 壁直付型 防雨型</p> <p>パナソニック NNF20247Z同等品</p>		 <p>LED内蔵&lt;ワゴン&gt;(ひと粒)タイプ、 電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 3000K、Ra85、拡散タイプ 器具光束:575lm、消費電力:4.2W、 電圧:100~242V 光源寿命:40000時間(光束維持率85%) 反射板(上部):プラスチック(ホワイト) 反射板(下部):アルミダイカスト(ホワイトつや消し仕上) 枠:木製(白木)、埋込穴φ150</p> <p>パナソニック ダウンライトXND0690JLLE9</p>											



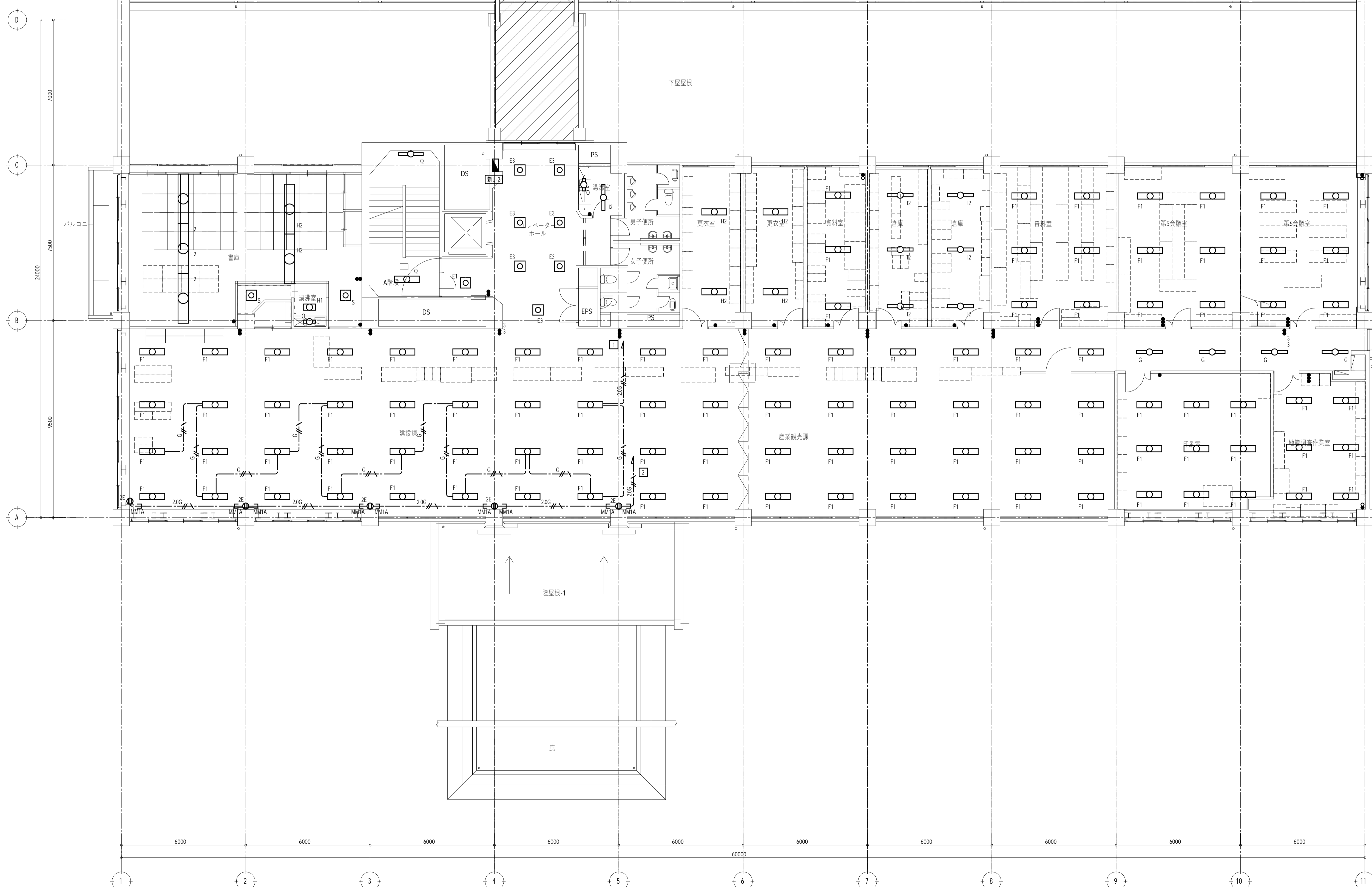
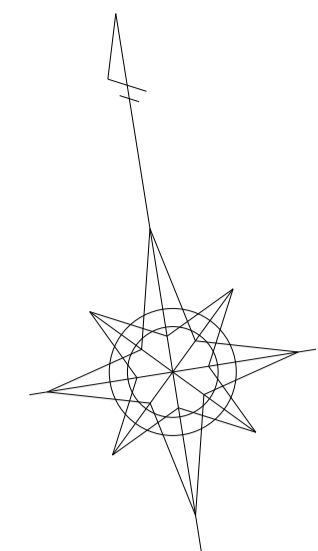
上田市都市建設部建築課

訂正  
1.  
2.  
3.  
4.  
5.  
6.  
7.

設計者  
氏名  
1級建築士登録  
第307544号  
海峯 啓  
設計者  
氏名  
主任  
検査員  
村田 機機  
設計者  
氏名

**ACA株式会社 エーシーエー設計**  
1級建築士事務所登録 (長野) 18第7312号  
管理建築士 1級建築士登録 第208750号 関口 浩男  
〒381-0012 長野市穂原2360番地4 TEL 026(296)8300  
承認  
設計体制及び検査  
設計完了日  
23.07.

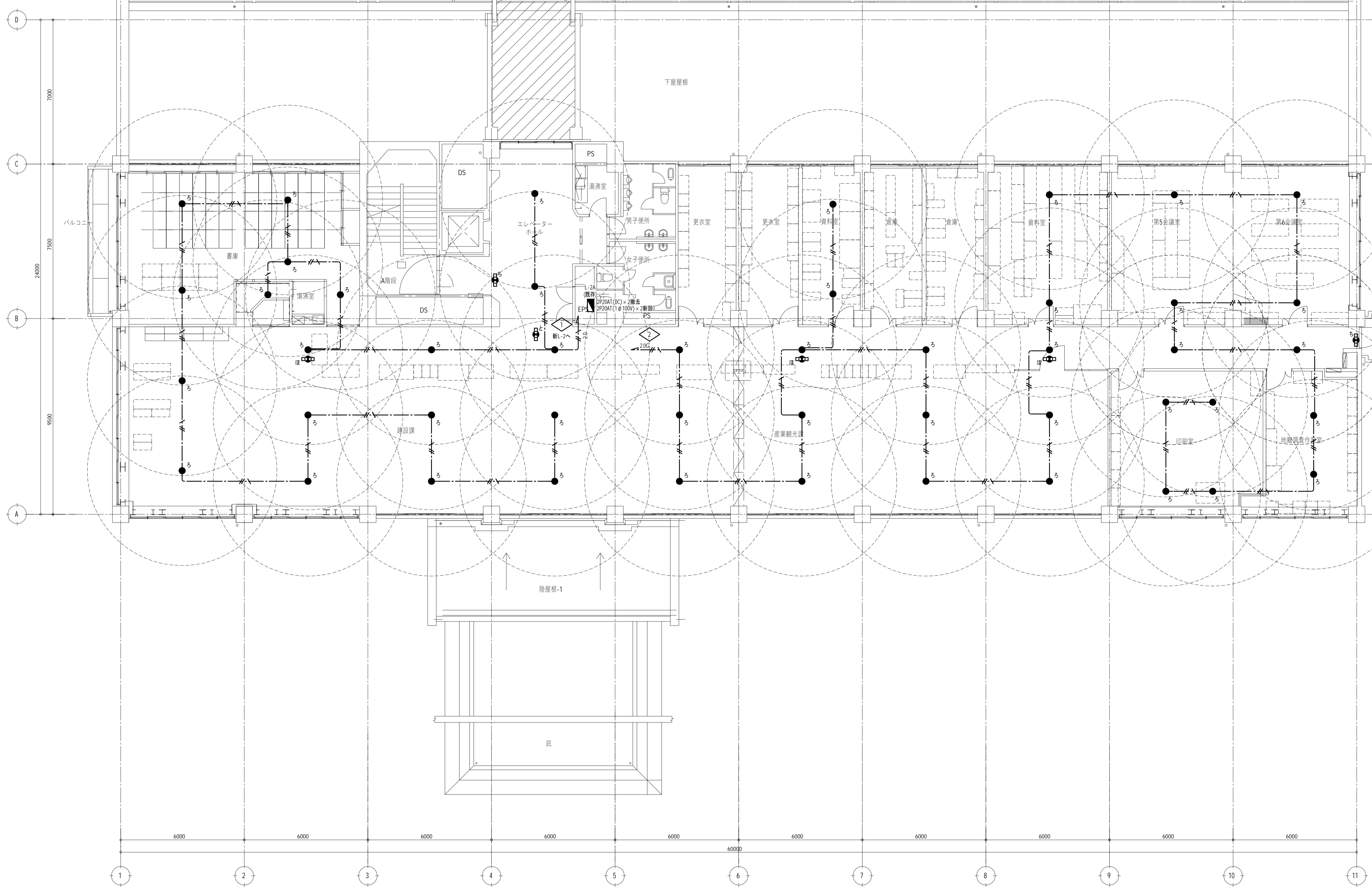
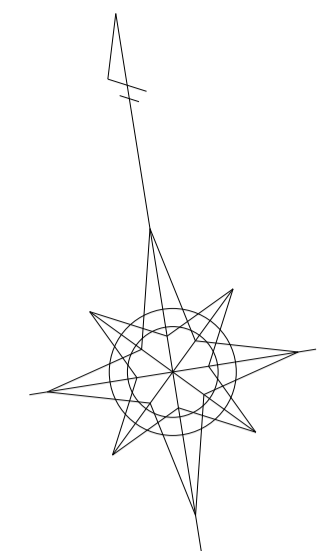
工事名  
丸子地域自治センター改修事業 南棟設備改修 電気設備工事  
図名  
電灯・非常灯・誘導灯設備 2階平面図 (改修前)  
縮尺  
1/100  
1/200  
JOB No.  
23006  
図番  
E- 22



※空調改修による取り外し再取付を見込む。  
 ※天井付自動火災感知器を更新する。  
 光電式<sup>®</sup> 煙感知器2種×3、光電式<sup>®</sup> 煙感知器3種×3、差動式<sup>®</sup> 煙感知器2種×1

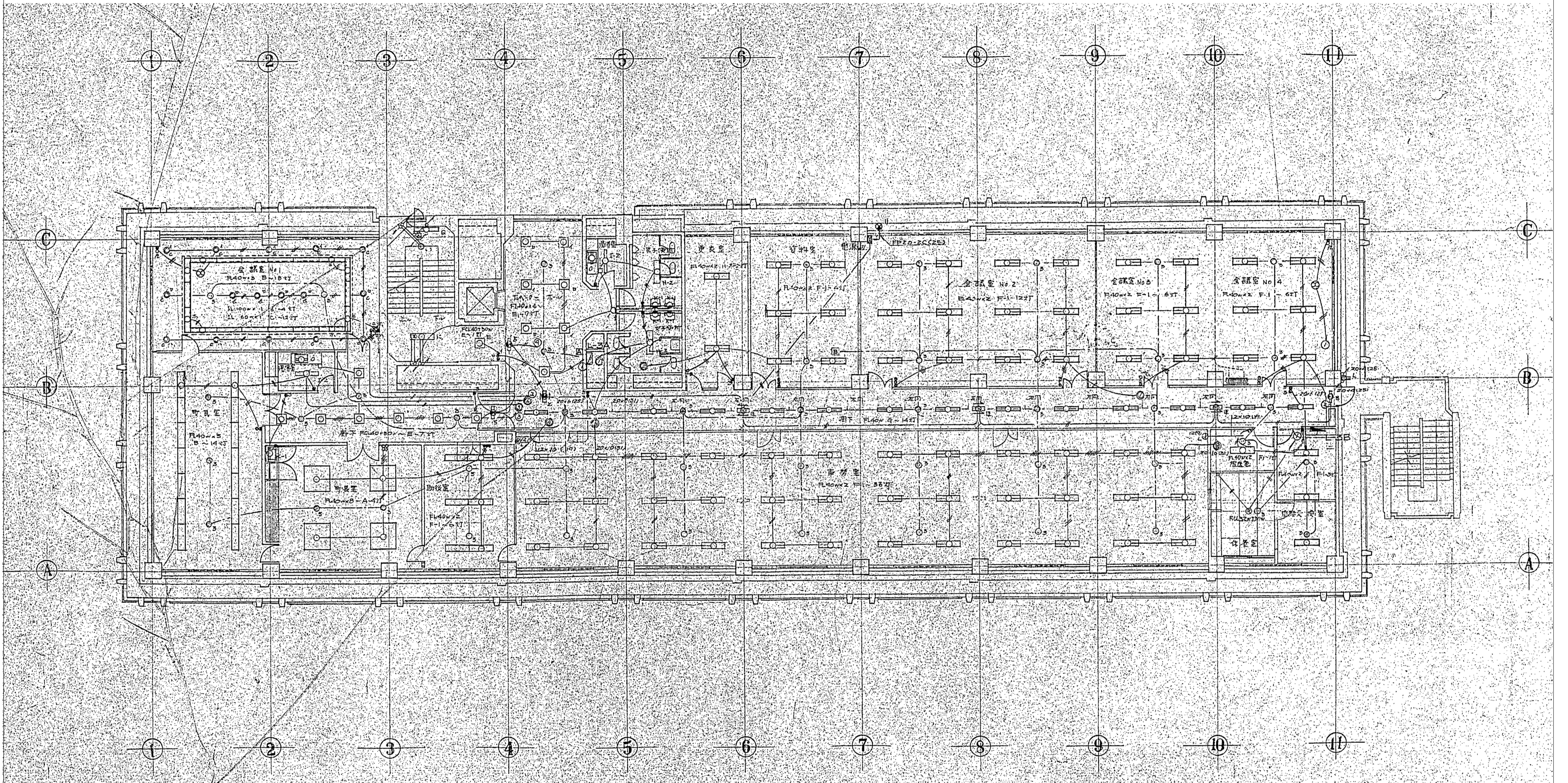
訂正	1.	設計者	1級建築士登録 第307544号 海部 勇	工事名	丸子地域自治センター改修事業 南棟設備改修 電気設備工事		
2.	2.	氏名		設計者	電灯設備 2階平面図 (改修後)		
3.	3.	氏名		承認	検査員	設計者	設計完了日
4.	4.	氏名		検査員	村田	設計者	23.07.
5.	5.	氏名		検査員	横橋	設計者	
6.	6.	氏名		検査員		設計者	
7.	7.	氏名		検査員		設計者	
				縮尺	1/100	JOB No.	23006
					1/200	図番	E- 23





※空調改修による取り外し再取付を見込む。

訂正	1.	設計者	1級建築士登録 第307544号	海部 勇	<b>ACA株式会社 エーシーエー設計</b> 1級建築士事務所登録 (長野) 1第2712号 管理棟築士 1級建築士登録 第208750号 関口 浩男 〒381-0012 長野市穂原2160番地4 TEL 026(296)8300 承認 設計体制及び検査 設計完了日	工事名	丸子地域自治センター改修事業 南棟設備改修 電気設備工事			
2.	設計者	氏名		図名		非常灯・誘導灯設備 2階平面図 (改修後)				
3.	4.	5.	6.	7.		縮尺	1/100 1/200	JOB No.	23006	
		検査員	村田	検査員		横橋	設計完了日	23.07.	図番	E- 24
		検査員		検査員						
		検査員		検査員						
		検査員		検査員						

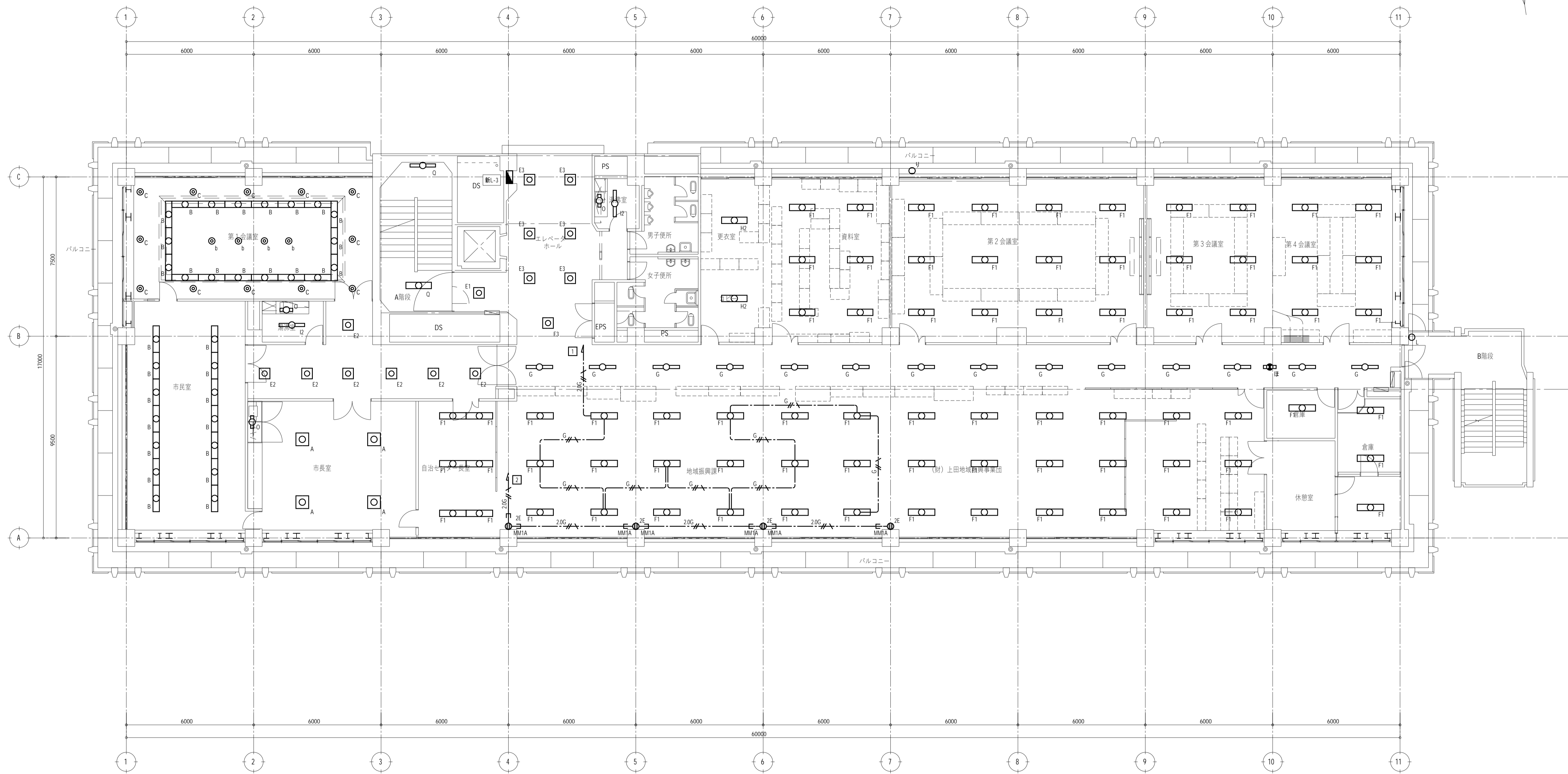
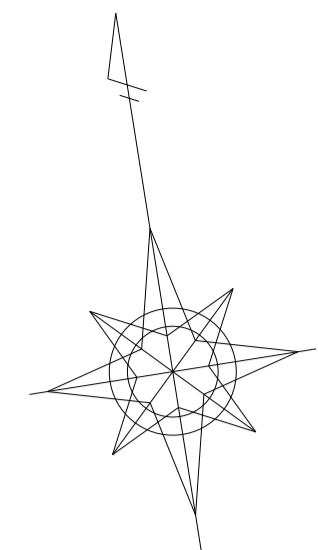


訂正  
1.  
2.  
3.  
4.  
5.  
6.  
7.

設計者 氏名	1級建築士登録 第307544号 海原 啓
設計者 氏名	
設計者 氏名	

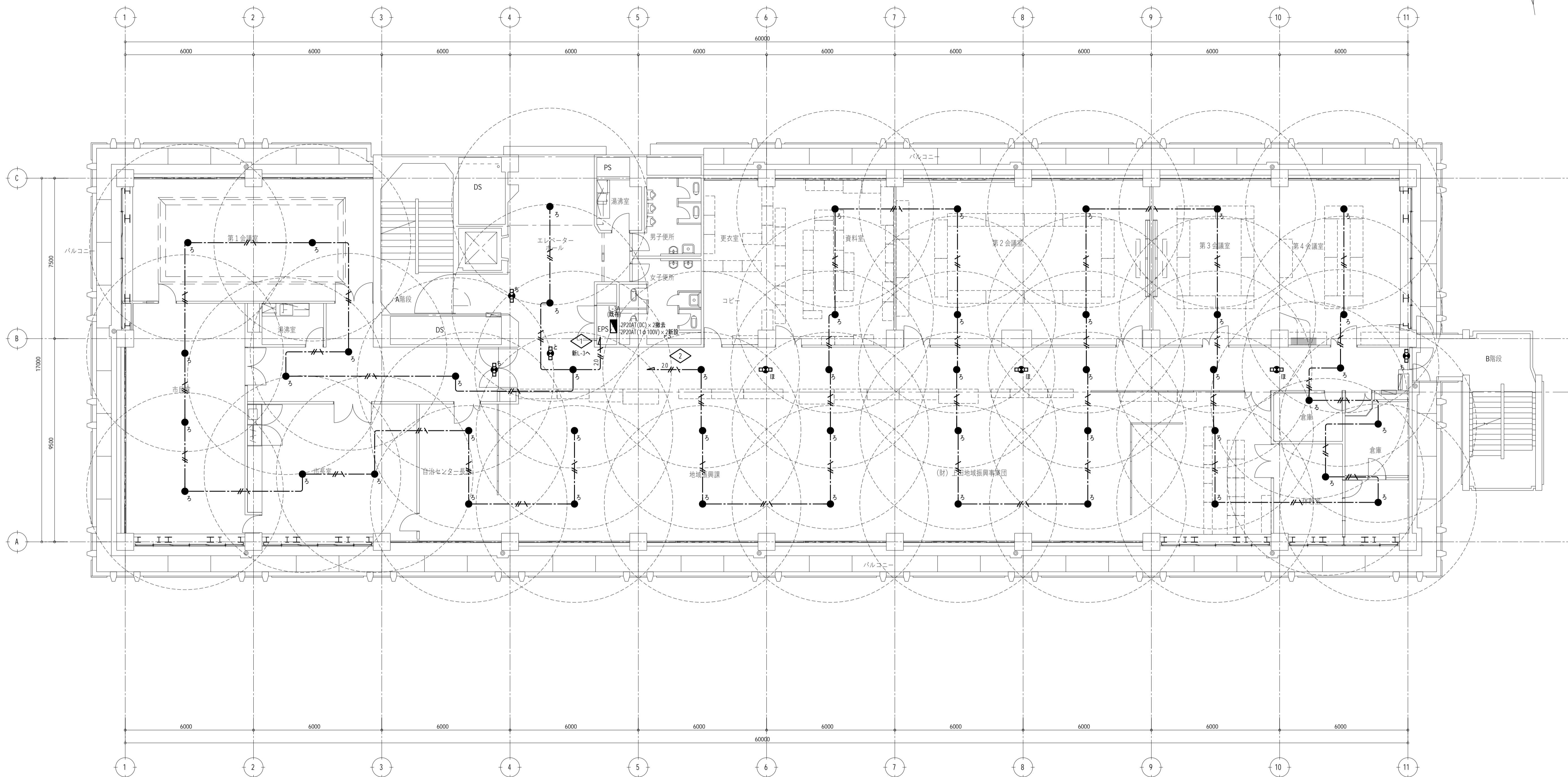
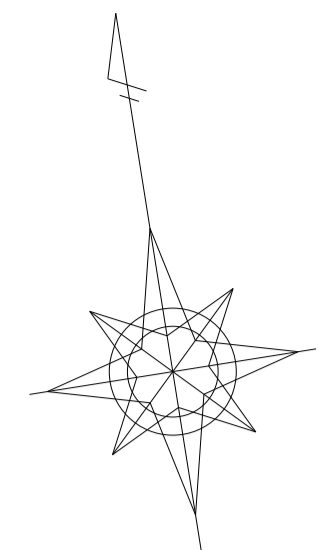
<b>ACA株式会社 エーシーエー設計</b>			
1級建築士事務所登録 (長野) 1887312号			
管理建築士 1級建築士登録 第208750号 関口 浩男			
〒381-0012 長野市穂原2360番地4 TEL 026(296)8300			
承認	設計体制及び検査	設計完了日	
検査員	村田 機械	23.07.	

工事名	丸子地域自治センター改修事業 南棟設備改修 電気設備工事		
図名	電灯・非常灯・誘導灯設備 3階平面図 (改修前)		
縮尺	1/100 1/200	JOB No. 23006	図番 E- 25



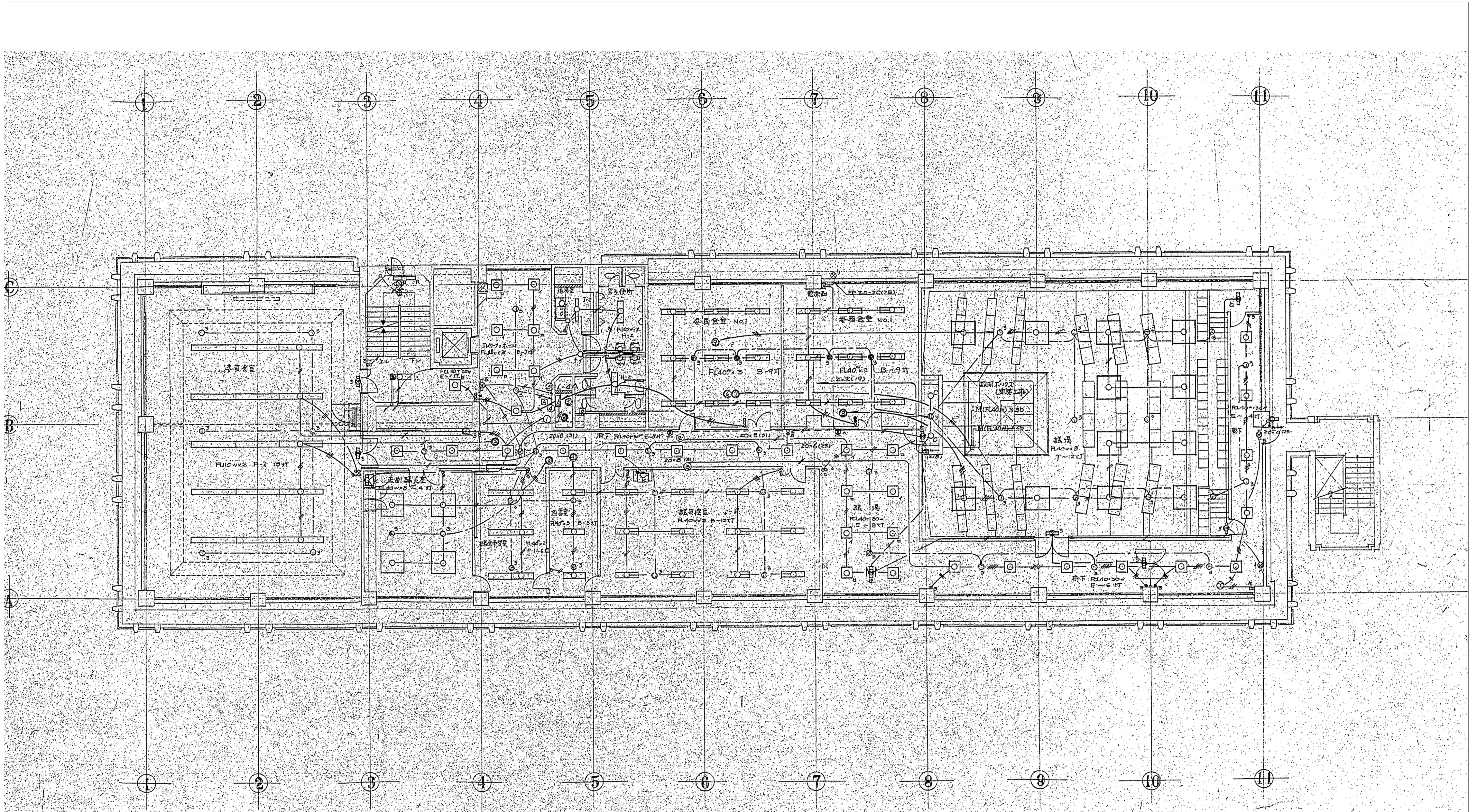
※空調改修による取り外し再取付を見込む。

訂正	1.	設計者 氏名	1級建築士登録 第307544号 海部 勇	<b>ACA株式会社 エーシーエー設計</b> 1級建築士事務所登録 (長野) 1第27312号 管理棟築士 1級建築士登録 第208750号 関口 浩男 〒381-0012 長野市穂原2160番地4 TEL 026(2)9618300 承認 設計体制及び検査 設計完了日	工事名	丸子地域自治センター改修事業 南棟設備改修 電気設備工事		
	2.	設計者 氏名			図面名	電灯設備 3階平面図 (改修後)		
	3.	設計者 氏名			縮尺	1/100	JOB No.	23006
	4.	設計者 氏名			縮尺	1/200	図面番号	E- 26
	5.	設計者 氏名			検査員	村田	担当者	櫻橋
	6.	設計者 氏名			担当者		設計完了日	23.07.
	7.	設計者 氏名						



※空調改修による取り外し再取付を見込む。

訂正	設計者	1級建築士登録 第307544号 海原 啓	ACCA株式会社 エーシーエー設計	工事名	丸子地域自治センター改修事業 南棟設備改修 電気設備工事		
1.	氏名		1級建築士事務所登録 (長野) 18第7312号	図面名	非常灯・誘導灯設備 3階平面図 (改修後)		
2.	設計者		管理棟長士 1級建築士登録 第208750号 関口 浩男	縮尺	1/100	JOB No.	23006
3.	氏名		〒381-0012 長野市穂原2360番地4 TEL 026(296)8300	図面番号	E-	27	
4.	氏名		設計体制及仕様書	設計完了日	23.07.		
5.	氏名		検査員				
6.	氏名		村田 櫻機				
7.	氏名						

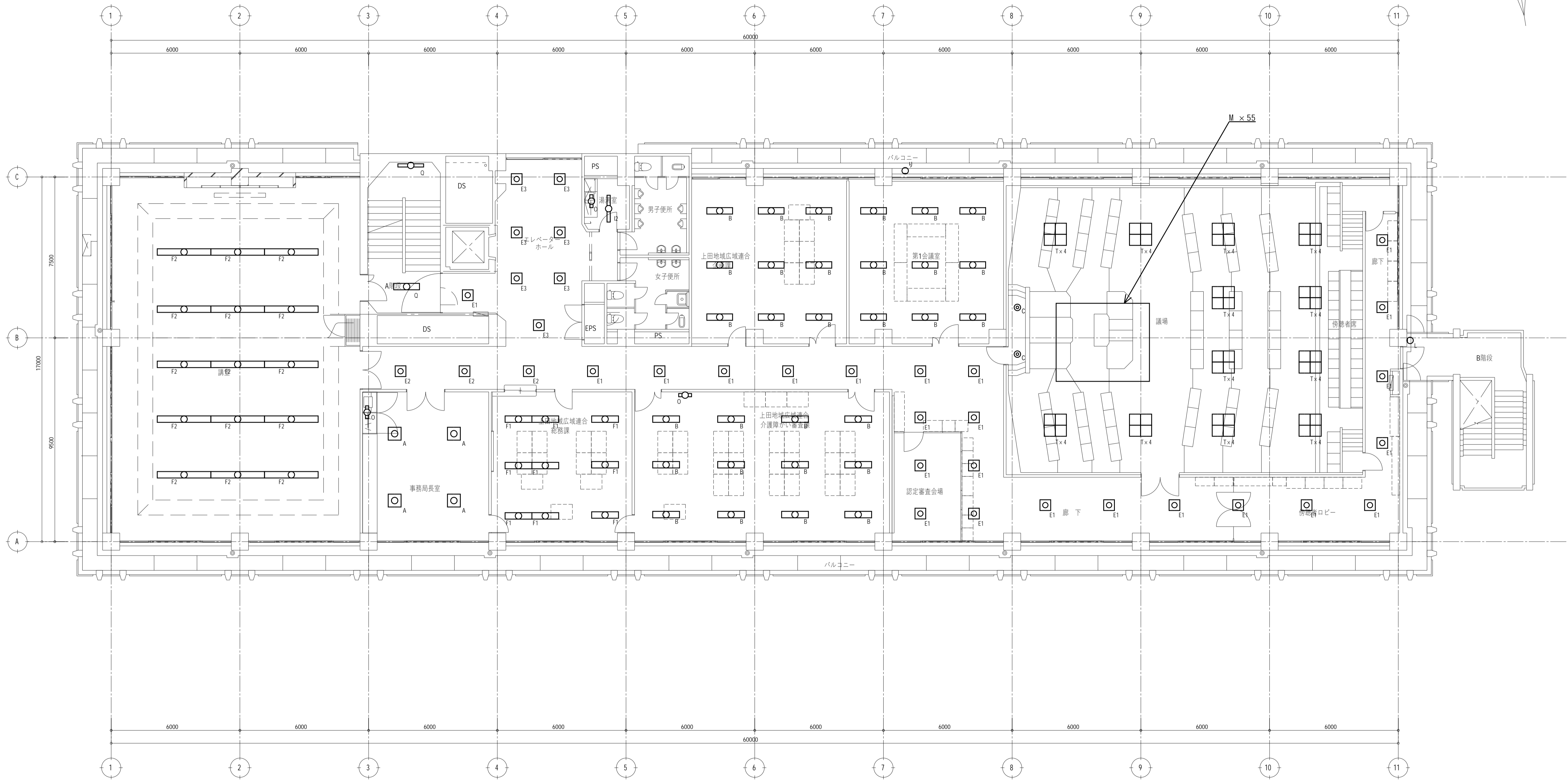
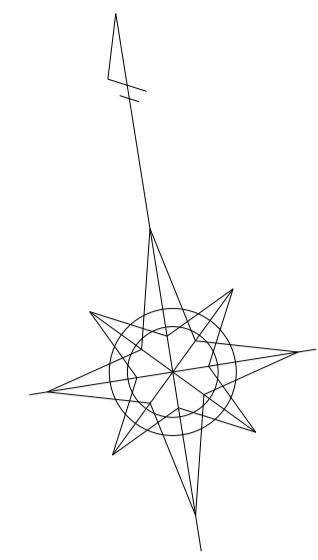


訂正  
1.  
2.  
3.  
4.  
5.  
6.  
7.

設計者 1級建築士登録  
氏名 第307544号 海峯 啓  
 設計者 1級建築士登録 (長野) 1877312号  
氏名 管理建築士 1級建築士登録 第208750号 関口 浩秀  
 〒381-0012 長野市穂原2160番地4 TEL 026(296)8300  
 承認 設計体制及び検査 設計完了日  
 検査員 村田 機構 23.07.

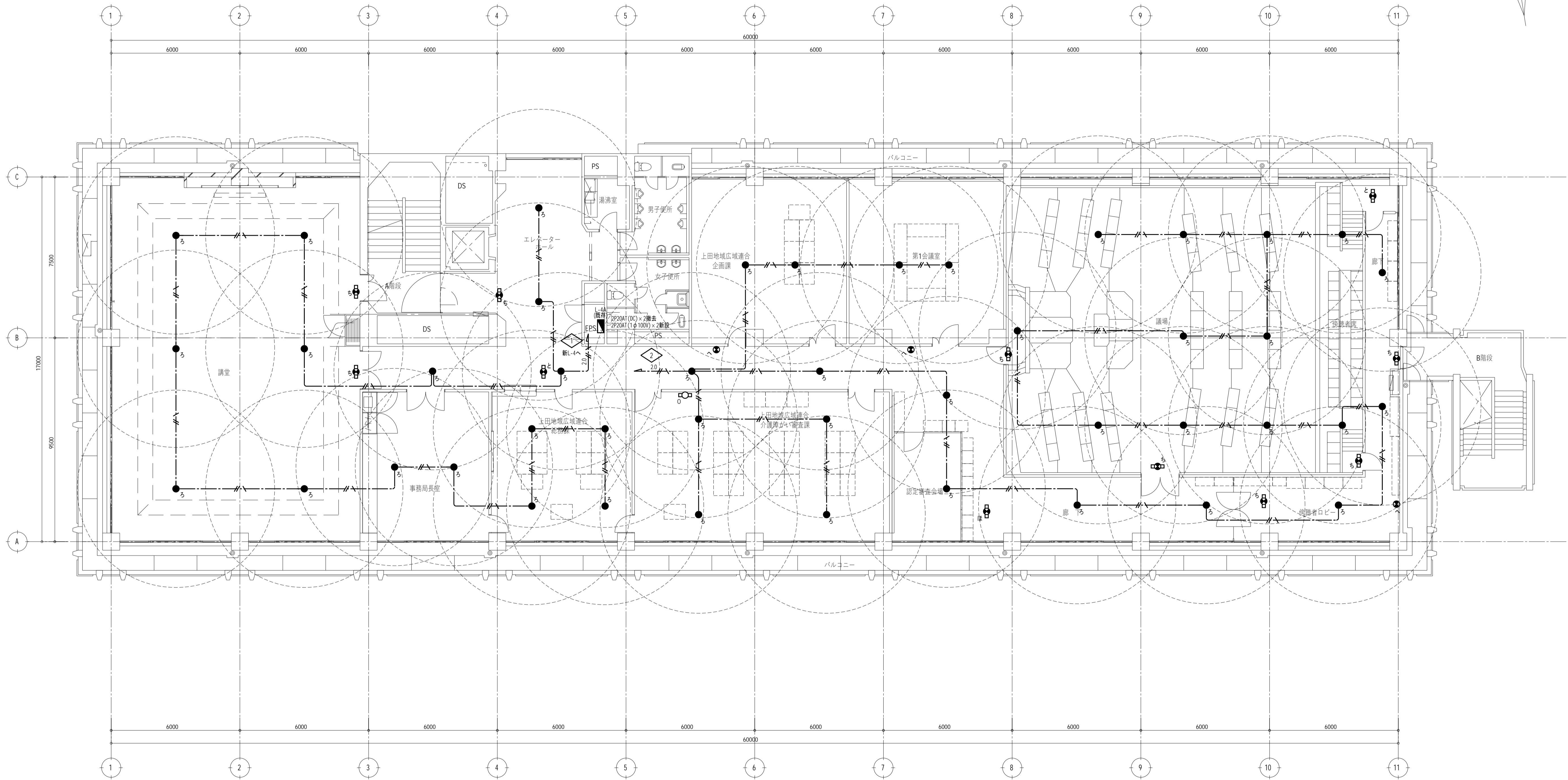
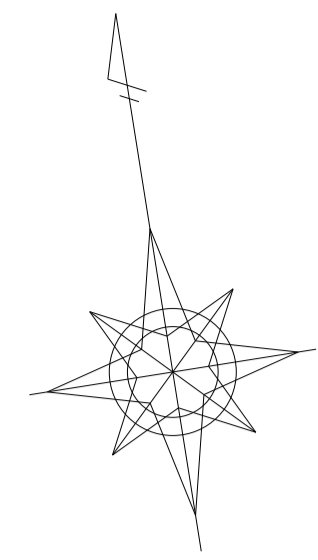
**ACA株式会社 エーシーエー設計**  
 〒381-0012 長野市穂原2160番地4 TEL 026(296)8300  
 検査員 村田 機構 23.07.

工事名 丸子地域自治センター改修事業 南棟設備改修 電気設備工事  
 図面名 電灯・非常灯・誘導灯設備 4階平面図 (改修前)  
 縮尺 1/100  
 1/200  
 JOB No. 23006  
 図面番号 E- 28



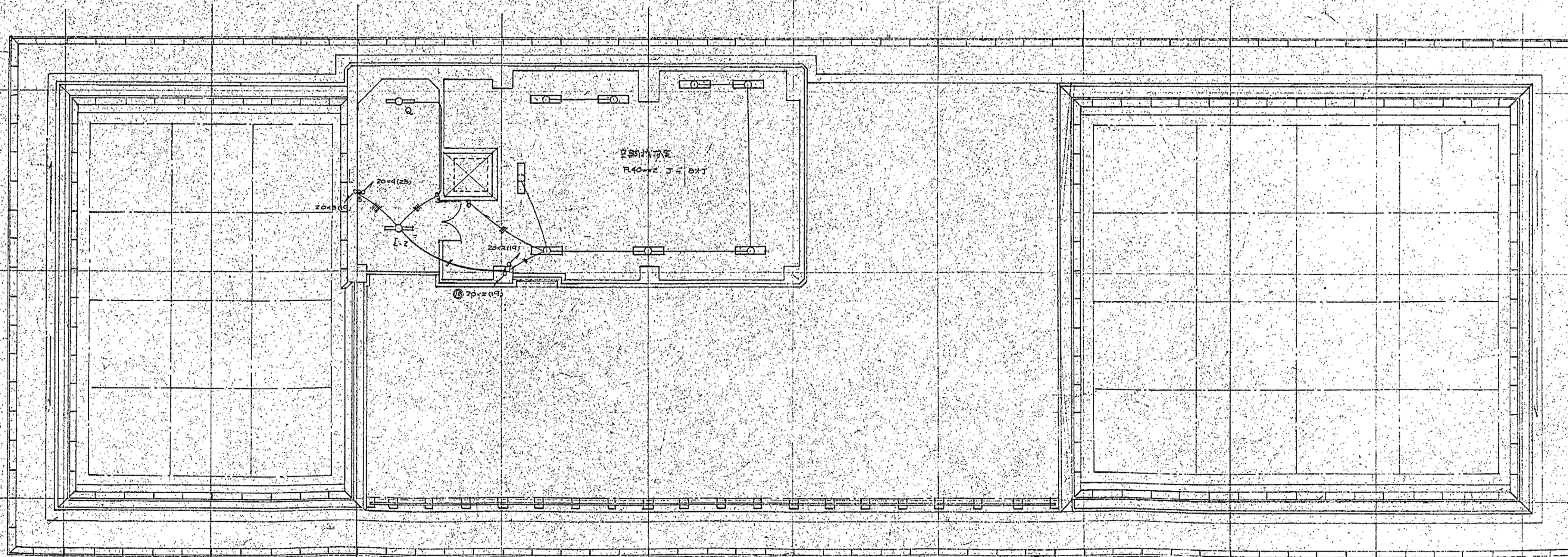
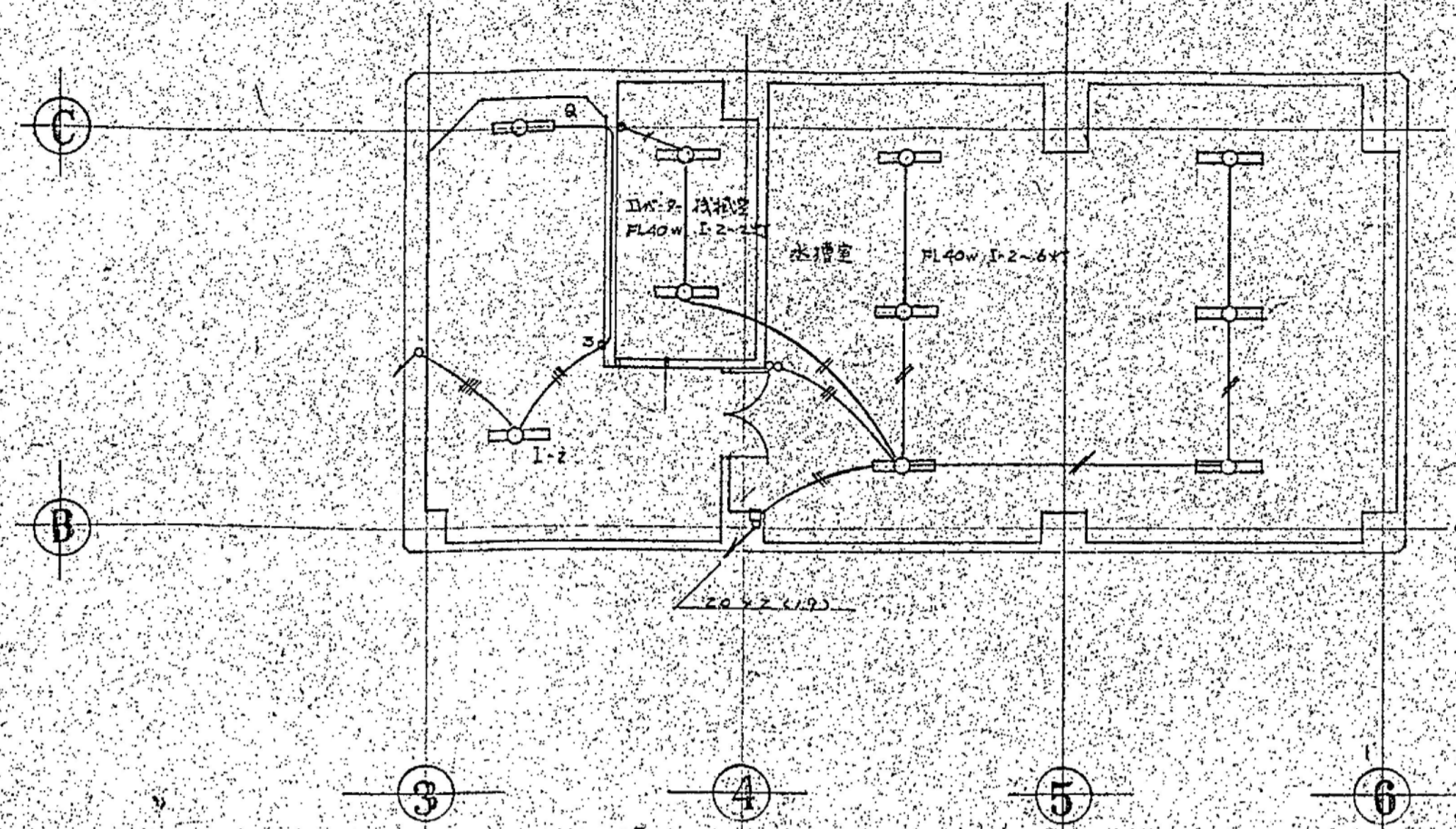
※空調改修による取り外し再取付を見込む。

訂正	1.	設計者	1級建築士登録 第307544号	海原 勇	<b>ACA株式会社 エーシーエー設計</b> 1級建築士事務所登録 (長野) 1第27312号 管理棟 長野市南原2360番地4 TEL 026(296)8300 〒381-0012 設計体制及び検査	工事名	丸子地域自治センター改修事業 南棟設備改修 電気設備工事			
2.	設計者	1級建築士登録 第208750号	関口 浩男	図面名		電灯設備 4階平面図 (改修後)				
3.	設計者	1級建築士登録 第208750号	関口 浩男	縮尺		1/100	JOB No.	23006	図面番号	E- 29
4.	設計者	1級建築士登録 第208750号	関口 浩男	承認						
5.	設計者	1級建築士登録 第208750号	関口 浩男	検査員		村田 櫻機	検査日	23.07.		
6.	設計者	1級建築士登録 第208750号	関口 浩男	検査員		村田 櫻機	検査日	23.07.		
7.	設計者	1級建築士登録 第208750号	関口 浩男	検査員		村田 櫻機	検査日	23.07.		



※空調改修による取り外し再取付を見込む。

訂正	1.	設計者	1級建築士登録 第307544号	海原 勇	<b>ACA株式会社 エーシーエー設計</b> 1級建築士事務所登録(長野) 第27312号 管理棟築士 1級建築士登録 第208750号 関口 浩男 〒381-0012 長野市穂原2360番地4 TEL 026(296)8300 承認 設計体制及び検査 設計完了日	工事名	丸子地域自治センター改修事業 南棟設備改修 電気設備工事		
2.	設計者	氏名		図名		非常灯・誘導灯設備 4階平面図 (改修後)			
3.	4.	5.	6.	7.		縮尺	1/100 1/200	JOB No.	23006
		検査員	村田 櫻機	担当者		23.07.	図番	E-	30
		検査員	村田 櫻機	担当者		23.07.			
		検査員	村田 櫻機	担当者		23.07.			
		検査員	村田 櫻機	担当者		23.07.			



上田市都市建設部建築課

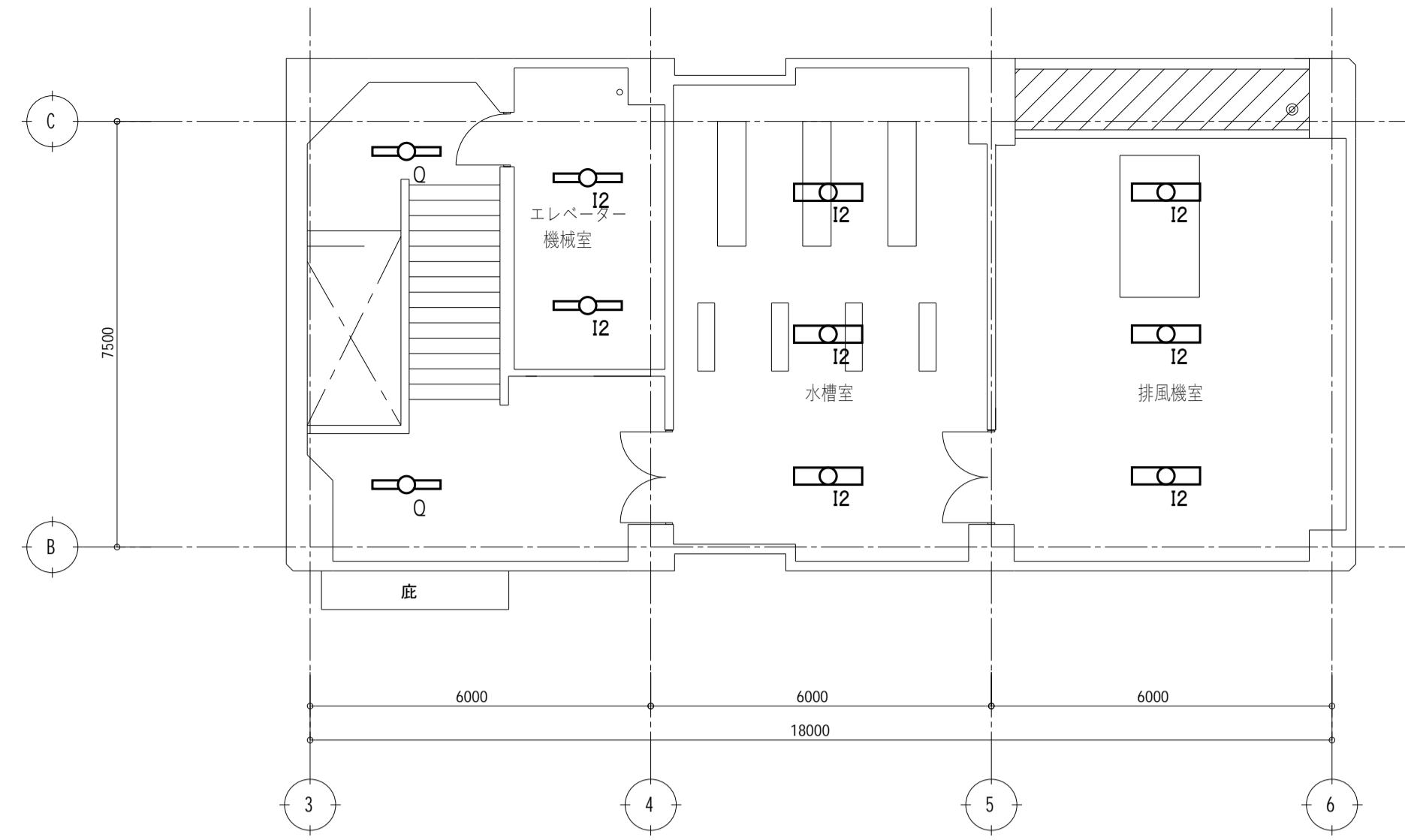
訂正  
1.  
2.  
3.  
4.  
5.  
6.  
7.

設計者 1級建築士登録 海峯 啓  
氏名 第307544号  
設計者 氏名  
設計者 氏名

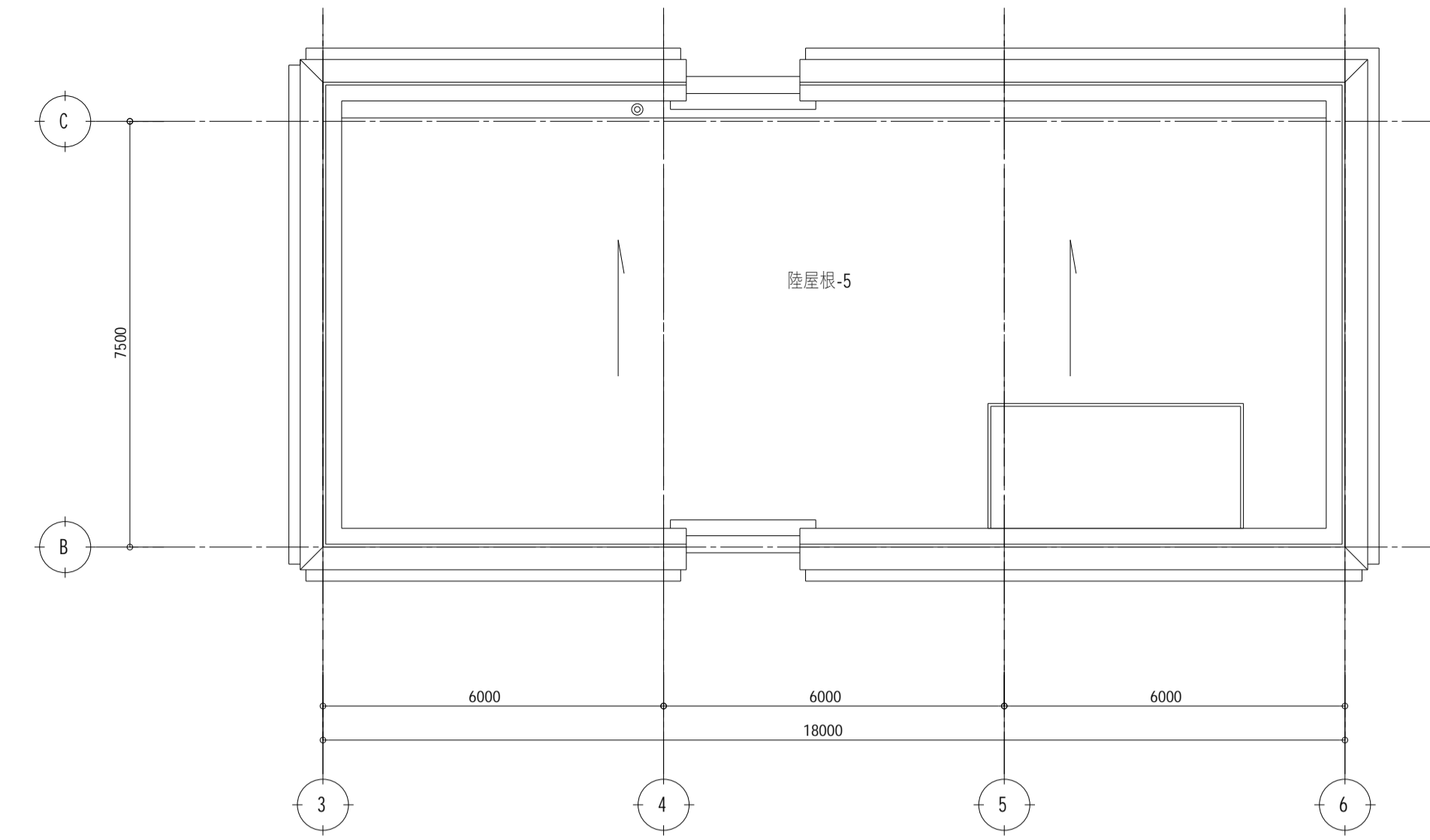
**ACA株式会社 エーシーエー設計**  
1級建築士事務所登録 (長野) 1第27312号  
管理棟 1級建築士登録 第208750号 関口 浩男  
〒381-0012 長野市穂原2360番地4 TEL 026(296)8300  
承認 設計体制及び検査 設計完了日

工事名 丸子地域自治センター改修事業 南棟設備改修 電気設備工事  
図名 電灯設備 PH階平面図 (改修前)  
縮尺 1/100  
200 No. 23006  
図番 E- 31

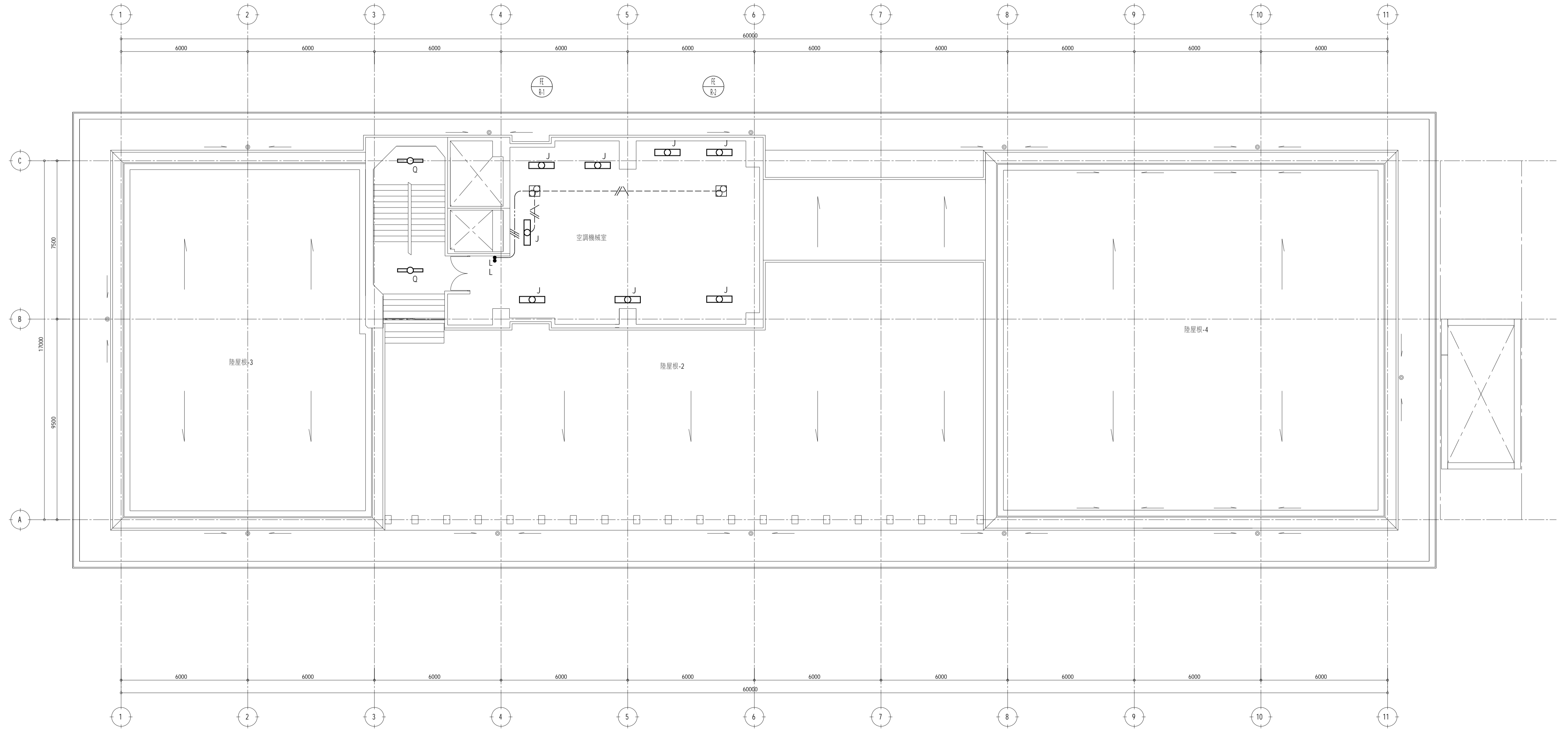
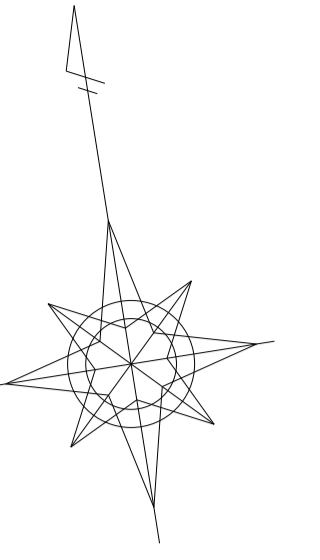




改修後 PH2階平面図 S=1/100



改修後 屋根伏図 S=1/100



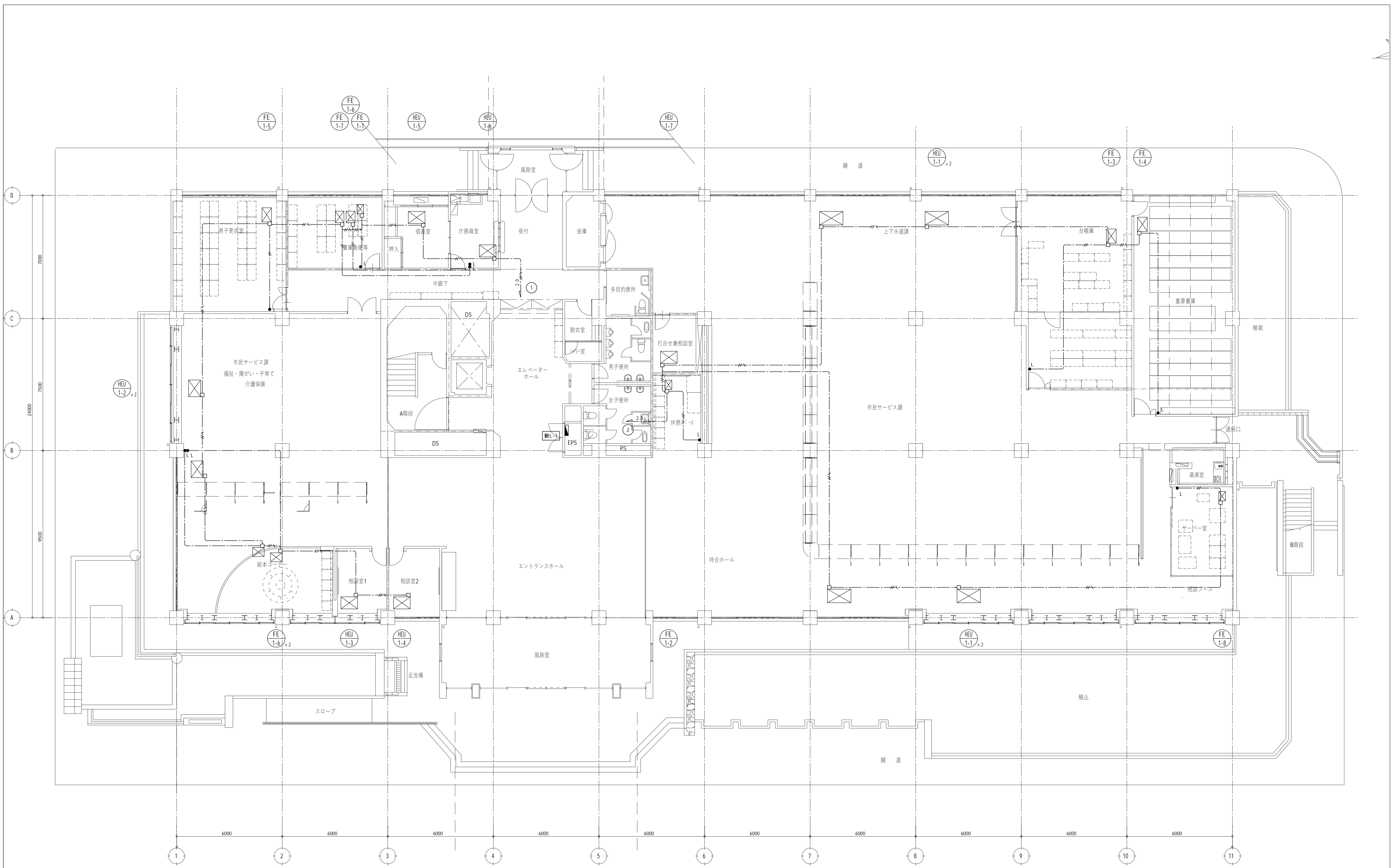
改修後 PH1階平面図・屋根伏図 S=1/100

訂正	1.	
	2.	
	3.	
	4.	
	5.	
	6.	
	7.	

設計者氏名	1級建築士登録 第307544号 海峯 啓
設計者氏名	
設計者氏名	

<b>ACA株式会社 エーシーエー設計</b>			
1級建築士事務所登録 (長野) 1第7112号			
管理建築士 1級建築士登録 第208750号 関口 浩男			
〒381-0012 長野市穂原2160番地4 TEL 026(296)8300			
承認	検査員	設計者	設計完了日
	村田 根機		23.07.

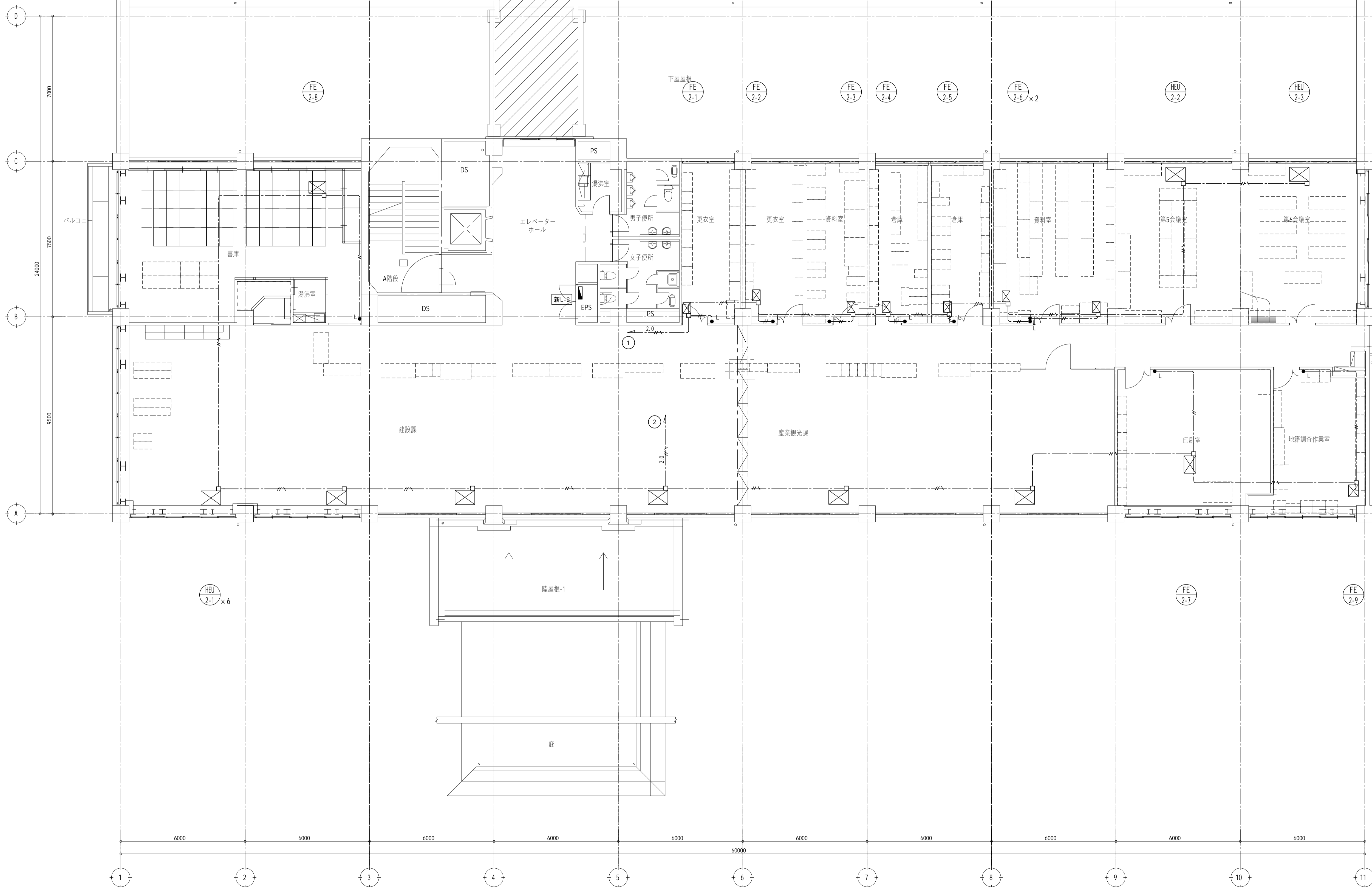
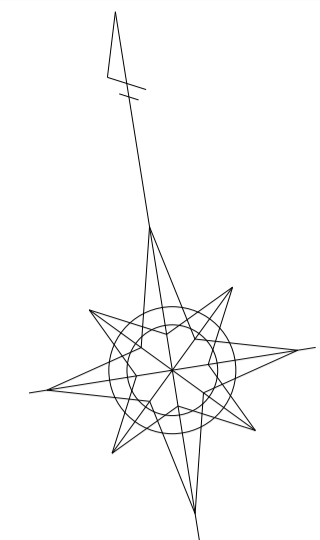
工事名	丸子地域自治センター改修事業 南棟設備改修 電気設備工事		
図案名	電灯設備 PH階平面図 (改修後)		
縮尺	1/100 1/200	JOB No.	23006
図案番号	E-	32	



訂正	1	設計者	1級建築士登録 第307544号 海峯 啓	工事名	丸子地域自治センター改修事業 南棟設備改修 電気設備工事
2	2	氏名		図案名	1階 換気扇設備平面図
3	3	設計者		縮尺	1/100 1/200
4	4	氏名		JOB No.	23006
5	5	承認		設計完了日	23.07.
6	6	設計者	村田 機橋	図番	E- 33
7	7	氏名		図番	



1級建築士事務所登録 (長野) 18第7112号  
1級建築士登録 第208750号 関口 浩男  
管理棟 1級建築士登録 第208750号 関口 浩男  
〒381-0012 長野市権原2160番地4 TEL 026(2)9618300

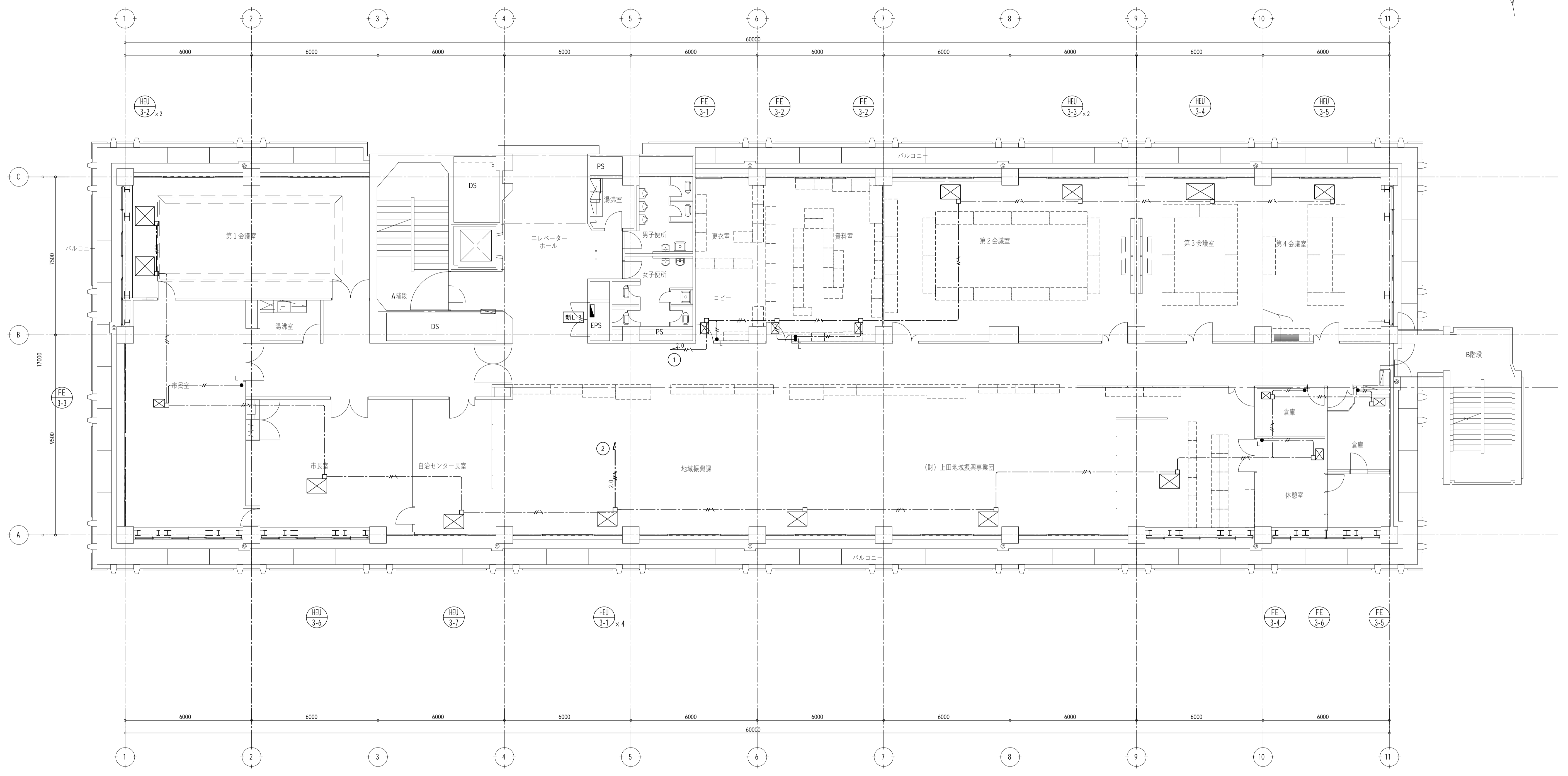
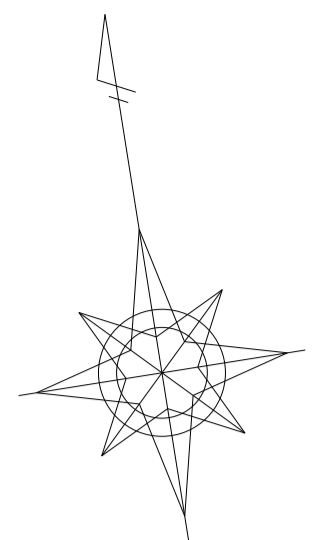


訂正	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.
----	----	----	----	----	----	----	----

設計者 氏名	1級建築士登録 第307544号 海原 勇
設計者 氏名	
設計者 氏名	

<b>ACA株式会社 エーシーエー設計</b> 1級建築士事務所登録 (長野) 18第7112号 管理棟築士 1級建築士登録 第208750号 関口 浩男 〒381-0012 長野市穂原2160番地4 TEL 026(2)9618300			
承認	設計体制及び検査	設計完了日	
検査員	村田 櫻機	23.07.	

工事名	丸子地域自治センター改修事業 南棟設備改修 電気設備工事		
図名	2階 換気扇設備平面図		
縮尺	1/100	JOB No.	23006
	1/200		E- 34



訂正	1.	設計者	1級建築士登録 第307544号	海原 啓	<b>ACA株式会社 エーシーエー設計</b> 1級建築士事務所登録 (長野) 18第27312号 2級建築士事務所登録 (長野) 第208750号 関口 浩男 〒381-0012 長野市穂原2360番地4 TEL 026(2)9618300 承認 設計体制及び検査 設計完了日	工事名	丸子地域自治センター改修事業 南棟設備改修 電気設備工事			
2.	設計者	氏名	村田 櫻機	図面名		3階 換気扇設備平面図				
3.	設計者	氏名	村田 櫻機	縮尺		1/100	JOB No.	23006	図面番号	E- 35
4.	設計者	氏名	村田 櫻機	縮尺		1/200	JOB No.	23006	図面番号	E- 35
5.	設計者	氏名	村田 櫻機	縮尺		1/200	JOB No.	23006	図面番号	E- 35
6.	設計者	氏名	村田 櫻機	縮尺		1/200	JOB No.	23006	図面番号	E- 35
7.	設計者	氏名	村田 櫻機	縮尺		1/200	JOB No.	23006	図面番号	E- 35







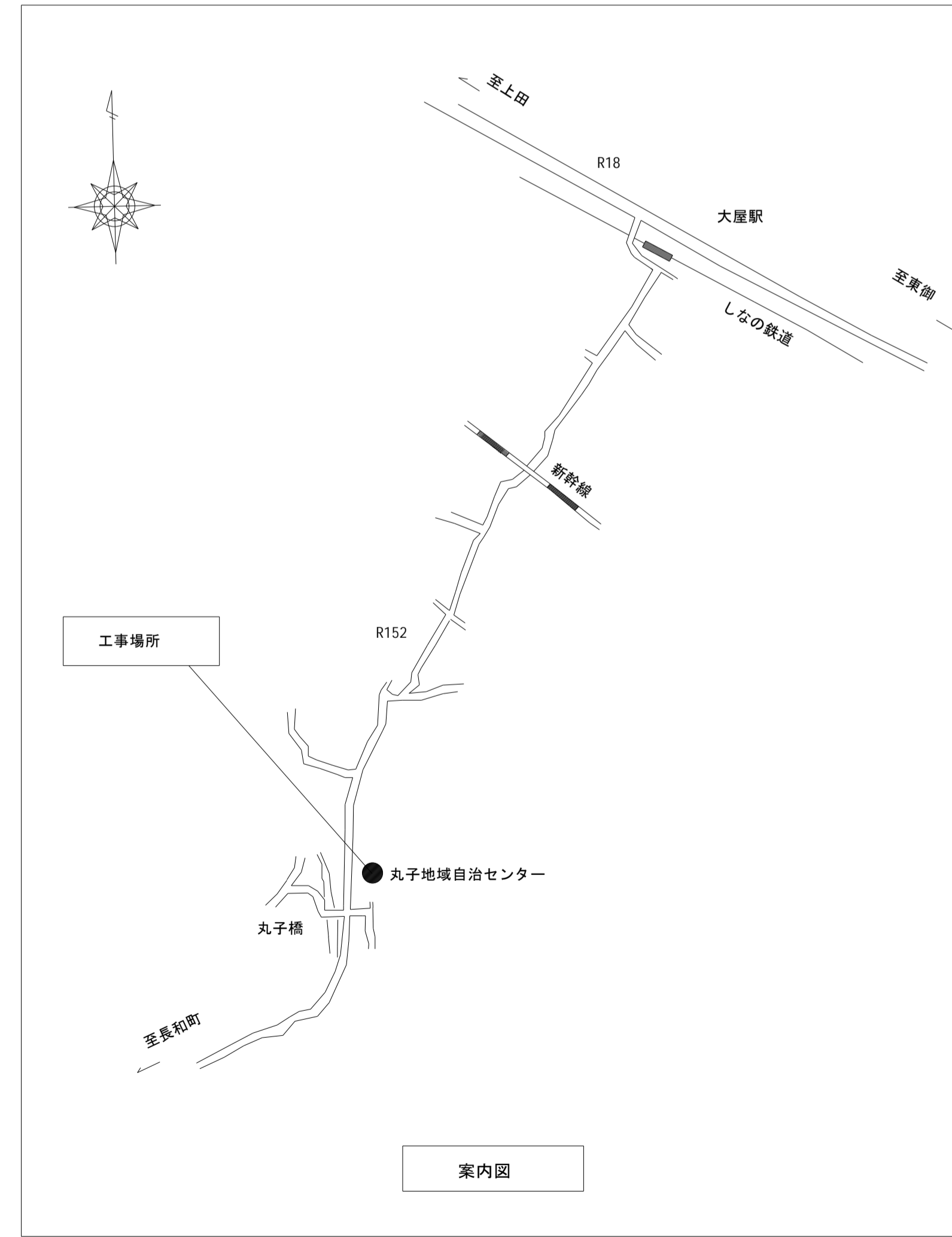
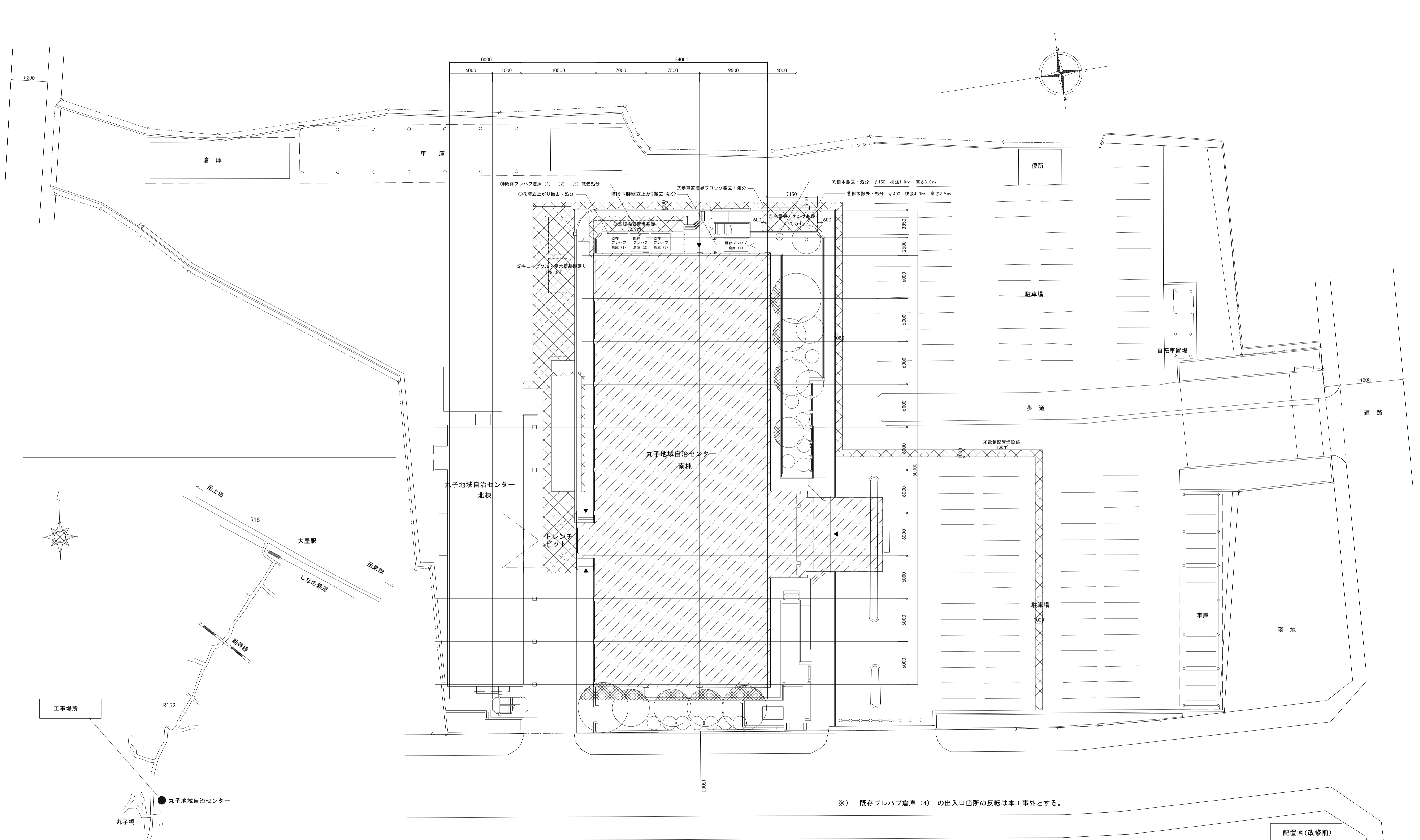
10-5 解体施工
事前措置
杭の解体
樹木等
地下埋設物
埋設配管
屋外設備等
解体後の整地
一般事項
再資源化等
現場利用する再資源化された建設廃棄物
産業廃棄物区域認定制度の活用
最終処分する建設廃棄物
処理に注意を要する建設廃棄物
施工調査

5.4.4 PCB含有シーリング分析調査
5.4.1 特別管理産業廃棄物の処理
5.4.3 PCBを含む機器類
5.4.4 PCB含有シーリング材
7.1.1~7.3.7 特殊な建設副産物の処理及び処分
6.1.2 アスベスト含有分析調査
6.1.3 アスベスト粉じん濃度測定

6.3.2.3 アスベスト含有吹付け材の除去
6.4.3 アスベスト含有保温材等の除去
6.5.3 アスベスト含有成形板の除去
1. 工事現場の環境改善について
2. 不具合の確認
3. 産業廃棄物等の取扱い
4. 環境対策関係
5. 過積載の禁止
6. 安全対策関係
7. 工事実績情報の登録について
8. 工事検査
9. 被害届等
10. その他



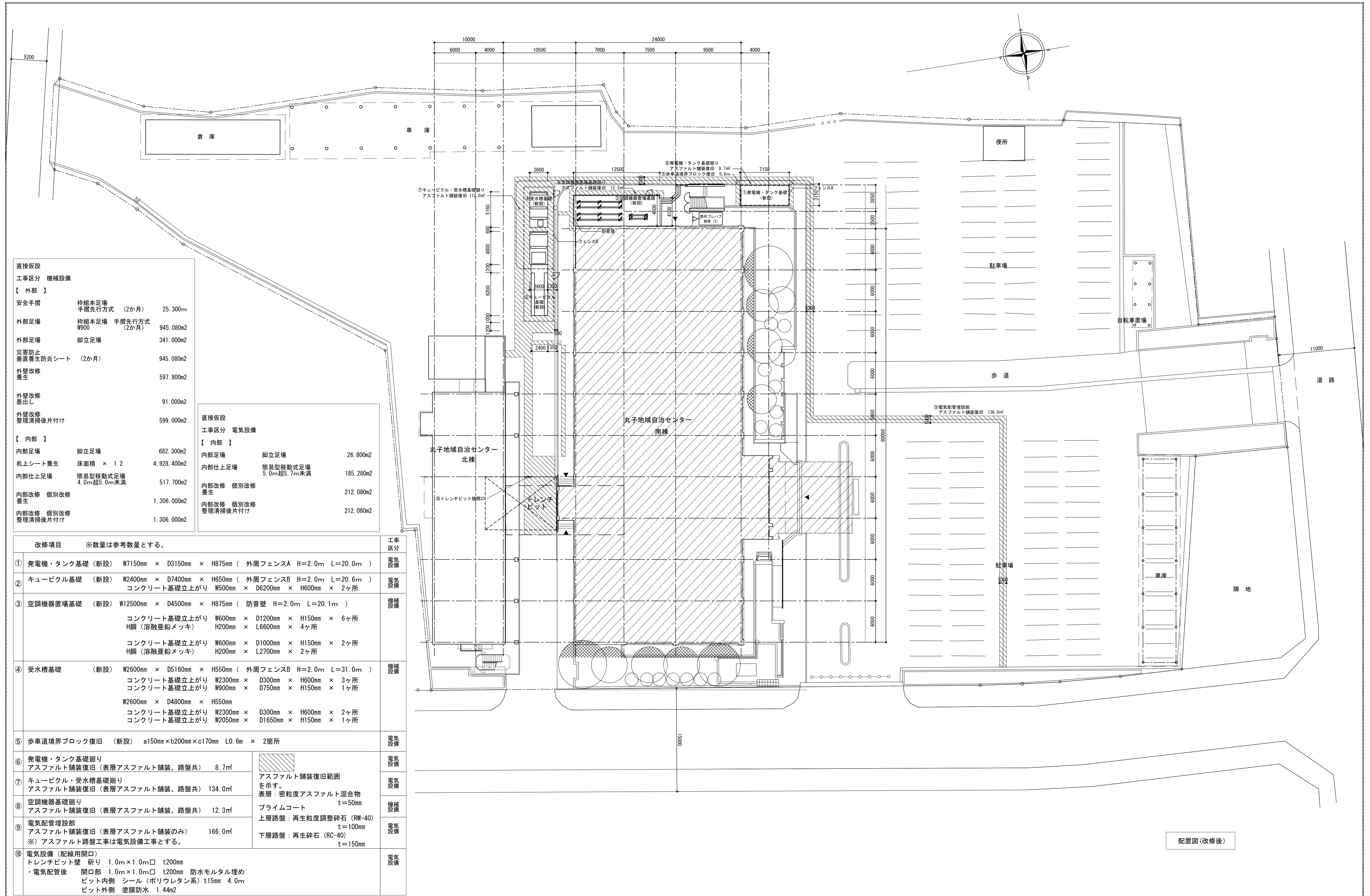
鉄筋工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉄筋の種類           <table border="1"> <tr><td colspan="3">鉄筋の種類 (5.2.1)(表5.2.1)</td></tr> <tr><td>種類の記号</td><td>呼び名(mm)</td><td>備考</td></tr> <tr><td>○ SD295A</td><td>D10~D16</td><td></td></tr> <tr><td>○ SD345</td><td>D19~D25</td><td></td></tr> <tr><td>・</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・</td><td></td><td></td></tr> </table> </li> <li>溶接金網           <table border="1"> <tr><td colspan="4">形状等 (5.2.2)</td></tr> <tr><td>種類</td><td>種類の記号</td><td>網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)</td><td>使用部位</td></tr> <tr><td>○ 溶接金網</td><td></td><td>50×50×6φ</td><td>押えコンクリート</td></tr> <tr><td>・ 鉄筋格子</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> </li> <li>鉄筋の継手           <table border="1"> <tr><td colspan="3">継手方法等 (5.3.4)(5.5.2)</td></tr> <tr><td>部位</td><td>継手方法</td><td>呼び名(mm)</td></tr> <tr><td>柱、梁の主筋</td><td>※ ガス圧接 ・ 機械式継手</td><td>D19~D25</td></tr> <tr><td>耐力壁の鉄筋</td><td>・ 重ね継手</td><td>D10~D16</td></tr> <tr><td>その他の鉄筋(スラブ)</td><td>○ 重ね継手</td><td>D10~D16</td></tr> </table> <p>鉄筋の継手の重ね長さ (5.3.4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図示( )による</li> <li>○ 構造関係共通事項 7.3.1(a)による</li> </ul> <p>継手位置図</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図示( )による</li> <li>○ 構造関係共通図(配筋標準図)5.1.6、6.1.7、7.1.7、7.3.8.1による</li> </ul> </li> <li>鉄筋の定着の方法及び位置及び長さ           <table border="1"> <tr><td colspan="2">鉄筋の定着方法 (5.3.4)</td></tr> <tr><td>○ 構造関係共通図(配筋標準図)3.1(b)による</td><td></td></tr> <tr><td>・ 図示( )による</td><td></td></tr> </table> <p>鉄筋の定着の長さ (5.3.4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 構造関係共通図(配筋標準図)3.1(b)による</li> <li>・ 図示( )による</li> </ul> </li> <li>鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網含む)           <table border="1"> <tr><td colspan="2">最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う) (5.3.5)</td></tr> <tr><td>○ 構造関係共通図(配筋標準図)表4.11による</td><td></td></tr> <tr><td>・ 図示( )による</td><td></td></tr> </table> <p>柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 無し</li> <li>・ 有り 適用箇所( )</li> </ul> <p>最小かぶり厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鉄筋径の1.5倍以上</li> </ul> <p>軽量コンクリートで土に接する部分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>無し</li> <li>・ 有り 適用箇所( )</li> <li>・ 構造関係共通図(配筋標準図)表4.11に加える厚さ( )mm</li> </ul> <p>耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>無し</li> <li>・ 有り 適用箇所( )</li> <li>・ 構造関係共通図(配筋標準図)表4.11に加える厚さ( )mm</li> </ul> <p>鉄筋相互のあき(特殊な鉄筋を除く)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図示( )による</li> </ul> </li> <li>特殊な鉄筋継手           <table border="1"> <tr><td colspan="2">使用箇所 (5.3.5)(5.5.2)</td></tr> <tr><td>・ 図示( )による</td><td></td></tr> </table> <p>性能(H12建告第1463号に適合するもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A級</li> </ul> <p>機械式継手の種類( )</p> <p>鉄筋相互のあき ・ 図示( )による ・ 標準仕様書5.3.5(d)による</p> <p>品質の確認方法 ・ 図示( )による</p> <p>不良となった継手の修正方法等 ・ 図示( )による</p> </li> <li>各部配筋           <table border="1"> <tr><td colspan="2">各部配筋 (5.3.7)</td></tr> <tr><td>・ 構造関係共通事項(配筋標準図)による</td><td></td></tr> <tr><td>・</td><td></td></tr> <tr><td>・</td><td></td></tr> </table> </li> <li>圧接完了後の試験           <table border="1"> <tr><td colspan="2">外観試験 (5.4.9)</td></tr> <tr><td>※ 行う(全数)</td><td></td></tr> <tr><td colspan="2">採取試験</td></tr> <tr><td colspan="2">※ 超音波探傷試験</td></tr> <tr><td colspan="2">試験の箇所数等</td></tr> <tr><td>・ 標準仕様書5.4.9、5.4.10による</td><td></td></tr> <tr><td>・ 引張試験</td><td></td></tr> <tr><td colspan="2">試験ロット: 1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えるときは200箇所ごととする。</td></tr> <tr><td colspan="2">試験片を採取した箇所の処置: ガス圧接</td></tr> </table> </li> </ul>	鉄筋の種類 (5.2.1)(表5.2.1)			種類の記号	呼び名(mm)	備考	○ SD295A	D10~D16		○ SD345	D19~D25		・			・			形状等 (5.2.2)				種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)	使用部位	○ 溶接金網		50×50×6φ	押えコンクリート	・ 鉄筋格子				継手方法等 (5.3.4)(5.5.2)			部位	継手方法	呼び名(mm)	柱、梁の主筋	※ ガス圧接 ・ 機械式継手	D19~D25	耐力壁の鉄筋	・ 重ね継手	D10~D16	その他の鉄筋(スラブ)	○ 重ね継手	D10~D16	鉄筋の定着方法 (5.3.4)		○ 構造関係共通図(配筋標準図)3.1(b)による		・ 図示( )による		最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う) (5.3.5)		○ 構造関係共通図(配筋標準図)表4.11による		・ 図示( )による		使用箇所 (5.3.5)(5.5.2)		・ 図示( )による		各部配筋 (5.3.7)		・ 構造関係共通事項(配筋標準図)による		・		・		外観試験 (5.4.9)		※ 行う(全数)		採取試験		※ 超音波探傷試験		試験の箇所数等		・ 標準仕様書5.4.9、5.4.10による		・ 引張試験		試験ロット: 1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えるときは200箇所ごととする。		試験片を採取した箇所の処置: ガス圧接		<ul style="list-style-type: none"> <li>コンクリートの使用骨材による種類及び強度           <table border="1"> <tr><td colspan="3">普通コンクリートの設計基準強度 (6.1.3)(6.1.4)(6.2.3)</td></tr> <tr><td>設計基準強度(N/mm<sup>2</sup>)</td><td>スラブ</td><td>適用箇所</td></tr> <tr><td>○ 24</td><td>○ 15</td><td>基礎、基礎梁</td></tr> <tr><td>○ 24</td><td>○ 18</td><td>床、壁</td></tr> <tr><td>○ 21</td><td>○ 18</td><td>土間コンクリート</td></tr> <tr><td colspan="3">軽量コンクリートの設計基準強度 (6.1.3)(6.1.4)(6.2.3)</td></tr> <tr><td>設計基準強度(N/mm<sup>2</sup>)</td><td>スラブ</td><td>適用箇所</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr> </table> </li> <li>レディーミクストコンクリートの種類           <table border="1"> <tr><td colspan="2">類別 (6.1.5)(6.4.1~2)(表6.1.1)</td></tr> <tr><td>※ I類 (JIS A 5308 「レディーミクストコンクリート」に適合)</td><td>・ II類</td></tr> </table> </li> <li>セメント           <table border="1"> <tr><td colspan="2">種類 (6.3.2)(6.13.2)(表6.3.1)</td></tr> <tr><td>○ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 使用部位( )</td><td></td></tr> <tr><td colspan="2">普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352 J/g 以下、かつ28日目で402 J/g 以下のものとする。</td></tr> <tr><td>・ 高炉セメントB種</td><td>G 使用部位( )</td></tr> <tr><td>・ フライアッシュセメントB種</td><td>G 使用部位( )</td></tr> </table> </li> <li>骨材           <table border="1"> <tr><td colspan="2">アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.3)</td></tr> <tr><td>○ A</td><td>・ B</td></tr> </table> </li> <li>ひび割れ誘発目地           <table border="1"> <tr><td colspan="2">・ 図示による ○位置(腰壁) 、形状、寸法(W15×D15φ=1800) (6.9.2)</td></tr> </table> </li> <li>混和材料           <table border="1"> <tr><td colspan="2">○ 混和剤 (6.15.3)(6.3.5)(6.4.8)</td></tr> <tr><td colspan="2">混和剤の種類</td></tr> <tr><td colspan="2">○ 標仕6.3.5(1)による</td></tr> <tr><td colspan="2">・ 混和材</td></tr> <tr><td colspan="2">混和剤の種類</td></tr> <tr><td colspan="2">・ 標仕6.3.5(2)による</td></tr> </table> </li> <li>気乾単位容積質量           <table border="1"> <tr><td colspan="2">普通コンクリート</td></tr> <tr><td>○ 2.3t/m<sup>3</sup>程度</td><td></td></tr> <tr><td colspan="2">軽量コンクリート</td></tr> <tr><td>・</td><td></td></tr> </table> </li> <li>軽量コンクリート           <table border="1"> <tr><td colspan="2">種別 (6.11.1)(表6.11.1)</td></tr> <tr><td>・ 1種 使用部位( )</td><td>・ 2種 使用部位( )</td></tr> <tr><td colspan="2">適用箇所</td></tr> <tr><td colspan="2">・ 図示( )による</td></tr> </table> </li> <li>寒中コンクリート           <table border="1"> <tr><td colspan="2">適用期間</td></tr> <tr><td colspan="2">・ ( ) ・ 監督職員指示 (6.12.1)</td></tr> </table> </li> <li>暑中コンクリート           <table border="1"> <tr><td colspan="2">構造体強度補正値</td></tr> <tr><td colspan="2">※6N/mm<sup>2</sup> ・ ( ) (6.8.2)</td></tr> </table> </li> <li>マスコンクリート           <table border="1"> <tr><td colspan="2">セメントの種類</td></tr> <tr><td colspan="2">・ 高炉セメントB種</td></tr> <tr><td colspan="2">・ 普通ポルトランドセメントにJISA6206に適合する</td></tr> <tr><td colspan="2">・ コンクリート用高炉スラグ微粉末の4000を混合したもの</td></tr> <tr><td colspan="2">・ 中熱ポルトランドセメント</td></tr> <tr><td colspan="2">・ 低熱ポルトランドセメント</td></tr> <tr><td colspan="2">・ フライアッシュセメントB種</td></tr> <tr><td colspan="2">適用箇所 図示( )による</td></tr> <tr><td colspan="2">・ 混和剤 (6.13.2)</td></tr> <tr><td colspan="2">混和材の種類</td></tr> <tr><td colspan="2">・ JISA6206に適合するコンクリート用高炉スラグ微粉末の4000</td></tr> <tr><td colspan="2">・</td></tr> <tr><td colspan="2">・ 混和剤 (6.13.2)</td></tr> <tr><td colspan="2">混和剤の種類</td></tr> <tr><td colspan="2">・ JISA6204に適合するA E減水剤又は高性能A E減水剤</td></tr> <tr><td colspan="2">・</td></tr> </table> </li> <li>無筋コンクリート           <table border="1"> <tr><td colspan="2">適用箇所 (6.14.1)</td></tr> <tr><td colspan="2">・ 標仕6.14.1(d)による箇所</td></tr> <tr><td colspan="2">・ 標仕6.14.1(d)以外の箇所</td></tr> <tr><td colspan="2">・ 図示( )による ○ 屋根押えコンクリート</td></tr> <tr><td colspan="2">設計基準強度</td></tr> <tr><td colspan="2">○ 18 (N/mm<sup>2</sup>)</td></tr> <tr><td colspan="2">スラブ</td></tr> <tr><td colspan="2">・ 15cm ○ 18cm</td></tr> </table> </li> <li>高い強度のコンクリート           <table border="1"> <tr><td colspan="2">混和材料 (6.15.3)</td></tr> <tr><td colspan="2">・ 標仕6.15.3(b)(1)による</td></tr> <tr><td colspan="2">・ 標仕6.15.3(b)(1)以外の混和材の使用</td></tr> <tr><td colspan="2">種類( )</td></tr> <tr><td colspan="2">適用箇所( )</td></tr> <tr><td colspan="2">混養生期間 (6.15.7)</td></tr> <tr><td colspan="2">・ 標仕 表6.15.1による</td></tr> <tr><td colspan="2">型枠の存置期間 (6.15.8)</td></tr> <tr><td colspan="2">・ 標仕6.9.5による</td></tr> </table> </li> <li>流動化コンクリート           <table border="1"> <tr><td colspan="2">適用箇所</td></tr> <tr><td colspan="2">・ 図示( )による</td></tr> </table> </li> <li>ひび割れ誘発目地打継目地           <table border="1"> <tr><td colspan="2">目地寸法 ・ 標仕9.6.31による (6.9.2)(6.6.3)(9.6.3)</td></tr> <tr><td colspan="2">間隔・位置・形状 ・ 図示(A-17,23)による</td></tr> </table> </li> <li>コンクリートの仕上り           <table border="1"> <tr><td colspan="2">部材の位置及び断面寸法の許容差の標準値 (6.2.5)(表6.2.2)</td></tr> <tr><td colspan="2">○ 標仕 表6.2.2による</td></tr> <tr><td colspan="2">合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5)(6.6.6)(6.9.3)(表6.2.3)</td></tr> <tr><td>種別</td><td>適用箇所</td></tr> <tr><td>○ A種</td><td>基礎立上り</td></tr> <tr><td>○ B種</td><td>ピット内、腰壁、軒先</td></tr> <tr><td>・ C種</td><td></td></tr> </table> </li> </ul>	普通コンクリートの設計基準強度 (6.1.3)(6.1.4)(6.2.3)			設計基準強度(N/mm <sup>2</sup> )	スラブ	適用箇所	○ 24	○ 15	基礎、基礎梁	○ 24	○ 18	床、壁	○ 21	○ 18	土間コンクリート	軽量コンクリートの設計基準強度 (6.1.3)(6.1.4)(6.2.3)			設計基準強度(N/mm <sup>2</sup> )	スラブ	適用箇所	・	・	・	・	・	・	類別 (6.1.5)(6.4.1~2)(表6.1.1)		※ I類 (JIS A 5308 「レディーミクストコンクリート」に適合)	・ II類	種類 (6.3.2)(6.13.2)(表6.3.1)		○ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 使用部位( )		普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352 J/g 以下、かつ28日目で402 J/g 以下のものとする。		・ 高炉セメントB種	G 使用部位( )	・ フライアッシュセメントB種	G 使用部位( )	アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.3)		○ A	・ B	・ 図示による ○位置(腰壁) 、形状、寸法(W15×D15φ=1800) (6.9.2)		○ 混和剤 (6.15.3)(6.3.5)(6.4.8)		混和剤の種類		○ 標仕6.3.5(1)による		・ 混和材		混和剤の種類		・ 標仕6.3.5(2)による		普通コンクリート		○ 2.3t/m <sup>3</sup> 程度		軽量コンクリート		・		種別 (6.11.1)(表6.11.1)		・ 1種 使用部位( )	・ 2種 使用部位( )	適用箇所		・ 図示( )による		適用期間		・ ( ) ・ 監督職員指示 (6.12.1)		構造体強度補正値		※6N/mm <sup>2</sup> ・ ( ) (6.8.2)		セメントの種類		・ 高炉セメントB種		・ 普通ポルトランドセメントにJISA6206に適合する		・ コンクリート用高炉スラグ微粉末の4000を混合したもの		・ 中熱ポルトランドセメント		・ 低熱ポルトランドセメント		・ フライアッシュセメントB種		適用箇所 図示( )による		・ 混和剤 (6.13.2)		混和材の種類		・ JISA6206に適合するコンクリート用高炉スラグ微粉末の4000		・		・ 混和剤 (6.13.2)		混和剤の種類		・ JISA6204に適合するA E減水剤又は高性能A E減水剤		・		適用箇所 (6.14.1)		・ 標仕6.14.1(d)による箇所		・ 標仕6.14.1(d)以外の箇所		・ 図示( )による ○ 屋根押えコンクリート		設計基準強度		○ 18 (N/mm <sup>2</sup> )		スラブ		・ 15cm ○ 18cm		混和材料 (6.15.3)		・ 標仕6.15.3(b)(1)による		・ 標仕6.15.3(b)(1)以外の混和材の使用		種類( )		適用箇所( )		混養生期間 (6.15.7)		・ 標仕 表6.15.1による		型枠の存置期間 (6.15.8)		・ 標仕6.9.5による		適用箇所		・ 図示( )による		目地寸法 ・ 標仕9.6.31による (6.9.2)(6.6.3)(9.6.3)		間隔・位置・形状 ・ 図示(A-17,23)による		部材の位置及び断面寸法の許容差の標準値 (6.2.5)(表6.2.2)		○ 標仕 表6.2.2による		合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5)(6.6.6)(6.9.3)(表6.2.3)		種別	適用箇所	○ A種	基礎立上り	○ B種	ピット内、腰壁、軒先	・ C種		<ul style="list-style-type: none"> <li>打増し厚さ(打放し仕上げ部) (6.9.2)           <table border="1"> <tr><td colspan="2">打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る)</td></tr> <tr><td colspan="2">○ 20mm</td></tr> <tr><td colspan="2">打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)</td></tr> <tr><td colspan="2">・ 10mm</td></tr> </table> </li> <li>型枠 (6.9.3)           <table border="1"> <tr><td colspan="2">せき板の材料及び厚さ (6.9.3)</td></tr> <tr><td colspan="2">○ 合板(○12mm )</td></tr> <tr><td colspan="2">・</td></tr> <tr><td colspan="2">断熱材の兼用</td></tr> <tr><td colspan="2">・ 行わない</td></tr> <tr><td colspan="2">○ 行う 1Fスラブ下</td></tr> <tr><td colspan="2">MCR工法用シート</td></tr> <tr><td colspan="2">・ 用いる</td></tr> <tr><td colspan="2">打増し厚さ</td></tr> <tr><td colspan="2">・ 20mm</td></tr> <tr><td colspan="2">打増し範囲</td></tr> <tr><td colspan="2">・ 図示( )による</td></tr> <tr><td colspan="2">・ 用いない</td></tr> <tr><td colspan="2">スリーブの材質</td></tr> <tr><td colspan="2">・ 標仕6.9.3(i)(2)及び表6.9.11による</td></tr> </table> </li> <li>コンクリートの単位水量測定 (6.10.4)           <table border="1"> <tr><td colspan="2">実施要領 (6.10.4)</td></tr> <tr><td colspan="2">○ 構造関係共通図(構造関係共通事項)</td></tr> <tr><td colspan="2">構-4 施工方法等計画書関連等 コンクリートの単位水量測定による</td></tr> <tr><td colspan="2">・</td></tr> </table> </li> </ul>	打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る)		○ 20mm		打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)		・ 10mm		せき板の材料及び厚さ (6.9.3)		○ 合板(○12mm )		・		断熱材の兼用		・ 行わない		○ 行う 1Fスラブ下		MCR工法用シート		・ 用いる		打増し厚さ		・ 20mm		打増し範囲		・ 図示( )による		・ 用いない		スリーブの材質		・ 標仕6.9.3(i)(2)及び表6.9.11による		実施要領 (6.10.4)		○ 構造関係共通図(構造関係共通事項)		構-4 施工方法等計画書関連等 コンクリートの単位水量測定による		・	
	鉄筋の種類 (5.2.1)(表5.2.1)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	種類の記号	呼び名(mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	○ SD295A	D10~D16																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	○ SD345	D19~D25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	形状等 (5.2.2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)	使用部位																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	○ 溶接金網		50×50×6φ	押えコンクリート																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 鉄筋格子																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
継手方法等 (5.3.4)(5.5.2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
部位	継手方法	呼び名(mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
柱、梁の主筋	※ ガス圧接 ・ 機械式継手	D19~D25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
耐力壁の鉄筋	・ 重ね継手	D10~D16																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
その他の鉄筋(スラブ)	○ 重ね継手	D10~D16																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
鉄筋の定着方法 (5.3.4)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 構造関係共通図(配筋標準図)3.1(b)による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ 図示( )による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う) (5.3.5)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 構造関係共通図(配筋標準図)表4.11による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ 図示( )による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
使用箇所 (5.3.5)(5.5.2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ 図示( )による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
各部配筋 (5.3.7)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ 構造関係共通事項(配筋標準図)による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
外観試験 (5.4.9)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
※ 行う(全数)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
採取試験																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
※ 超音波探傷試験																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
試験の箇所数等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ 標準仕様書5.4.9、5.4.10による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ 引張試験																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
試験ロット: 1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えるときは200箇所ごととする。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
試験片を採取した箇所の処置: ガス圧接																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
普通コンクリートの設計基準強度 (6.1.3)(6.1.4)(6.2.3)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
設計基準強度(N/mm <sup>2</sup> )	スラブ	適用箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
○ 24	○ 15	基礎、基礎梁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
○ 24	○ 18	床、壁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
○ 21	○ 18	土間コンクリート																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
軽量コンクリートの設計基準強度 (6.1.3)(6.1.4)(6.2.3)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
設計基準強度(N/mm <sup>2</sup> )	スラブ	適用箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
類別 (6.1.5)(6.4.1~2)(表6.1.1)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
※ I類 (JIS A 5308 「レディーミクストコンクリート」に適合)	・ II類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
種類 (6.3.2)(6.13.2)(表6.3.1)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 使用部位( )																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352 J/g 以下、かつ28日目で402 J/g 以下のものとする。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ 高炉セメントB種	G 使用部位( )																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・ フライアッシュセメントB種	G 使用部位( )																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.3)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ A	・ B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・ 図示による ○位置(腰壁) 、形状、寸法(W15×D15φ=1800) (6.9.2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 混和剤 (6.15.3)(6.3.5)(6.4.8)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
混和剤の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 標仕6.3.5(1)による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ 混和材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
混和剤の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ 標仕6.3.5(2)による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
普通コンクリート																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 2.3t/m <sup>3</sup> 程度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
軽量コンクリート																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
種別 (6.11.1)(表6.11.1)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ 1種 使用部位( )	・ 2種 使用部位( )																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
適用箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ 図示( )による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
適用期間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ ( ) ・ 監督職員指示 (6.12.1)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
構造体強度補正値																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
※6N/mm <sup>2</sup> ・ ( ) (6.8.2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
セメントの種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ 高炉セメントB種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ 普通ポルトランドセメントにJISA6206に適合する																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ コンクリート用高炉スラグ微粉末の4000を混合したもの																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ 中熱ポルトランドセメント																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ 低熱ポルトランドセメント																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ フライアッシュセメントB種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
適用箇所 図示( )による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ 混和剤 (6.13.2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
混和材の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ JISA6206に適合するコンクリート用高炉スラグ微粉末の4000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ 混和剤 (6.13.2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
混和剤の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ JISA6204に適合するA E減水剤又は高性能A E減水剤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
適用箇所 (6.14.1)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ 標仕6.14.1(d)による箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ 標仕6.14.1(d)以外の箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ 図示( )による ○ 屋根押えコンクリート																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
設計基準強度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 18 (N/mm <sup>2</sup> )																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
スラブ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ 15cm ○ 18cm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
混和材料 (6.15.3)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ 標仕6.15.3(b)(1)による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ 標仕6.15.3(b)(1)以外の混和材の使用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
種類( )																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
適用箇所( )																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
混養生期間 (6.15.7)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ 標仕 表6.15.1による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
型枠の存置期間 (6.15.8)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ 標仕6.9.5による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
適用箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ 図示( )による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
目地寸法 ・ 標仕9.6.31による (6.9.2)(6.6.3)(9.6.3)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
間隔・位置・形状 ・ 図示(A-17,23)による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
部材の位置及び断面寸法の許容差の標準値 (6.2.5)(表6.2.2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 標仕 表6.2.2による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5)(6.6.6)(6.9.3)(表6.2.3)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
種別	適用箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
○ A種	基礎立上り																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
○ B種	ピット内、腰壁、軒先																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・ C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 20mm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ 10mm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
せき板の材料及び厚さ (6.9.3)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 合板(○12mm )																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
断熱材の兼用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ 行わない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 行う 1Fスラブ下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
MCR工法用シート																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ 用いる																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
打増し厚さ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ 20mm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
打増し範囲																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ 図示( )による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ 用いない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
スリーブの材質																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ 標仕6.9.3(i)(2)及び表6.9.11による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
実施要領 (6.10.4)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 構造関係共通図(構造関係共通事項)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
構-4 施工方法等計画書関連等 コンクリートの単位水量測定による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							



※ 既存プレハブ倉庫(4)の出入口箇所の反転は本工事外とする。

配置図(改修前)

撤去項目		※数量は参考数量とする。		工事区分	撤去項目		※数量は参考数量とする。		工事区分	撤去項目		※数量は参考数量とする。		工事区分
①	発電機・タンク基礎	既存アスファルト舗装撤去・処分	30.2㎡	電気設備	④	電気配管理設部	既存アスファルト舗装撤去・処分	136.0㎡	電気設備	⑧	樹木撤去・処分(伐根共)	φ150 枝張1.0m 高さ3.0m	電気設備	
		既存アスファルト舗装カッター入れ	16.1m				既存アスファルト舗装カッター入れ	210.0m				⑨	樹木撤去・処分(伐根共)	φ400 枝張4.0m 高さ7.0m
②	キュービクル・受水槽基礎	既存アスファルト舗装撤去・処分	217.0㎡	電気設備	⑤	花壇コンクリート壁立上がり撤去・処分	L=15.0m H=350mm t=170mm		電気設備	⑩	既存プレハブ倉庫(1),(2),(3)撤去処分		電気設備	
		既存アスファルト舗装カッター入れ	160.0m				階段下コンクリート壁立上がり撤去・処分	L=2.3m H=750mm t=150mm						機械設備
③	空調機器置場基礎	既存アスファルト舗装撤去・処分	159.0㎡	機械設備	⑥	階段下コンクリート壁立上がり撤去・処分	L=2.3m H=750mm t=150mm		電気設備				電気設備	
		既存アスファルト舗装カッター入れ	32.9m				歩車道境界ブロック撤去・処分	a150mm×b200mm×c170mm L=8.4m						電気設備



直接仮設  
工事区分 機械設備

【 外部 】

安全手摺	枠組本足場 手摺先行方式 (2か月)	25.300m
外部足場	枠組本足場 手摺先行方式 W900 (2か月)	945.080m <sup>2</sup>
外部足場	脚立足場	341.000m <sup>2</sup>
災害防止 垂直養生防炎シート (2か月)		945.080m <sup>2</sup>
外壁改修 養生		597.800m <sup>2</sup>
外壁改修 壁出し		91.000m <sup>2</sup>
外壁改修 整理清掃後片付け		599.000m <sup>2</sup>

【 内部 】

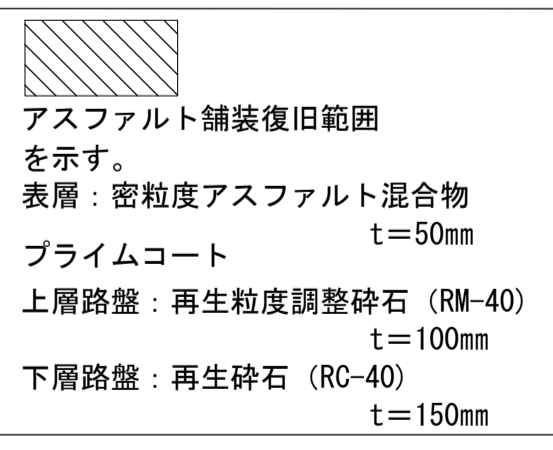
内部足場	脚立足場	682.300m <sup>2</sup>
机上シート養生	床面積 × 1.2	4,928.400m <sup>2</sup>
内部仕上足場	簡易型移動式足場 4.0m超5.0m未満	517.700m <sup>2</sup>
内部改修 養生	個別改修	1,306.000m <sup>2</sup>
内部改修 整理清掃後片付け	個別改修	212.080m <sup>2</sup>

直接仮設  
工事区分 電気設備

【 内部 】

内部足場	脚立足場	26.800m <sup>2</sup>
内部仕上足場	簡易型移動式足場 5.0m超5.7m未満	185.280m <sup>2</sup>
内部改修 養生	個別改修	212.080m <sup>2</sup>
内部改修 整理清掃後片付け	個別改修	212.080m <sup>2</sup>

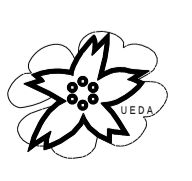

改修項目	※数量は参考数量とする。	工事区分
① 発電機・タンク基礎 (新設)	W7150mm × D3150mm × H875mm ( 外周フェンスA H=2.0m L=20.0m )	電気設備
② キュービクル基礎 (新設)	W2400mm × D7400mm × H650mm ( 外周フェンスB H=2.0m L=20.6m ) コンクリート基礎上がり W500mm × D6200mm × H600mm × 2ヶ所	電気設備
③ 空調機器置場基礎 (新設)	W12500mm × D4500mm × H875mm ( 防音壁 H=2.0m L=20.1m ) コンクリート基礎上がり W600mm × D1200mm × H150mm × 6ヶ所 H鋼 (溶融亜鉛メッキ) H200mm × L6600mm × 4ヶ所 コンクリート基礎上がり W600mm × D1000mm × H150mm × 2ヶ所 H鋼 (溶融亜鉛メッキ) H200mm × L2700mm × 2ヶ所	機械設備
④ 受水槽基礎 (新設)	W2600mm × D5160mm × H550mm ( 外周フェンスB H=2.0m L=31.0m ) コンクリート基礎上がり W2300mm × D300mm × H600mm × 3ヶ所 コンクリート基礎上がり W900mm × D750mm × H150mm × 1ヶ所 W2600mm × D4800mm × H550mm コンクリート基礎上がり W2300mm × D300mm × H600mm × 2ヶ所 コンクリート基礎上がり W2050mm × D1650mm × H150mm × 1ヶ所	機械設備
⑤ 歩車道境界ブロック復旧 (新設)	a150mm×b200mm×c170mm L0.6m × 2箇所	電気設備
⑥ 発電機・タンク基礎廻り アスファルト舗装復旧 (表層アスファルト舗装、路盤共)	8.7m <sup>2</sup>	電気設備
⑦ キュービクル・受水槽基礎廻り アスファルト舗装復旧 (表層アスファルト舗装、路盤共)	134.0m <sup>2</sup>	電気設備
⑧ 空調機器基礎廻り アスファルト舗装復旧 (表層アスファルト舗装、路盤共)	12.3m <sup>2</sup>	機械設備
⑨ 電気配管埋設部 アスファルト舗装復旧 (表層アスファルト舗装のみ)	166.0m <sup>2</sup>	電気設備
⑩ 電気設備 (配線用開口)	トレンチビット壁 新り 1.0m×1.0m t200mm ・電気配管後 開口部 1.0m×1.0m t200mm 防水モルタル埋め ビット内側 シール (ポリウレタン系) t15mm 4.0m ビット外側 塗膜防水 1.44m <sup>2</sup>	電気設備



配置図 (改修後)

共通事項			内装材料について				法規チェックリスト		
1 特記以外の木部、鉄部、亜鉛めっき面の各見え方は、内外ともSOP塗りとする。ただし、和室まわりの木部は塗装なしとする。 2 略号は下表による。			※法28条の2 居室における化学物質の発散に対する衛生上の措置。仕上材、接着材、塗料、家具、カウンター他全て 規制対象外又はF☆☆☆☆の物を使用する。				●建築基準法		
略号			区分				項目		
RC ( )			区分				a. 耐久・防火		
RC ( )			区分				○耐火建築物 (法27)		
RC ( )			区分				○防火壁 (法26)		
RC ( )			区分				○防火区画 (令112条)		
RC ( )			区分				○面積区画 (令112-1)		
RC ( )			区分				○壁穴区画 (令112-9)		
RC ( )			区分				b. 避難		
RC ( )			区分				○適用の範囲 (令117条)		
RC ( )			区分				○廊下の幅 (令119条)		
RC ( )			区分				○直通階段の設置 (令120条)		
RC ( )			区分				○2以上の直通階段の設置 (令121条)		
RC ( )			区分				○階段から屋外への出口までの歩行距離 (令125条)		
RC ( )			区分				○居室の各部分から屋外への出口までの歩行距離 (令125条)		
RC ( )			区分				○延床>1000㎡で適用 (居室及び廊下、階段その他の通路)		
RC ( )			区分				○非常用の進入口 (令126条の6)		
RC ( )			区分				○敷地内の通路 (令128条)		
RC ( )			区分				c. 排煙		
RC ( )			区分				○排煙設備の構造 (令126条の3)		
RC ( )			区分				d. 内装制限		
RC ( )			区分				○内装制限 (令129条)		
RC ( )			区分				○居室：難燃、通路・階段等：準不燃 火気使用室：壁、天井の仕上げを準不燃材料 排煙無窓居室 (床面積≧50㎡)：当該居室及び地上に通ずる廊下・階段の壁、天井の仕上げを準不燃材料		
RC ( )			区分				e. 一般構造		
RC ( )			区分				○居室の天井高さ (令21条)		
RC ( )			区分				○階段 (令23条)		
RC ( )			区分				○居室の採光 (法28条-1) (令116条の2)		
RC ( )			区分				○居室の換気 (法28条-2)		
RC ( )			区分				○シンクハウス (法28条の2)		
RC ( )			区分				○シンクハウスの設置 (法28条の2、令20条の8)		
RC ( )			区分				●消防法		
RC ( )			区分				○無窓階判定		
RC ( )			区分				○無窓階判定一各階有窓階		
RC ( )			区分				●上田市景観計画		
RC ( )			区分				区域区分：市街地		
RC ( )			区分				：ハッチング部は本工事対象外とする。		

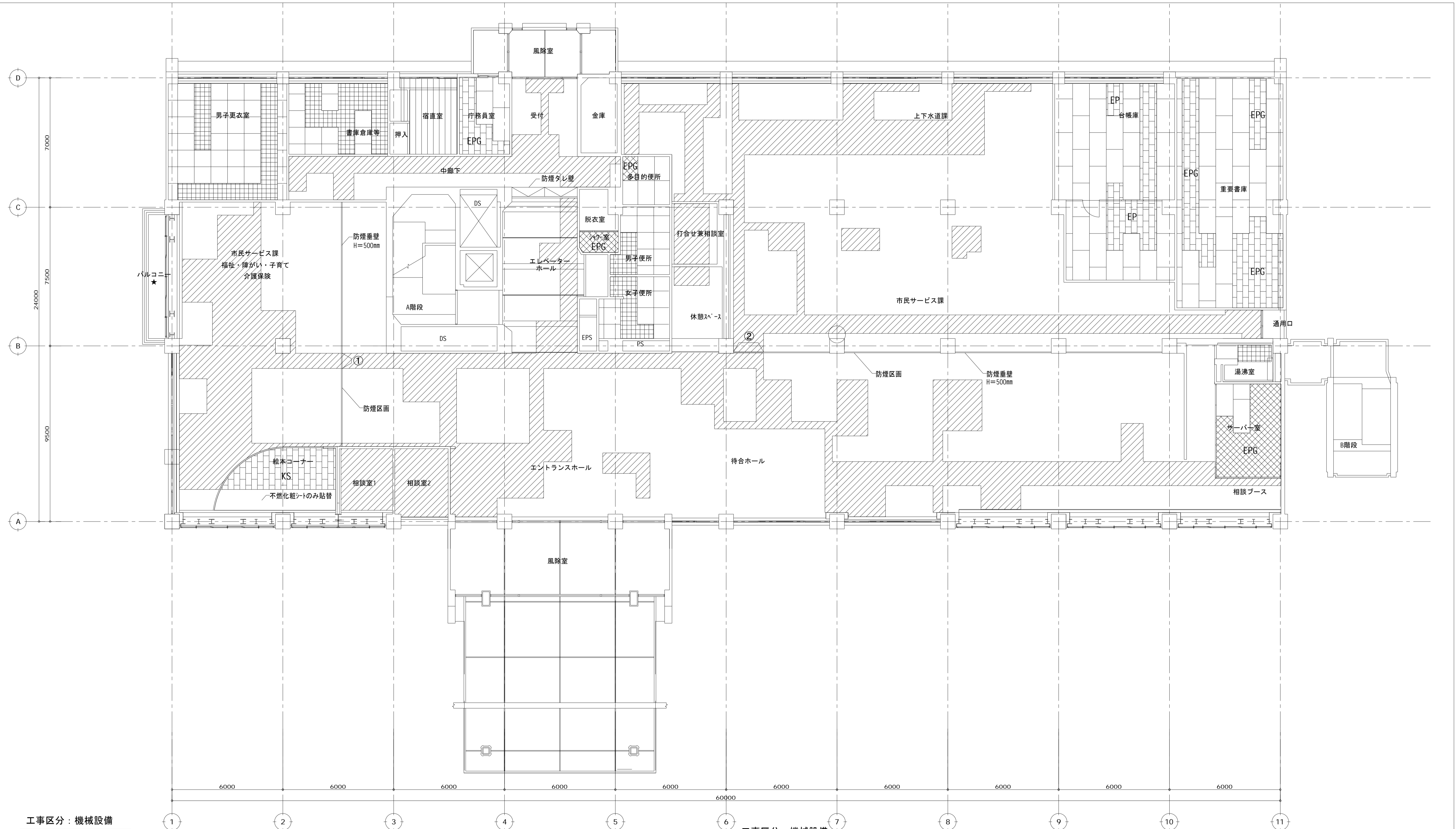
外部仕上げ						
外壁	軒天	屋根・バルコニー	建具	屋根裏	壁	その他
コンクリート打放し 外壁-1	(バルコニー) ケイカル板 t=6.0 目隠し張りの上 E P	(屋根根2) アスファルト防水 保護コンクリート 窓木、天端補縁の上、 アスファルトルーフィング 増結りの上、アルミ窓木	アルミサッシ	下地調整の上、 撥水剤塗布	下地調整の上、 DP	遮熱入りシーリング打替え
	(庇) 既存天井 下地調整 (尺目種)の上、 E P	(屋根根1) 既存防水層の上、屋根-1 窓木、天端補縁の上、 アスファルトルーフィング 増結りの上、アルミ窓木				外部スチール表wash部 手摺、タラップ 下地調整の上、DP
	(通用口) ケイカル板 t=6.0 目隠し張りの上 E P	(屋根根3-5) シート防水 窓木・ブレン窓木の上、 アルミ窓木				
	(外部階段段差) 既存天井 下地調整の上、外壁-1	(下屋根根) 板金防水 窓木・ブレン窓木				
		(下屋根裏下部) 鉄骨組みの上 折板置き				

 <b>上田市都市建設部建築課</b>	凡例	訂正 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.	設計者氏名 氏名	1級建築士登録 第307544号 海城 秀	 <b>AEA株式会社 エーシーエ設計</b> 1級建築士事務所登録 (長野) 1第27312号 長野県長野市 1級建築士登録 第208750号 山口 渡男 〒381-0012 長野市朝陽2360番地1 TEL. 026(296)8300	工事名 丸字地域自治センター改修事業 南棟設備改修 電気設備工事			
		設計者氏名	設計者氏名	設計者氏名		設計者氏名	図番名 仕上表 (1)		
		承認	検査員 村田	設計者氏名 村田		検査員 村田	検査員 村田	設計完了日 23.07	図番名 -
		承認	検査員 村田	設計者氏名 村田		検査員 村田	検査員 村田	設計完了日 23.07	図番名 -
		承認	検査員 村田	設計者氏名 村田		検査員 村田	検査員 村田	設計完了日 23.07	図番名 -
		承認	検査員 村田	設計者氏名 村田		検査員 村田	検査員 村田	設計完了日 23.07	図番名 -
		承認	検査員 村田	設計者氏名 村田		検査員 村田	検査員 村田	設計完了日 23.07	図番名 -

改修後内部仕上げ																							
階	室名	下地	床	下地	床材(種)	下地	壁	天井	備考	階	室名	下地	床	下地	床材(種)	下地	壁	天井	備考				
1階	風除室 (玄関・前庭)	M	磁器タイル貼り	M	WB-H=60	C	既存下地調整の上、EP	S	既存下地調整(「RB種」の上、EP)	SUS無縫板(既存の床)	2階	第5会議室	M	磁器タイル	M	WB-H=60	C	モルタル塗り予仕塗装 334(27~41)02E 磁器タイル貼り	S	GB-R1-9の上 DR1=9	★		
	エントランスホール	M	磁器タイル貼り	M	WB-H=60	M	タイル貼り	S	GB-R1-9.5 DR1=9	SUS床見切り 型付けアクリル内板 (既存再取り付付) 注意喚起・誘導表示用磁器シート		第6会議室	M	磁器タイル	M	WB-H=60	C	モルタル塗り予仕塗装 334(27~41)02E 磁器タイル貼り	S	GB-R1-9の上 DR1=9	★	パーチカルブラインド800共	
	市民サービス課 福祉課がい子育て・介護係	M	下地調整の上、TT(B)	M	WB-H=60	M	タイル貼り	S	GB-R1-9.5 DR1=9	受付カウンター(別途工事) パーチカルブラインドブラインド800共 耐震プレート 耐震垂れ壁 (既存再取り付付)		地域振興課 (財)上田地域振興事業団 総務企画課 自治センター長室	M	磁器タイル	M	WB-H=60	C	モルタル塗り予仕塗装 334(27~41)02E 磁器タイル貼り	S	GB-R1-9の上 DR1=9	★	カーテン、800共	
	絵本コーナー	M	下地調整の上、TCP(A)	M	WB-H=60	C	既存磁器タイル、下地調整の上、EP	S	GB-R1-9.5の上、 不燃化粧シート貼り	耐震プレート		市民室	M	磁器タイル	M	WB-H=60	C	GB-R1-15の上布張り	S	GB-R1-9の上 DR1=9	★	カーテン、800共	
	市民サービス課 上下水道課	M	下地調整の上、TT(B)	M	WB-H=60	C	既存磁器タイル、下地調整の上、EP	S	GB-R1-9.5 DR1=9	受付カウンター(別途工事) パーチカルブラインドブラインド800共 耐震プレート 耐震垂れ壁 (既存再取り付付)		市長室	M	磁器タイル	M	WB-H=60	C	GB-R1-15の上布張り	S	GB-R1-9の上 DR1=9	★	カーテン、800共	
	待合ホール	M	下地調整の上、TT(B)	M	WB-H=60	C	既存磁器タイル、下地調整の上、EP	S	GB-R1-9.5 DR1=9	パーチカルブラインドブラインド800共 耐震プレート 耐震垂れ壁 (既存再取り付付) 注意喚起・誘導表示用磁器シート、耐震プレート 自動販売機×1台 (既存利用、内1台は新設(別途))		第1会議室	M	磁器タイル	M	WB-H=60	C	GB-R1-15の上布張り	S	GB-R1-9の上 DR1=9	★	カーテン、800共	
	休憩スペース	M	下地調整の上、TT(B)	M	WB-H=60	C	タイル貼り GB-R1-12.5+9.5上、EP	S	GB-R1-9.5 DR1=9	耐震垂れ壁 (既存再取り付付) 耐震壁		第2会議室 第3会議室	M	磁器タイル	M	WB-H=60	C	GB-R1-15の上布張り	S	GB-R1-9の上 DR1=9	★		
	打合せ兼相談室	M	下地調整の上、FS(A)	M	WB-H=60	C	タイル貼り GB-R1-12.5+9.5上、EP	S	GB-R1-9.5 DR1=9 (内装仕上げ材：不燃材※下地仕上げ共)	耐震壁		第4会議室	M	磁器タイル	M	WB-H=60	C	GB-R1-15の上布張り	S	GB-R1-9の上 DR1=9	★	パーチカルブラインド800共	
	相談室1・2	M	下地調整の上、FS(A)	M	WB-H=60	C	既存磁器タイル、下地調整の上、EP (内装仕上げ材：不燃材※下地仕上げ共)	S	GB-R1-9.5 DR1=9	パーチカルブラインドブラインド800共 (相談室1のみ) 耐震プレート		更衣室	M	磁器タイル	M	WB-H=60	C	GB-R1-15の上布張り	S	GB-R1-9の上 DR1=9			
	男子更衣室 倉庫・書庫等	M	磁器タイル	S	WB-H=60	S	1階工事のりま(各設備倉庫等設置場所) 一部、GB-R1-12.5+9.5上、EP	S	GB-NC1-9.5			資料室	M	磁器タイル	M	WB-H=60	C	GB-R1-15の上布張り	S	GB-R1-9 目隠し貼りの上VP			
	留置室	M	タタミ	M	WB-H=60	M	プラスチック中塗り 新設壁	S	杉化粧板P8 目隠し貼り			休憩室	M	磁器タイル	M	WB-H=60	C	プラスチック中塗り・ジュウラウ GB-R1-15の上VP	S	杉化粧板P8 目隠し貼り		パーチカルブラインド800共	
	庁務員室	M	磁器タイル	M	WB-H=60	C	1階塗装 334(27~41)02E 磁器タイル貼り	S	GB-R1-9 目隠し貼りの上VP			倉庫	M	磁器タイル	M	WB-H=60	C	大黒漆下地、磁器タイル 貼り 耐震垂れ壁(1階)の上、TT(B)	S	GB-R1-9の上 DR1=9	★	パーチカルブラインド800共	
	倉庫	M	磁器タイル	M	WB-H=60	C	モルタル塗り予仕塗装 334(27~41)02E 磁器タイル貼り	S	GB-R1-9 目隠し貼りの上VP			4階	廊下	M	磁器タイル	M	WB-H=60	C	磁器タイル	S	GB-R1-9の上 DR1=9	★	
	台帳庫	M	磁器タイル	M	WB-H=60	C	既存磁器タイル、下地調整の上、EP	S	GB-R1-9.5 EP				認定審査会場	M	磁器タイル	M	WB-H=60	C	磁器タイル	S	GB-R1-9の上 DR1=9	★	
重要書類	M	磁器タイル	M	WB-H=60	C	モルタル塗り予仕塗装 334(27~41)02E 磁器タイル貼り	S	GB-R1-9 目隠し貼りの上VP		講堂	M		磁器タイル	M	WB-H=60	C	磁器タイル	S	GB-R1-9の上 DR1=9	★			
サーバー室	M	モザイクタイル	M	WB-H=60	M	100両半磁器色タイル貼り	S	フレキシブルボード1-4目隠し貼り		事務局長室	M		磁器タイル	M	WB-H=60	C	GB-R1-15の上布張り	S	GB-R1-9の上 DR1=9	★			
湯沸室	M	磁器タイル	M	WB-H=60	C	GB-R1-12.5+9.5上、EP (内装仕上げ材：不燃材)	S	GB-D1-9.5 (内装仕上げ材：不燃材)	新設 換気口、糸戸網	上田地域広域連合 総務課	M		磁器タイル	M	WB-H=60	C	GB-R1-15の上VP	S	GB-R1-9の上 DR1=9	★			
多目的便所	M	モザイクタイル貼り	M	WB-H=60	M	100両半磁器色タイル貼り	S	フレキシブルボード1-4目隠し貼り		上田地域広域連合 介護課がい審査課 企画課 第1会議室	M		磁器タイル	M	WB-H=60	C	GB-R1-15の上VP	S	GB-R1-9の上 DR1=9	★			
シャワー室	M	モザイクタイル貼り	M	WB-H=60	M	100両半磁器色タイル貼り	S	フレキシブルボード1-4目隠し貼り		共通	M		磁器タイル	M	WB-H=60	C	磁器タイル	S	GB-R1-9の上 DR1=9	★			
脱衣室	M	モザイクタイル貼り	M	WB-H=60	M	100両半磁器色タイル貼り	S	フレキシブルボード1-4目隠し貼り		湯沸室 (4階)	M		磁器タイル	M	WB-H=60	C	100両半磁器色タイル貼り	S	ケイカル板1-6 EP				
2階	建設課・産業観光課 依田川沿岸土地改良区	M	磁器タイル	M	WB-H=60	C	モルタル塗り予仕塗装 334(27~41)02E 磁器タイル貼り	S	GB-R1-9の上 DR1=9	★	パーチカルブラインド(800共)		M	磁器タイル	M	WB-H=60	C	モルタル塗り予仕塗装 334(27~41)02E 磁器タイル貼り	S	GB-R1-9の上 DR1=9	★		
	書庫	M	磁器タイル	M	WB-H=60	C	既存磁器タイル、下地調整の上、EP	S	GB-R1-9.5の上 DR1=9		男子便所 女子便所 (1-3・4階)		M	モザイクタイル貼り	M	WB-H=60	M	100両半磁器色タイル貼り	S	GB-D1-9.5			
	廊下	M	磁器タイル	M	WB-H=60	C	GB-R1-12.5+9.5上、EP	S	GB-D1-9.5(木目)	可動書架(既存) パーチカルブラインド(800共)	エレベーターホール (1~4階)		M	磁器タイル	M	WB-H=60	C	磁器タイル貼り	S	GB-R1-9.5 DR1=9		SUS床見切り 型付けアクリル内板 (既存再取り付付) 注意喚起・誘導表示用磁器シート	
	階段 湯沸室	M	磁器タイル	M	WB-H=60	C	モルタル塗り予仕塗装 一部100両半磁器色タイル	S	GB-R1-12の上 布張り GB-R1-9の上 DR1=9	★													
	印刷室 地籍調査作業室	M	磁器タイル	M	WB-H=60	C	モルタル塗り予仕塗装 既存磁器タイル、下地調整の上、EP	S	GB-R1-9 目隠し貼りの上VP	パーチカルブラインド(800共)													
	更衣室	M	磁器タイル	M	WB-H=60	C	既存磁器タイル、下地調整の上、EP	S	GB-D1-9.5	パーチカルブラインド(800共)													
資料室 倉庫	M	磁器タイル	M	WB-H=60	C	モルタル塗り予仕塗装 334(27~41)02E 磁器タイル貼り	S	GB-R1-9 目隠し貼りの上VP															

ハッチング部は本工事対象外とする。

★ : アbestos含有建材(特記無き限りレベル3建材)とする。  
 ※注1) 令和元年度耐震化事業のアbestos調査報告書による。  
 ※注2) 1階天井材については耐震化事業 耐震・内外部等改修工事時にアbestos含有建材撤去済み。



工事区分：機械設備

310×310	1ヶ所
390×390	3ヶ所
610×560	5ヶ所
700×625	4ヶ所
910×910	13ヶ所
1060×670	6ヶ所
1060×760	1ヶ所
1620×670	5ヶ所

工事区分：機械設備

600×600	21ヶ所
---------	------

- ①防煙垂壁 H=500mm L=1.0m 撤去・再取付
- ②防煙垂壁 H=500mm L=1.6m 撤去・再取付

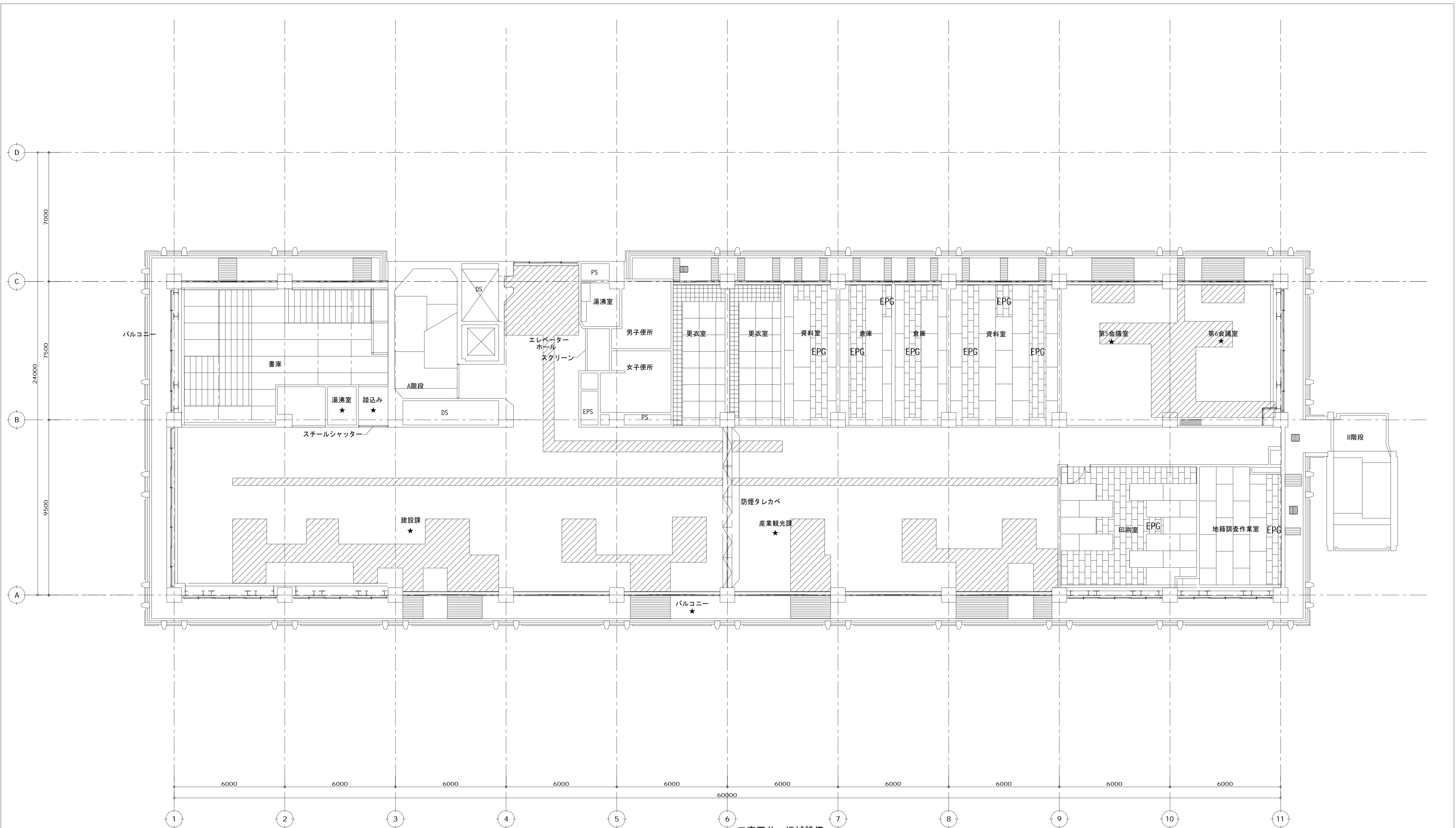
※2重貼り部分は、下地材、仕上げ材の接続部ずれを想定して実際の数量の1.2倍を参考数量としている。

※既存の野縁・吊ボルトは基本的に再利用とする。

工事区分：機械設備

天井撤去・復旧範囲 凡例

撤去				復旧				※数量は参考数量とする。			
記号	仕上(撤去・復旧同等材)	撤去	復旧	カット目地	面積	記号	仕上(撤去・復旧同等材)	撤去	復旧	カット目地	面積
GB-Rt=9.5+DRt=9.0		切断	新規	685m	402.0㎡	EPG	フレキシブルボードt=4 目透し張り EPG	1枚毎	新規	0.0m	17.0㎡
GB-NC=9.5(不燃)		1枚毎	再利用	0.0m	29.3㎡		ケイカル板t=6 EP	1枚毎	新規	0.0m	0.0㎡
GB-Dt=9.5(木目)		1枚毎	新規	0.0m	11.6㎡		ケイカル板t=6 目透し張り EPG	切断	新規	0.0m	0.0㎡
EP	GB-Rt=9.5 EP (EP塗装のみ新規)	1枚毎	新規	0.0m	14.8㎡	注記1. 塗装仕上の天井材再利用はタッチアップ共とする					
EPG	GB-Rt=9.5 目透し張り EPG (EPG塗装のみ新規)	1枚毎	新規	0.0m	31.3㎡	2. 不燃化粧シートは全面貼替とする					
KS	GB-Rt=9.5 不燃化粧シート貼り	1枚毎	新規	0.0m	11.7㎡	3. バルコニー軒天は、清掃の上、再塗装 EPG 7.3㎡					



工事区分：機械設備

【設備天井開口補強】	
390×390	16ヶ所
910×910	3ヶ所
610×560	8ヶ所
1370×760	1ヶ所

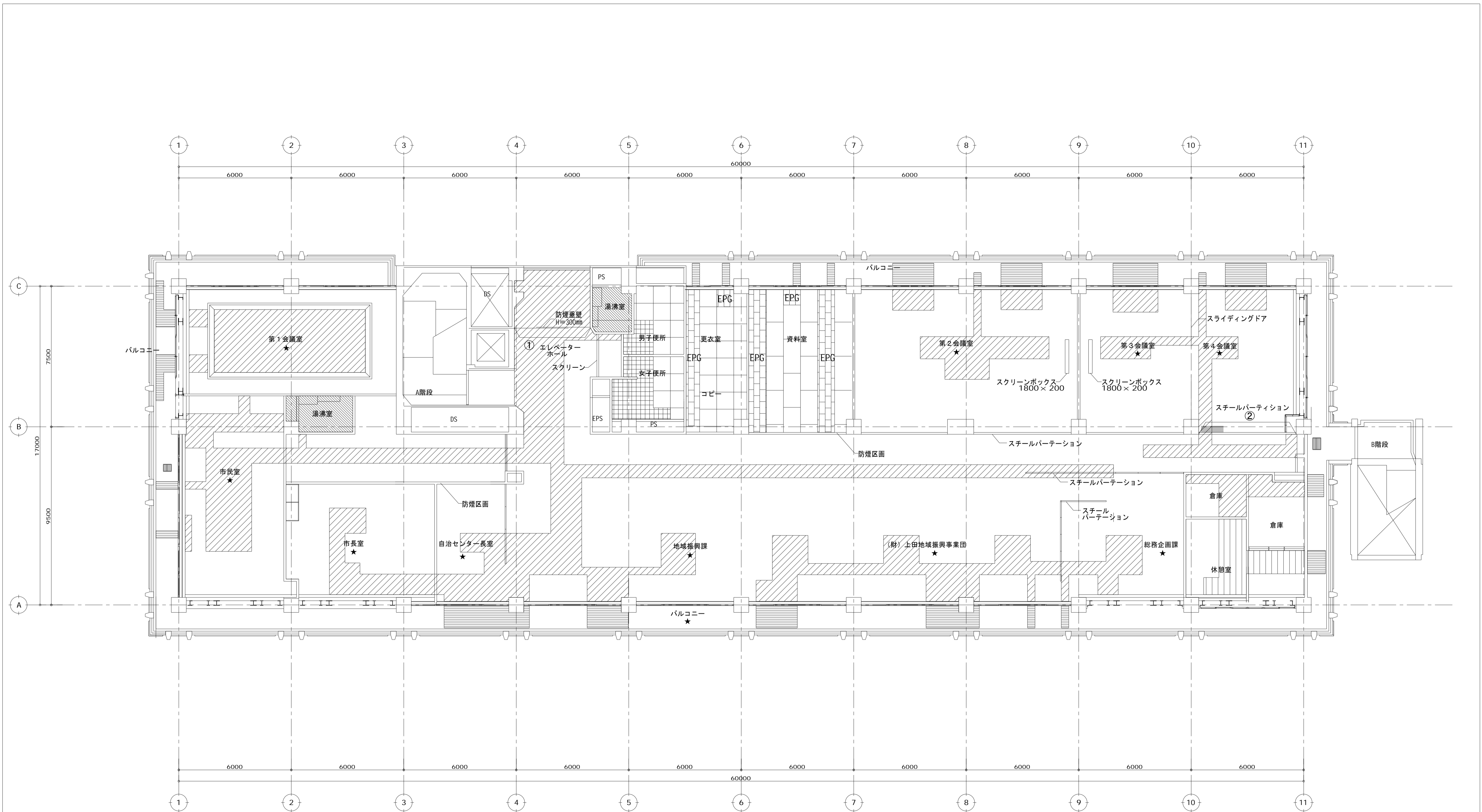
工事区分：機械設備

【天井点検口】	
600×600	15ヶ所

工事区分：機械設備

天井撤去・復旧範囲 凡例					※数量は参考数量とする。						
記号	仕上(撤去・復旧同等材)	撤去	復旧	カッター目地	面積	記号	仕上(撤去・復旧同等材)	撤去	復旧	カッター目地	面積
GB-Rt=9.5+DRt=9.0		切断	新規	376m	172.0㎡	EPG	フレキシブルボードt=4 目透し張り	EPG 1枚毎	新規	0.0m	0.0㎡
GB-NC=9.5(不燃)		1枚毎	再利用	0.0m	11.4㎡		ケイカル板t=6 EP	1枚毎	新規	0.0m	0.0㎡
GB-Dt=9.5(木目)		1枚毎	新規	0.0m	24.8㎡		ケイカル板t=6 目透し張り EPG	切断	新規	0.0m	29.8㎡
EP	GB-Rt=9.5 EP (EP塗装のみ新規)	1枚毎	新規	0.0m	0.0㎡	注記1. 塗装仕上の天井材再利用はタッチアップ共とする					
EPG	GB-Rt=9.5 目透し張り EPG (EPG塗装のみ新規)	1枚毎	新規	0.0m	64.1㎡	2. 不燃化粧シートは全面貼替とする					
KS	GB-Rt=9.5 不燃化粧シート貼り	1枚毎	新規	0.0m	0.0㎡	3. バルコニー軒天は、清掃の上、再塗装 EPG 165㎡ (撤去・復旧数量共)					

※2重貼り部分は、下地材、仕上げ材の接続部ずれを想定して実際の数量の1.2倍を参考数量としている。  
 ※既存の野縁・吊ボルトは基本的に再利用とする。  
 ※★の居室・室の天井材はアスベスト含有建材(レベル3建材)。



工事区分：機械設備

【設備天井開口補強】

255×255	2ヶ所
310×310	1ヶ所
390×390	3ヶ所
610×560	11ヶ所
700×625	1ヶ所
910×910	15ヶ所
1060×670	1ヶ所
1370×760	1ヶ所

工事区分：機械設備

【天井点検口】

600×600	12ヶ所
---------	------

- ①防煙垂壁 H=300mm L=4.0m 撤去・再取付  
②スチールパーティション H=2.6m L=5.25m 再取付

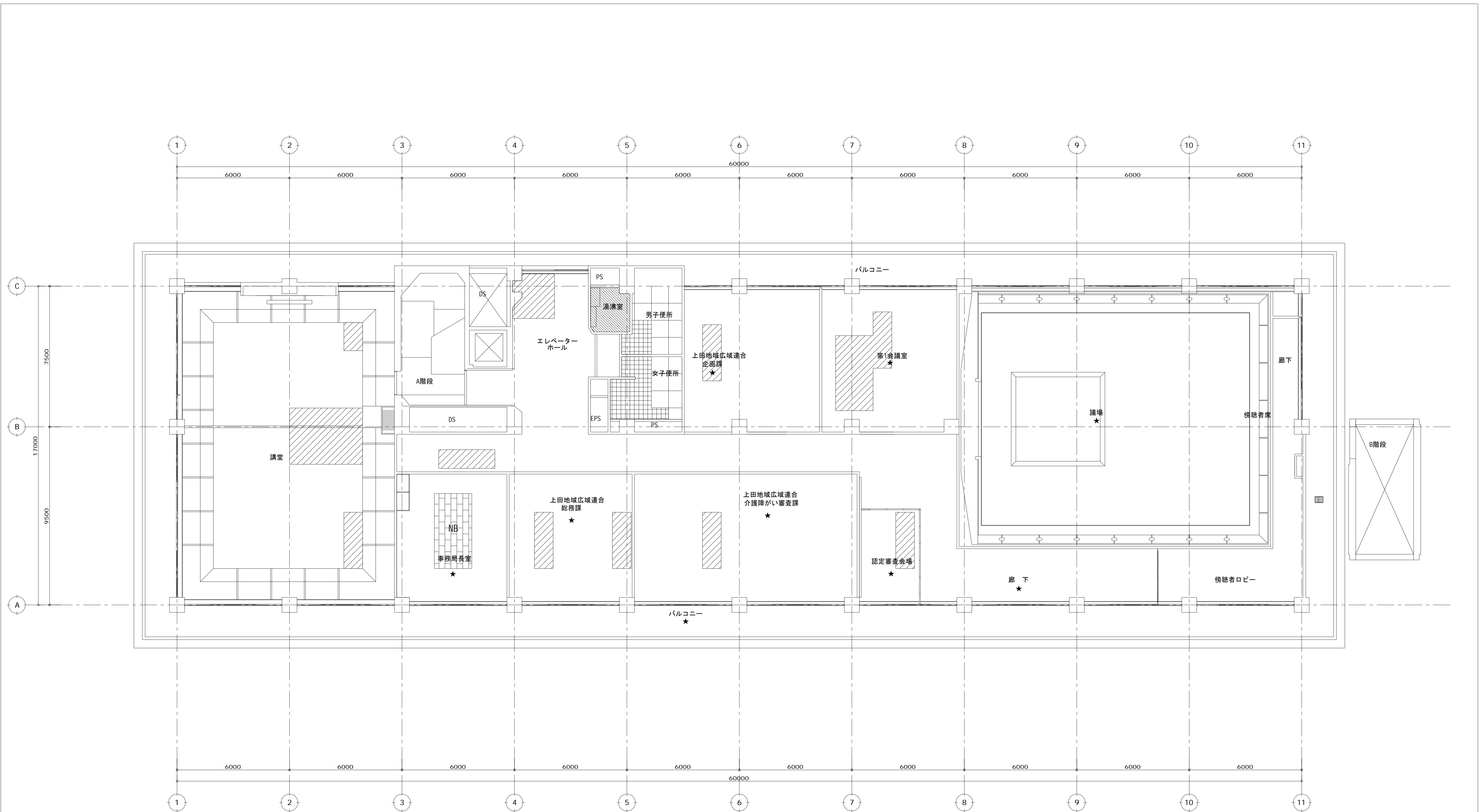
※2重貼り部分は、下地材、仕上げ材の接続部ずれを想定して  
実際の数量の1.2倍を参考数量としている。  
※既存の野縁・吊ボルトは基本的に再利用とする。  
※★の居室・室の天井材はアスベスト含有建材(レベル3建材)。

工事区分：機械設備

天井撤去・復旧範囲 凡例

天井撤去・復旧範囲				※数量は参考数量とする。							
記号	仕上(撤去・復旧同等材)	撤去	復旧	カット 目地	面積	記号	仕上(撤去・復旧同等材)	撤去	復旧	カット 目地	面積
	GB-Rt=9.5+DRt=9.0	切断	新規	532m	286.0㎡	EPG	フレキシブルボードt=4 目透し張り EPG	1枚毎	新規	0.0m	0.0㎡
	GB-NC=9.5(不燃)	1枚毎	再利用	0.0m	9.6㎡		ケイカル板t=6 EP	1枚毎	新規	0.0m	10.2㎡
	GB-Dt=9.5(木目)	1枚毎	新規	0.0m	10.5㎡		ケイカル板t=6 目透し張り EPG	切断	新規	0.0m	33.7㎡
EP	GB-Rt=9.5 EP (EP塗装のみ新規)	1枚毎	新規	0.0m	0.0㎡	注記1. 塗装仕上の天井材再利用はタッチアップ共とする					
EPG	GB-Rt=9.5 目透し張り EPG (EPG塗装のみ新規)	1枚毎	新規	0.0m	20.9㎡	2. 不燃化粧シートは全面貼替えとする					
KS	GB-Rt=9.5 不燃化粧シート貼り	1枚毎	新規	0.0m	0.0㎡	3. バルコニー軒天は、清掃の上、再塗装 EPG 163㎡(撤去・復旧数量共)					





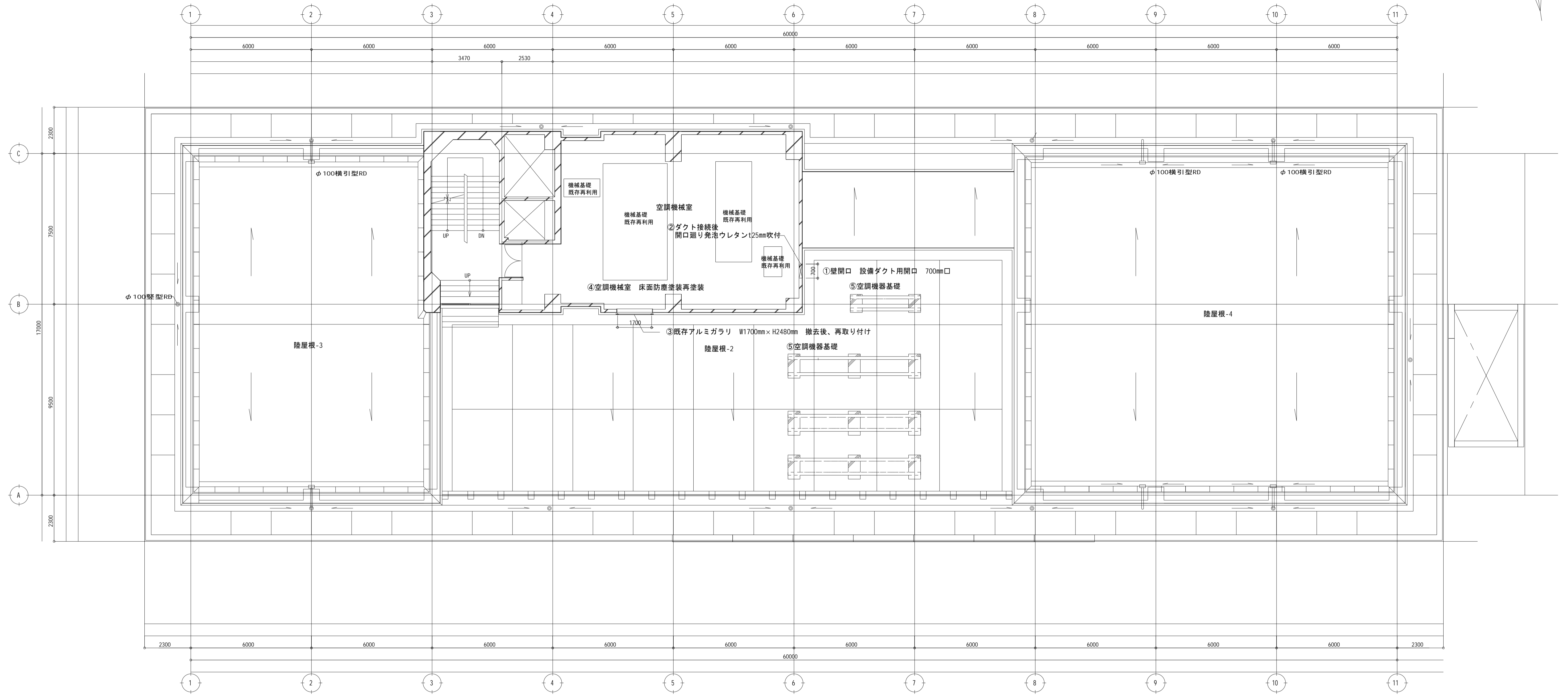
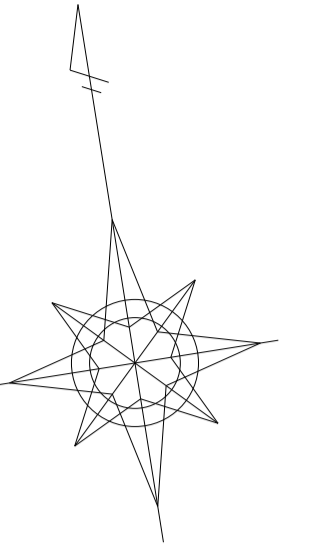
工事区分：機械設備

【天井点検口】	
600×600	1ヶ所

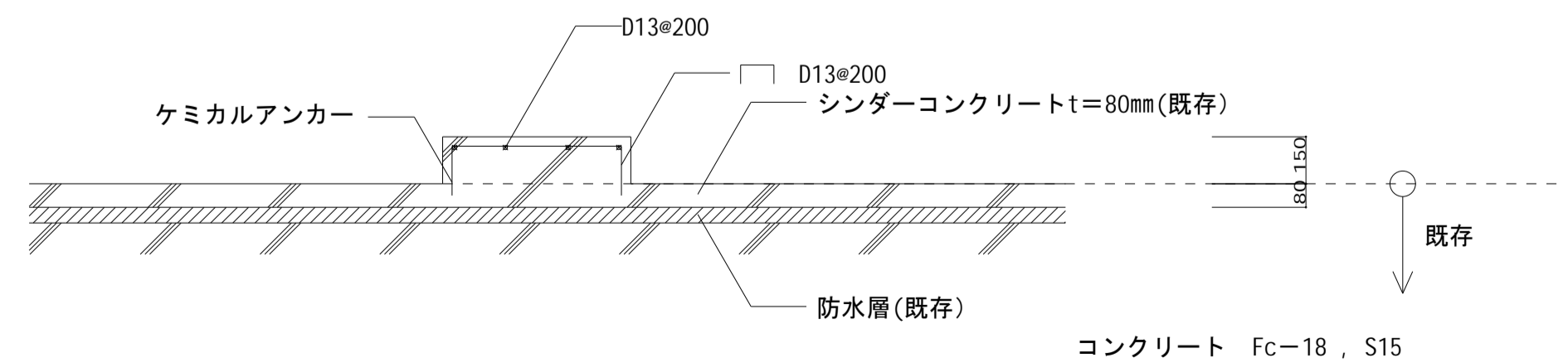
工事区分：機械設備

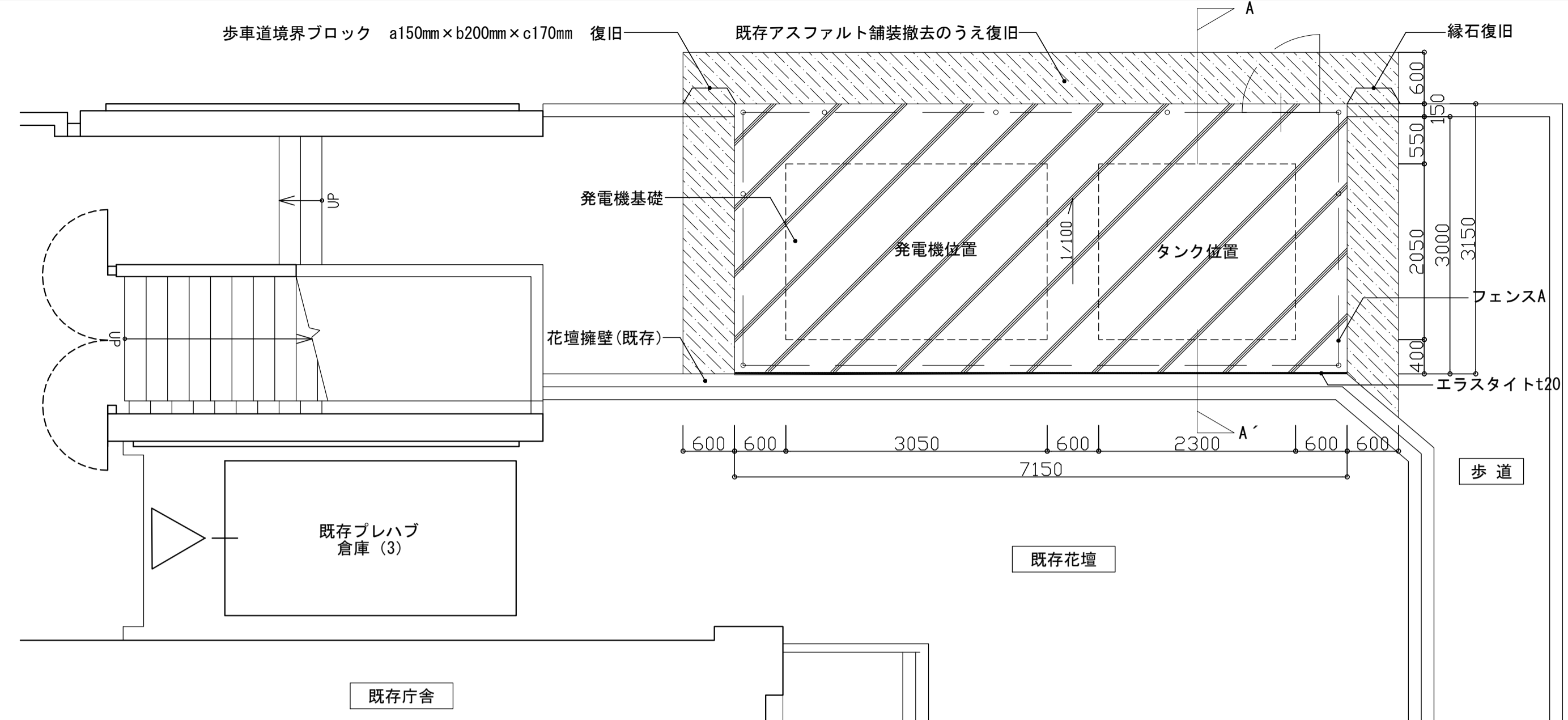
天井撤去・復旧範囲 凡例						※数量は参考数量とする。					
記号	仕上（撤去・復旧同等材）	撤去	復旧	カッター 目地	面積	記号	仕上（撤去・復旧同等材）	撤去	復旧	カッター 目地	面積
GB	Rt=9.5+DRt=9.0	切断	新規	121.0m	56.5㎡	NB	GB-Rt=15.0 布貼り	1枚毎	新規	0.0m	8.0㎡
GB	NC=9.5(不燃)	1枚毎	再利用	0.0m	9.6㎡	EPG	フレキシブルボードt=4 目透し張り EPG	1枚毎	新規	0.0m	0.0㎡
GB	Dt=9.5(木目)	1枚毎	新規	0.0m	0.0㎡	EPG	ケイカル板t=6 EP	1枚毎	新規	0.0m	4.8㎡
EP	GB-Rt=9.5 EP (EP塗装のみ新規)	1枚毎	再利用	0.0m	0.0㎡	EPG	ケイカル板t=6 目透し張り EPG	切断	新規	0.0m	0.0㎡
EPG	GB-Rt=9.5 目透し張り EPG (EPG塗装のみ新規)	1枚毎	再利用	0.0m	0.0㎡	注記1. 塗装仕上の天井材再利用はタッチアップ共とする					
KS	GB-Rt=9.5 不燃化粧シート貼り	1枚毎	新規	0.0m	0.0㎡	2. 不燃化粧シートは全面貼替えとする					
						3. バルコニー軒天は、清掃の上、再塗装 EPG 168㎡					

※2重貼り部分は、下地材、仕上げ材の接続部ずれを想定して  
 実際の数量の1.2倍を参考数量としている。  
 ※既存の野縁・吊ボルトは基本的に再利用とする。  
 ※★の居室・室の天井材はアスベスト含有建材(レベル3建材)。



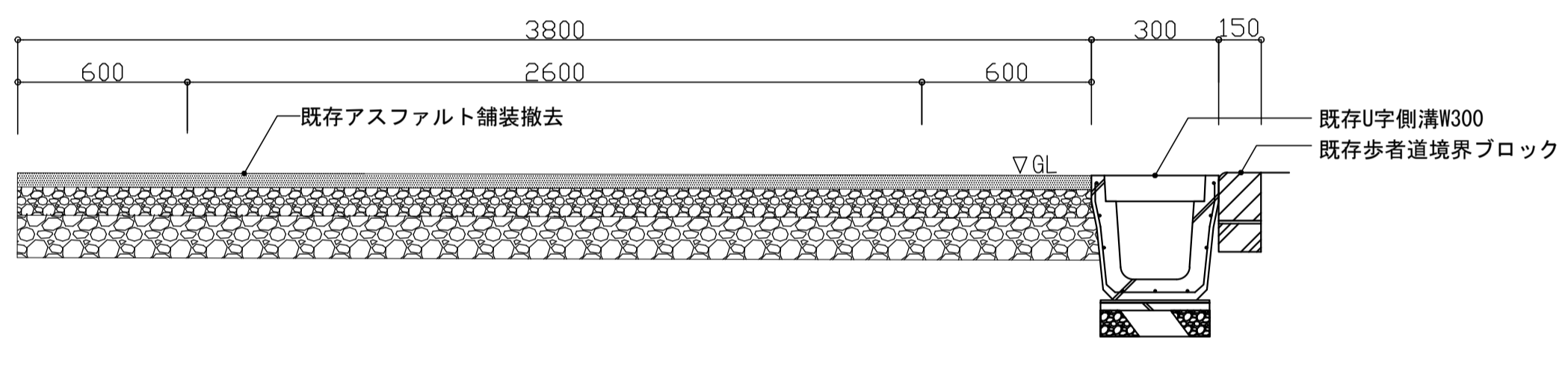
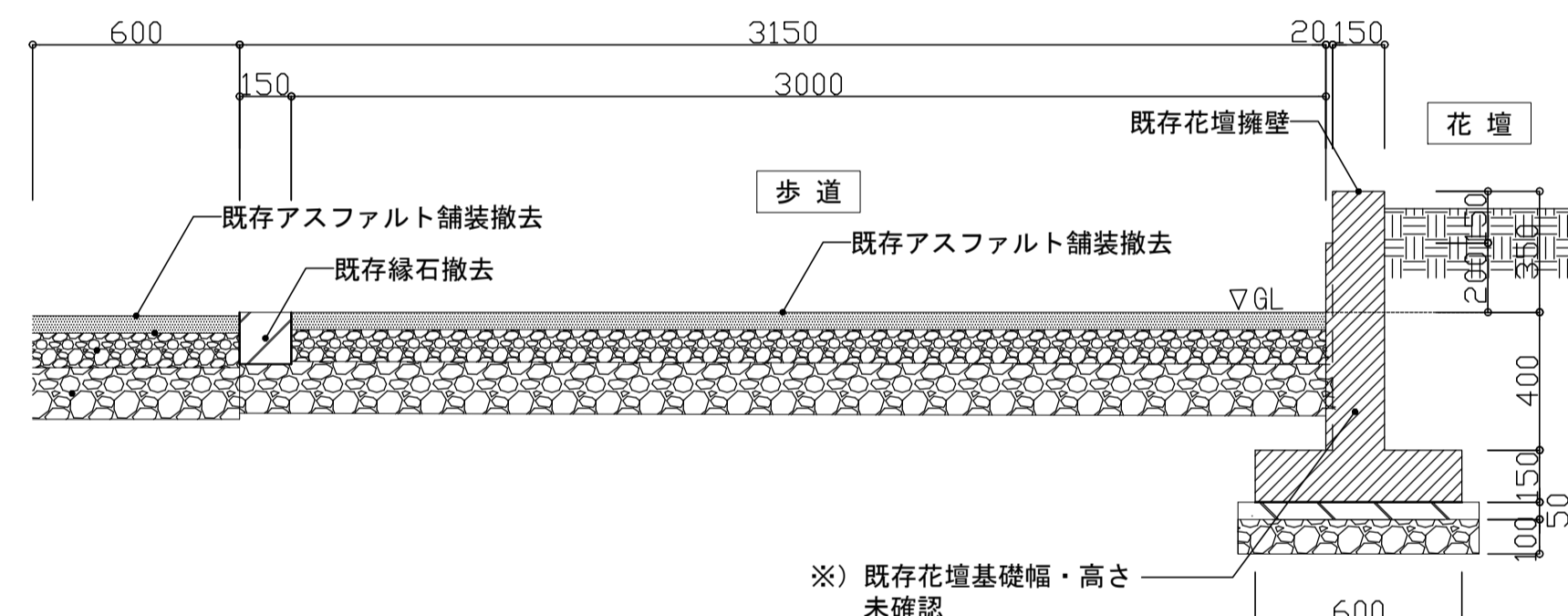
改修項目 ※数量は参考数量とする。	工事区分	改修項目 ※数量は参考数量とする。	工事区分
①壁開口 設備ダクト用開口 700mm口 t=200mm	機械設備	④空調機器基礎	機械設備
②ダクト接続後 開口廻り発泡ウレタンt25mm吹付	機械設備	コンクリート基礎立上がり W600mm × H1000mm × H150mm × 2ヶ所 H鋼 (溶融亜鉛メッキ) H200mm × L3500mm × 2ヶ所	2ヶ所
③既存アルミガラリ W1700mm×H2480mm 撤去後、再取り付け	機械設備	コンクリート基礎立上がり W600mm × H1200mm × H150mm × 6ヶ所 H鋼 (溶融亜鉛メッキ) H200mm × L6600mm × 6ヶ所	6ヶ所
④空調機械室 床面防塵塗装再塗装 106㎡	機械設備		





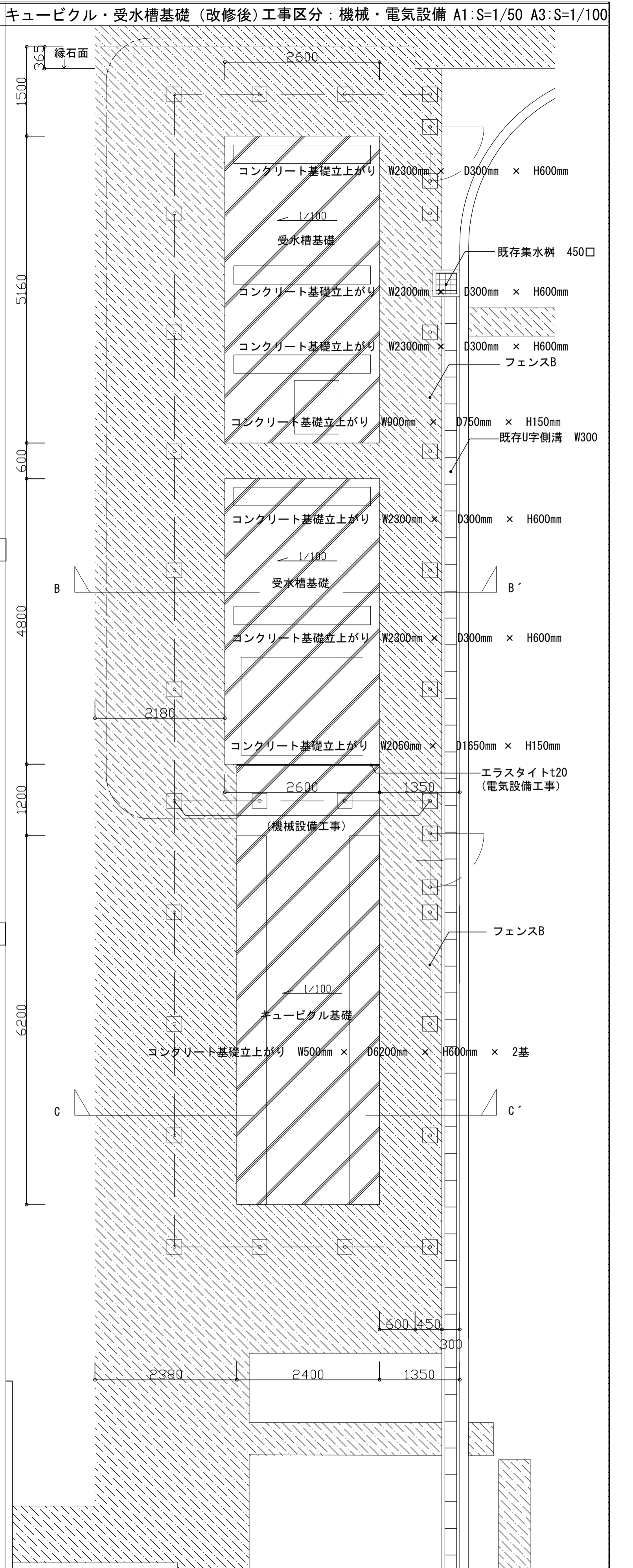
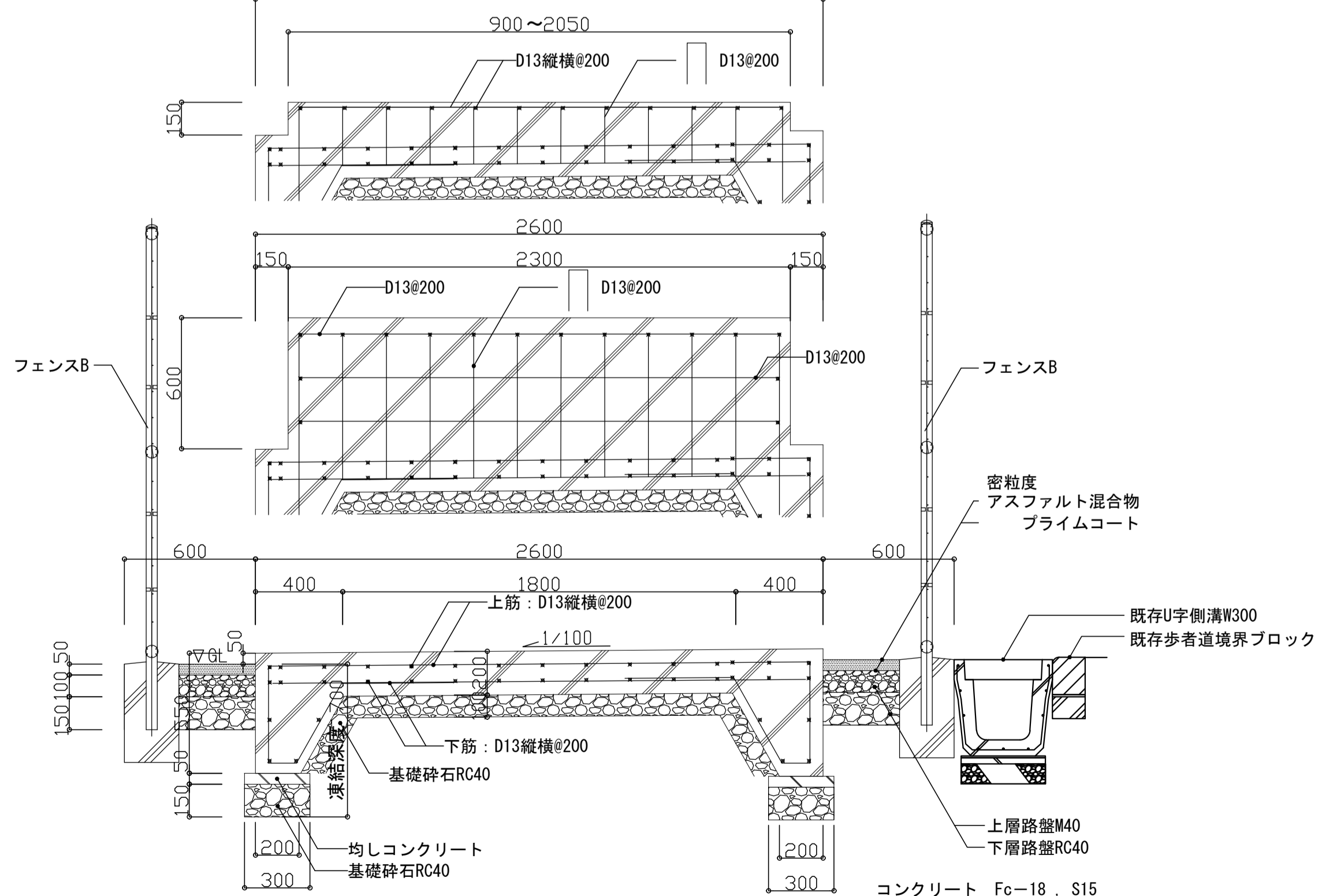
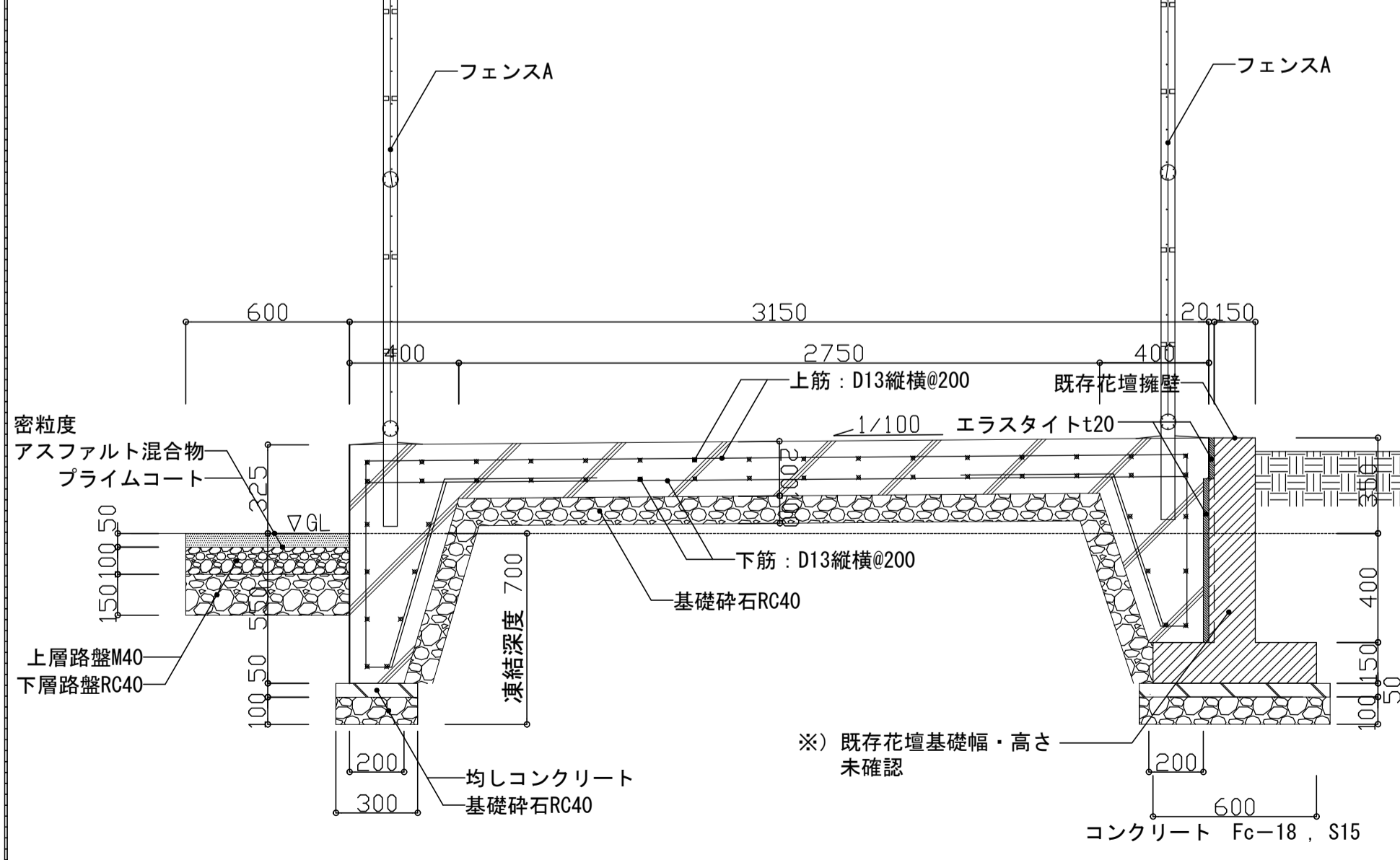
発電機・タンク基礎A-A'断面図 (改修前) 工事区分: 電気設備 A1:S=1/20 A3:S=1/40

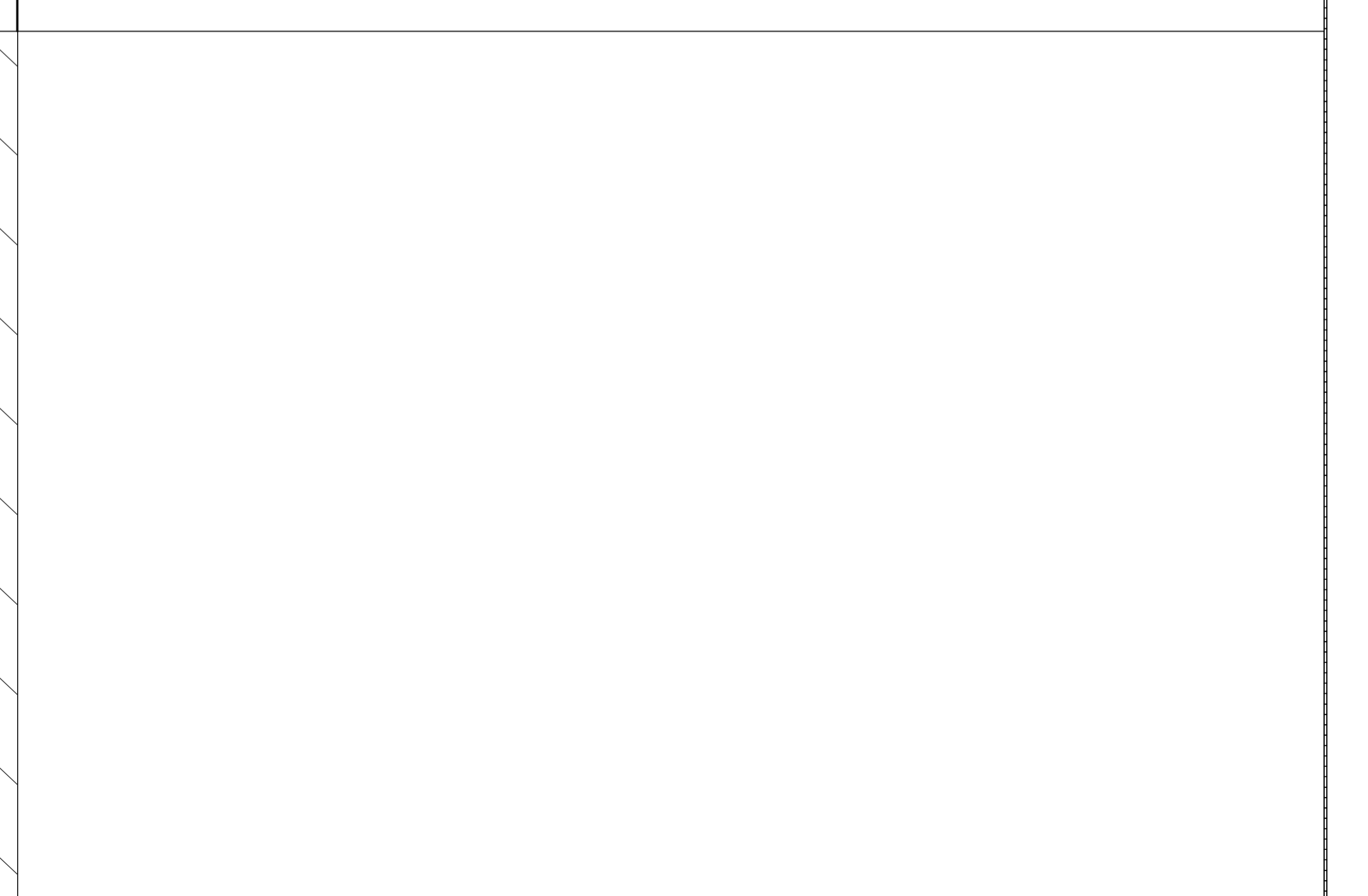
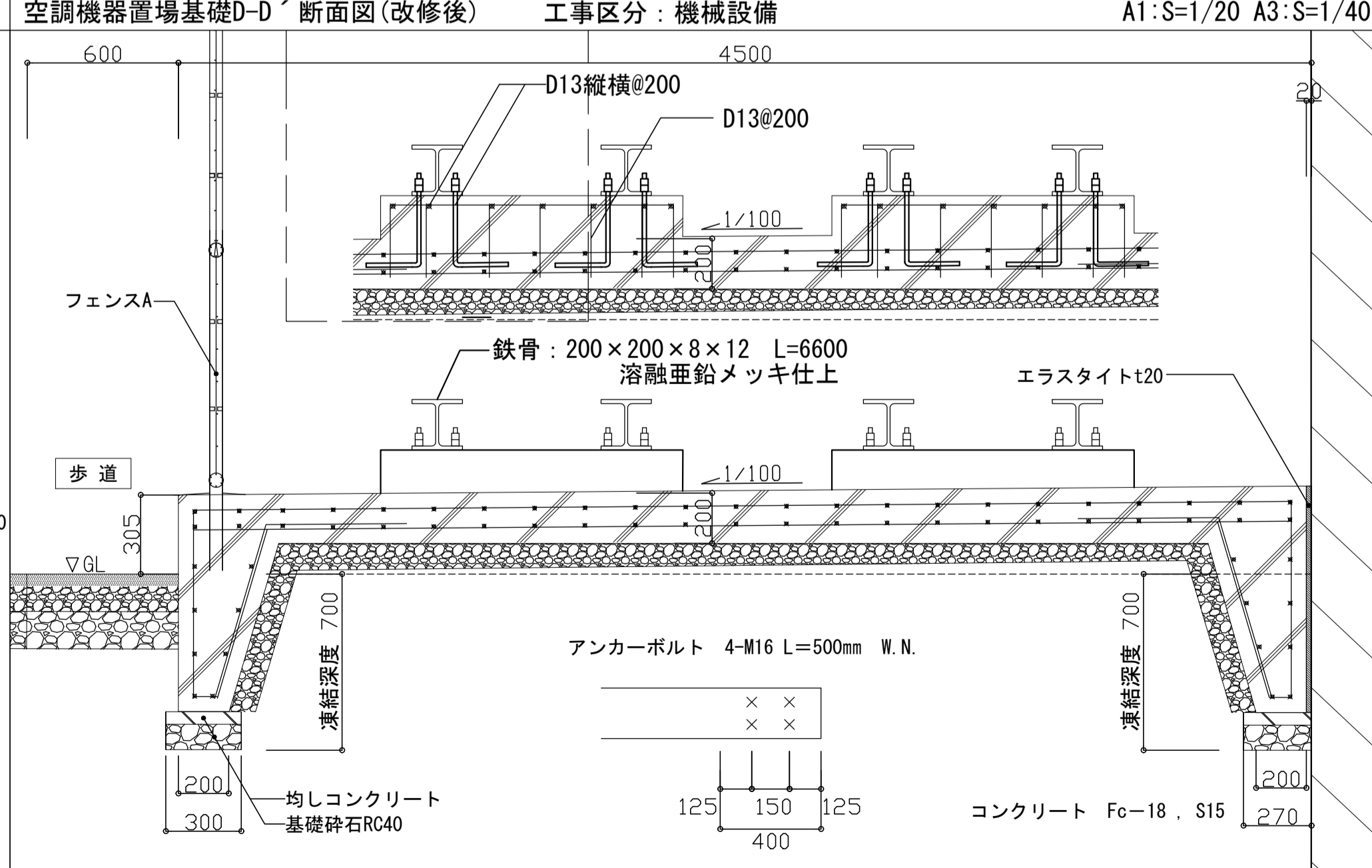
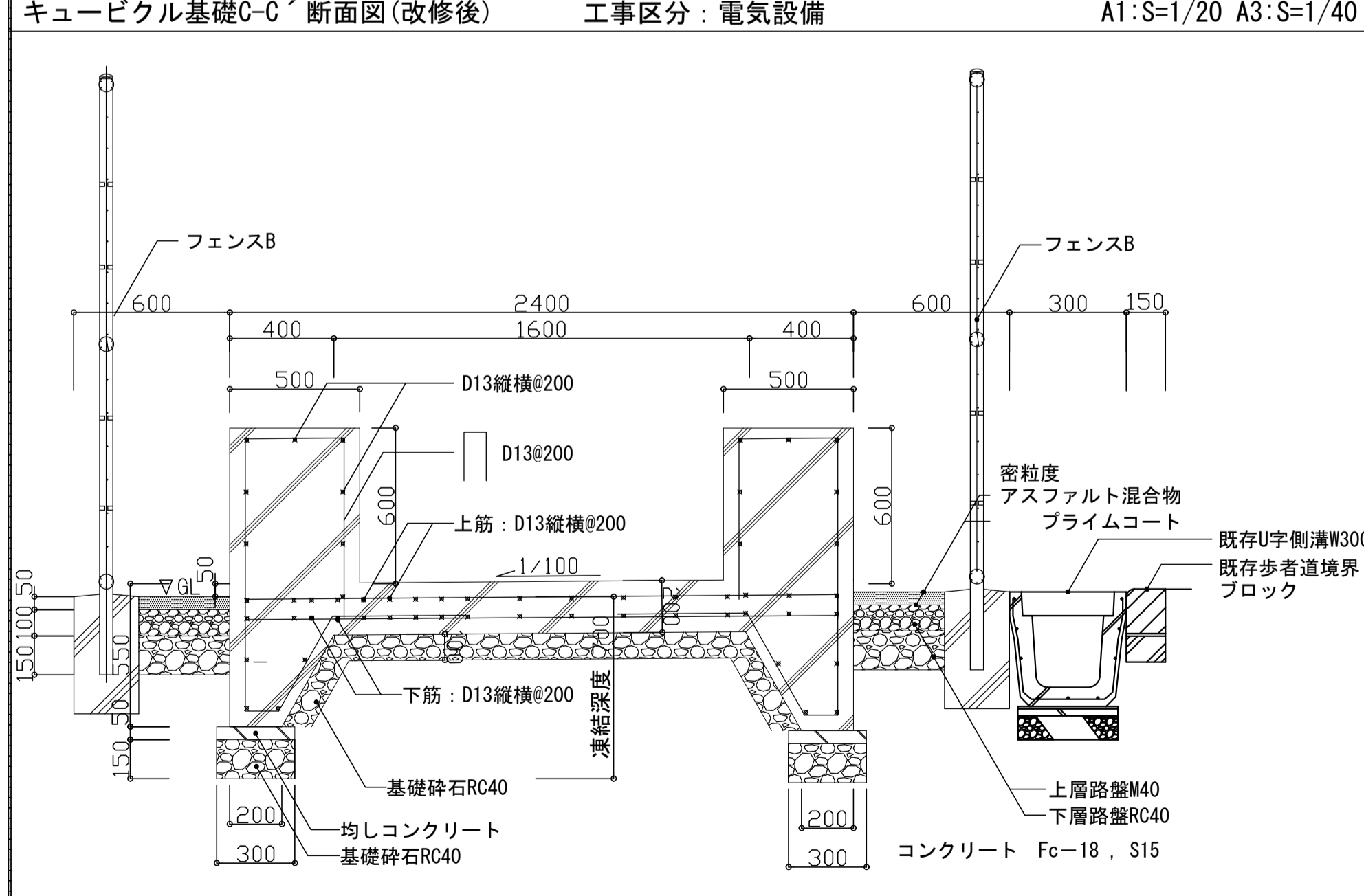
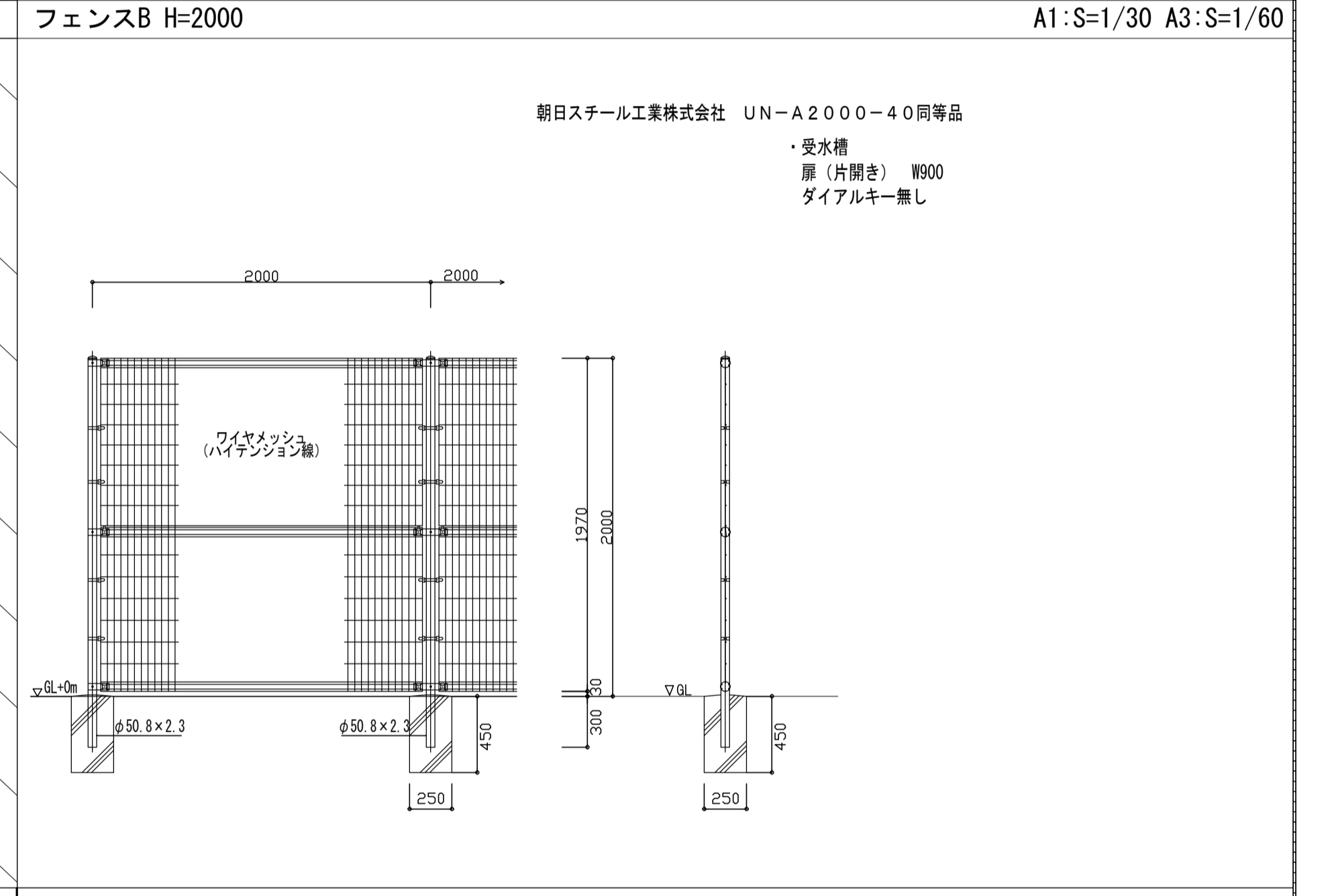
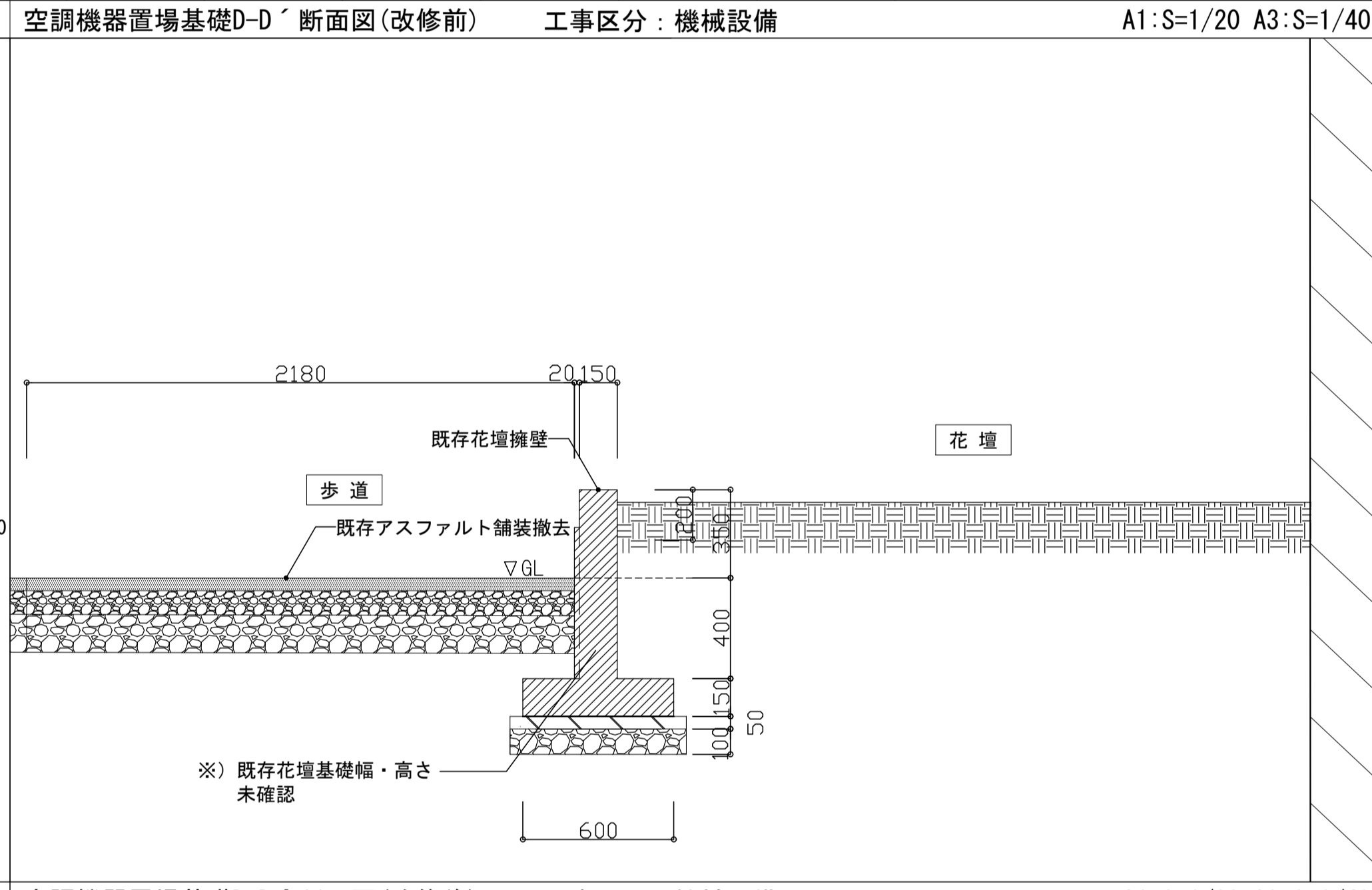
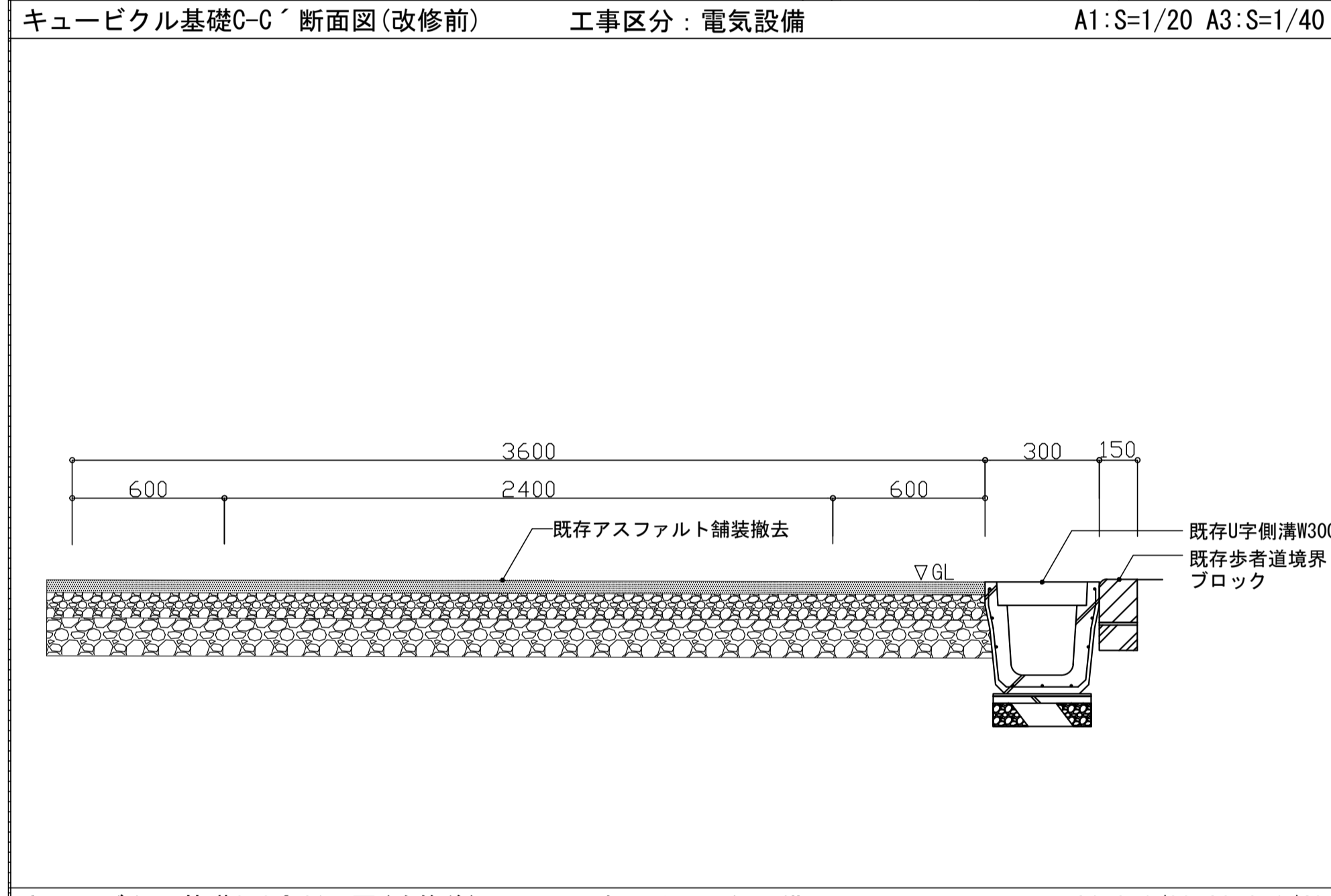
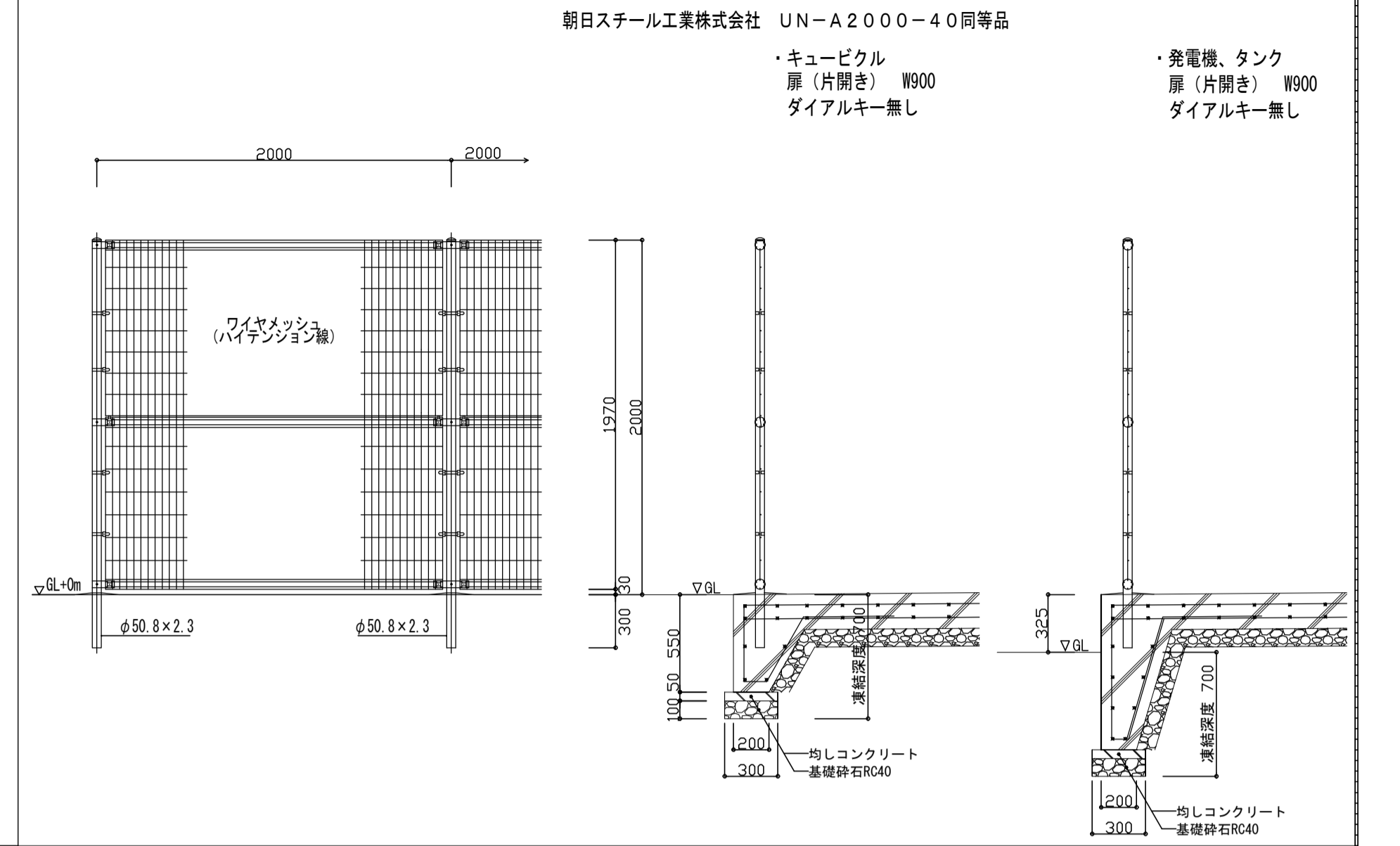
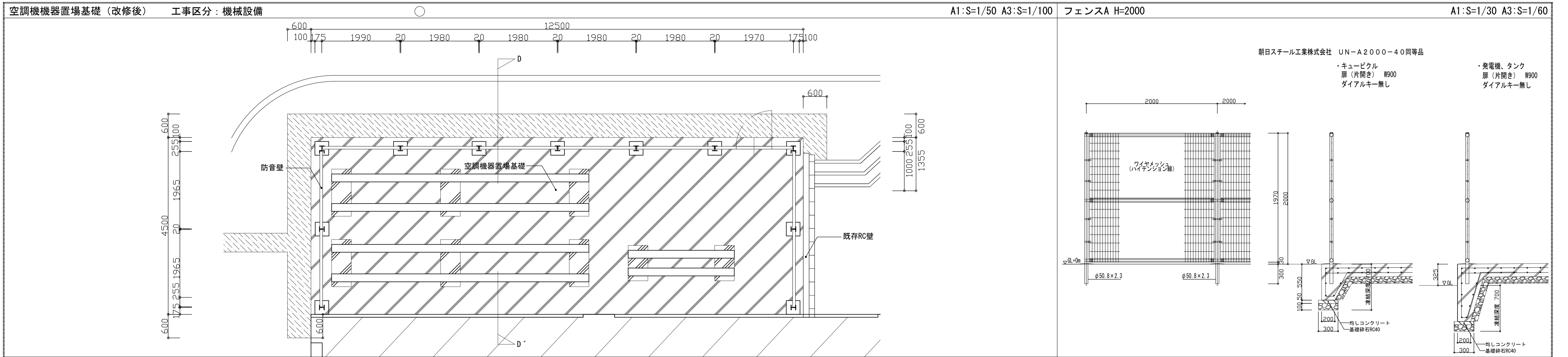
受水槽基礎B-B'断面図 (改修前) 工事区分: 機械設備 A1:S=1/20 A3:S=1/40



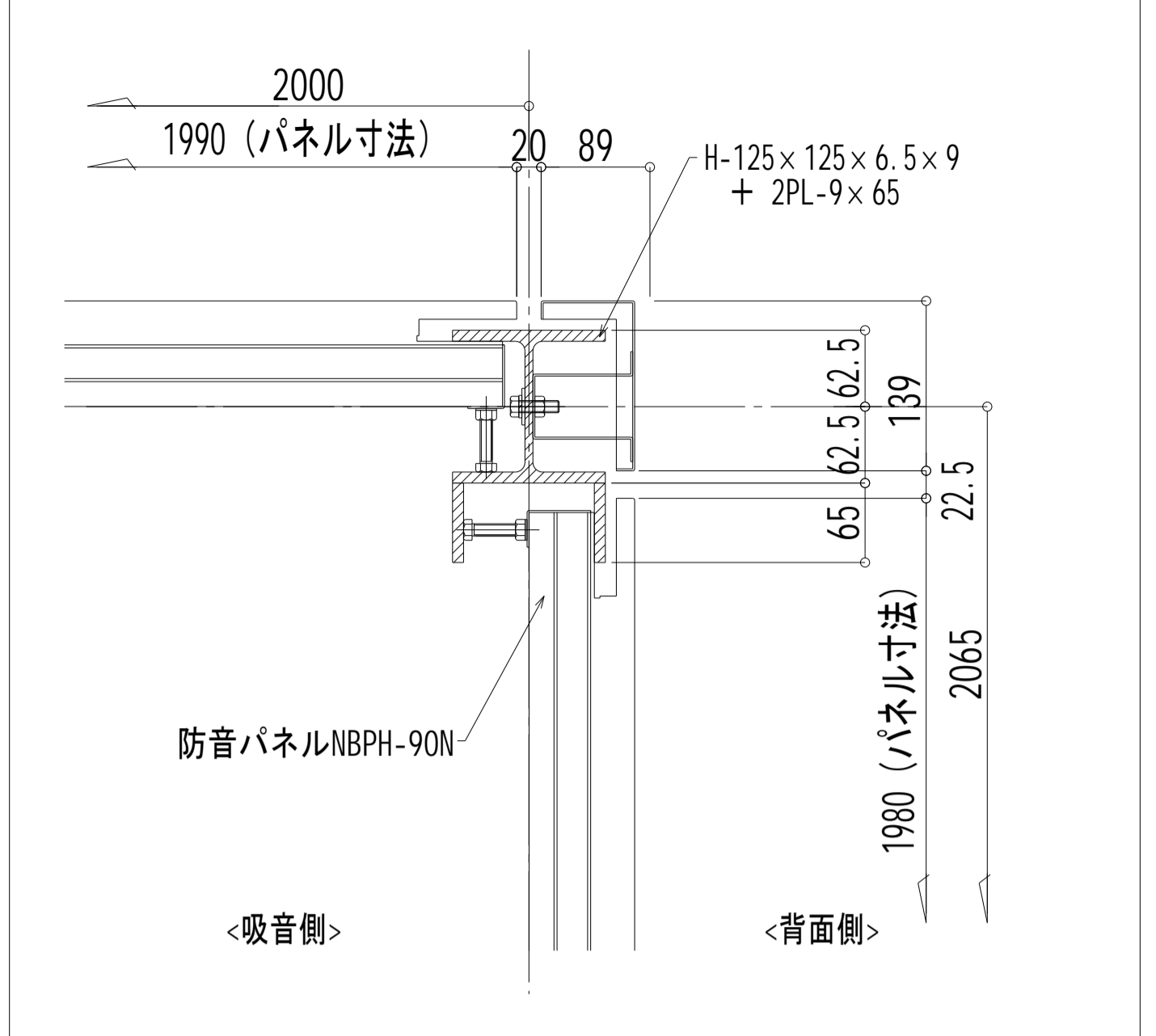
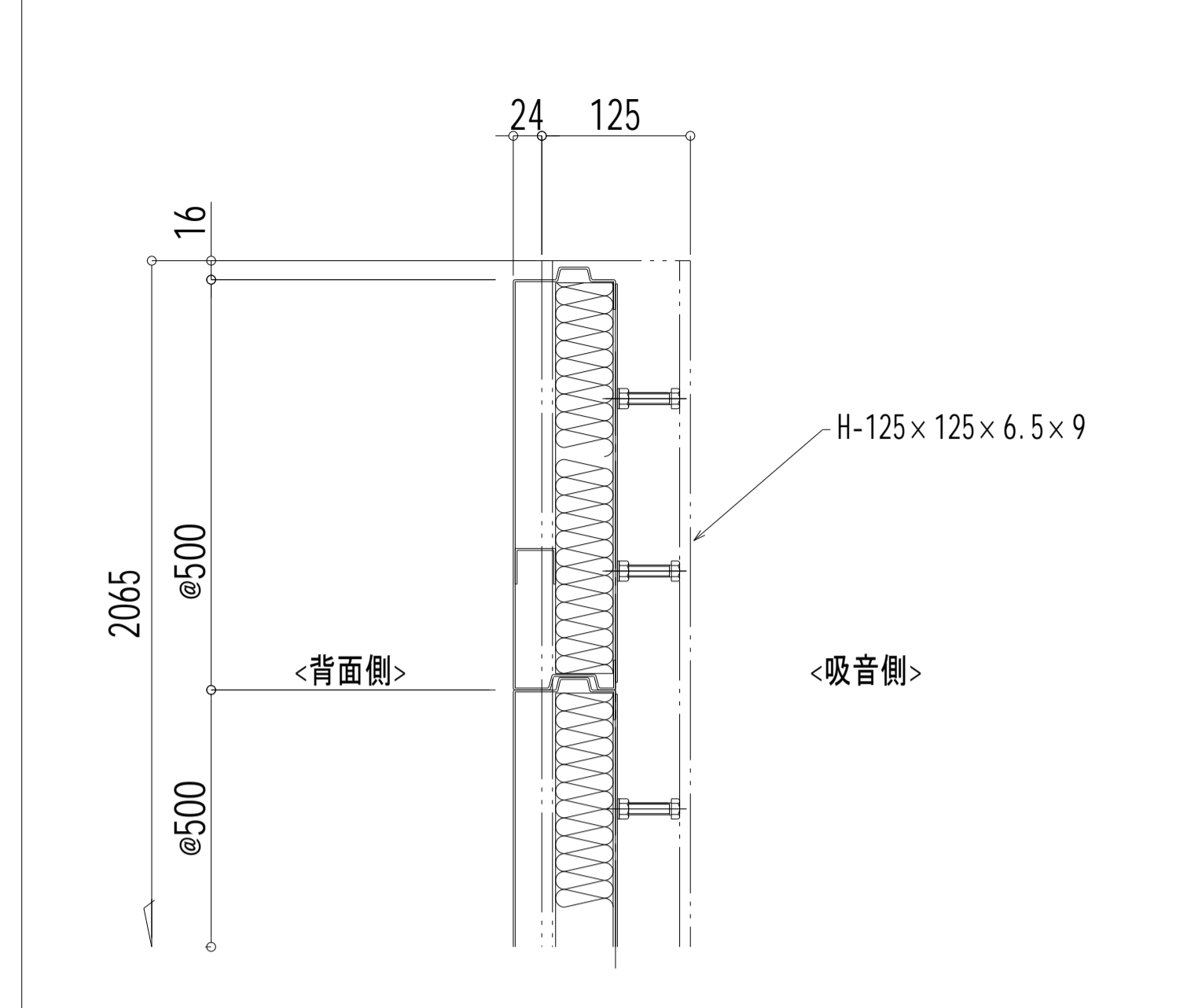
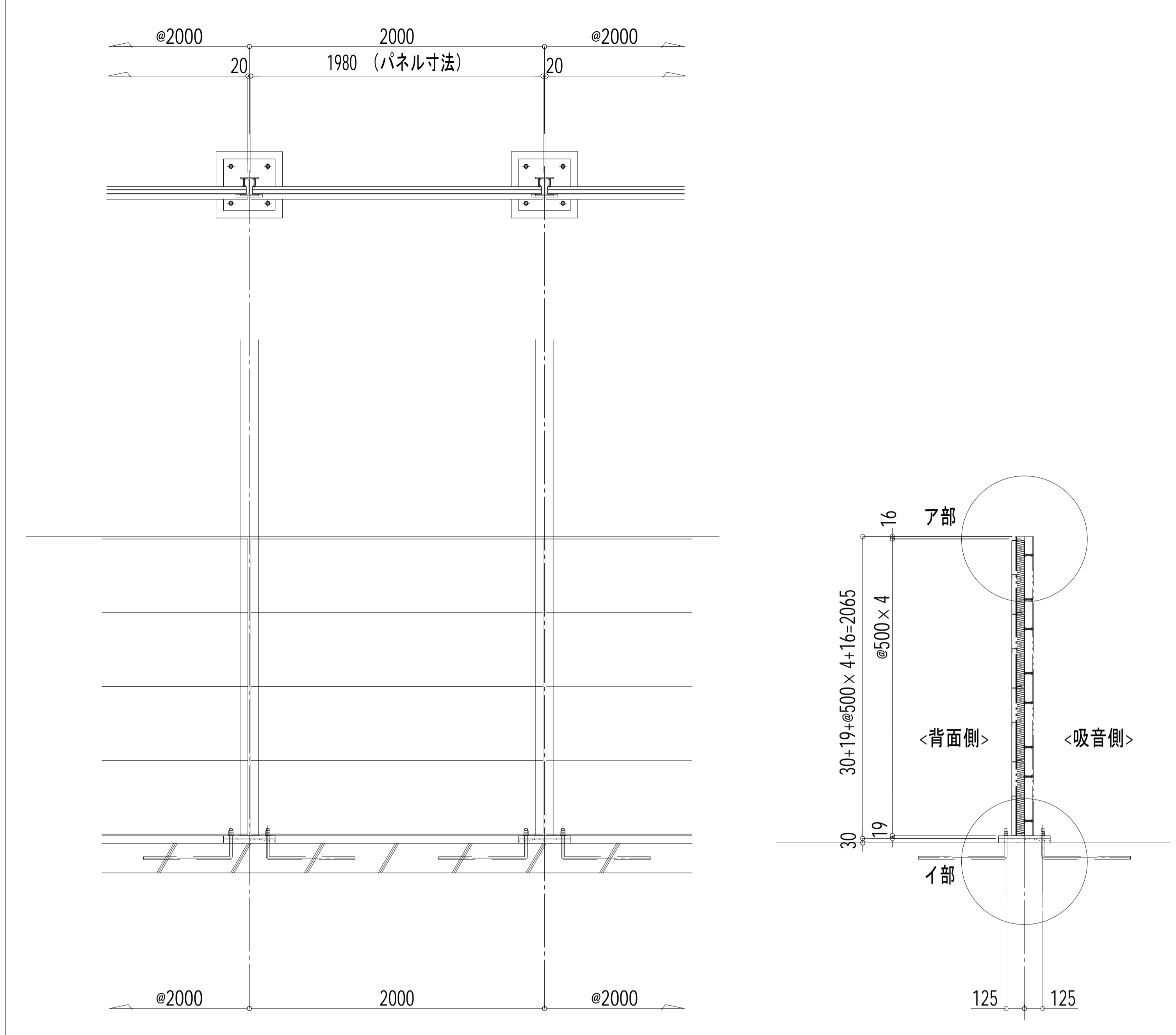
発電機・タンク基礎A-A'断面図 (改修後) 工事区分: 電気設備 A1:S=1/20 A3:S=1/40

受水槽基礎B-B'断面図 (改修後) 工事区分: 機械設備 A1:S=1/20 A3:S=1/40





<p>上田市都市建設部 建築課</p>	訂正	1. 1級建築士登録	設計者氏名	第307544号 海瀬 務	<p><b>AEI 株式会社 エーイーエーエー</b></p> <p>1級建築士事務所登録 (長野) L第2712号          管理建築士 1級建築士登録 第208750号 関口 清男          〒381-0012 長野市柳原2-20-20番地4 TEL. 026/2961-8300</p> <p>承認 検査員 設計体制及び検査 担当者 根橋 畑林</p> <p>23.07.</p>	<p>工事名 丸子地域自治センター改修工事 南棟設備改修 電気設備工事</p> <p>図面名 外構詳細図 (2)</p> <p>図面番号 A - 16</p>
	1.	設計者氏名	第307544号 海瀬 務			
	2.	設計者氏名	第307544号 海瀬 務			
	3.	設計者氏名	第307544号 海瀬 務			
	4.	設計者氏名	第307544号 海瀬 務			
	5.	設計者氏名	第307544号 海瀬 務			
	6.	設計者氏名	第307544号 海瀬 務			



防音パネルNBPH-90N パネル図 工事区分：機械設備 A1：S=1/10 A3：S=1/20

